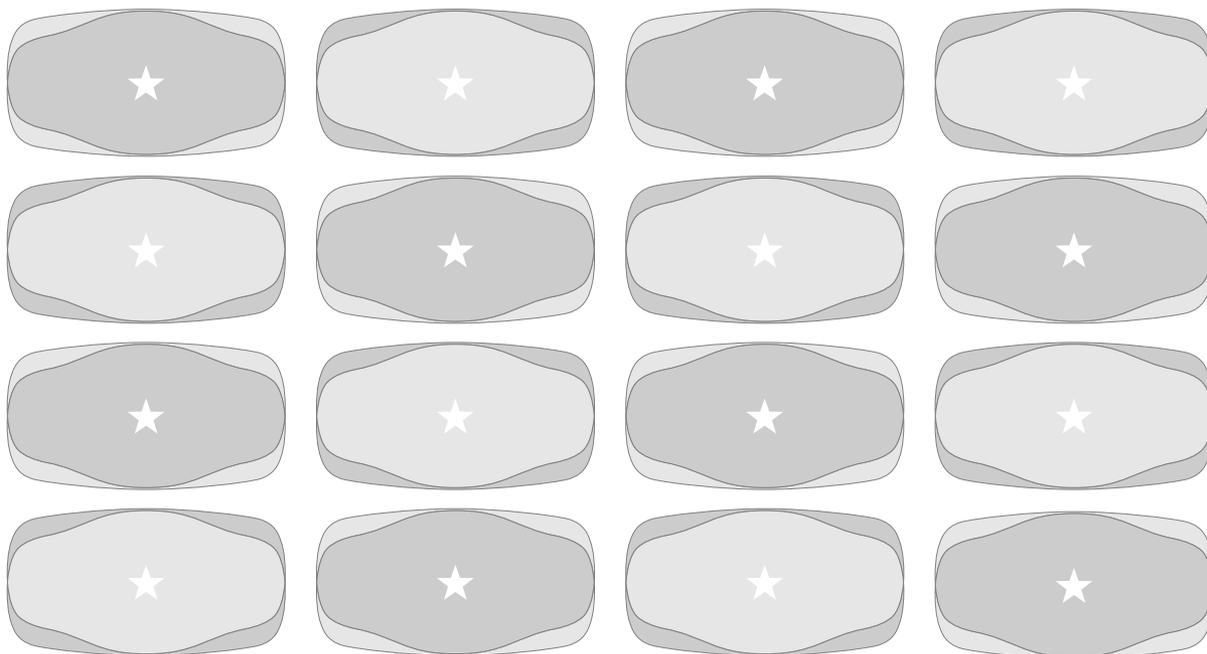
Canon

ラージフォーマットプリンタ

W7200/W7250

ユーザーズガイド

ご使用前に必ずこのユーザーズガイドをお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

W7200/W7250 を安全で快適にお使いいただくために、次のマニュアルを用意しています。必要に応じてマニュアルをお読みになり、W7200/W7250 の性能を十分にご活用ください。

パッケージを開いたら

▼

同梱品の確認 ⇒
▼
プリンタのセットアップ ⇒
▼
ソフトウェアのインストール ⇒
▼
動作状態の確認 ⇒

セットアップガイド

⇐ オプションのセットアップ

▼

ネットワークの設定 ⇒

ネットワークガイド

基本的な使いかた ⇒

印刷のしかた ⇒

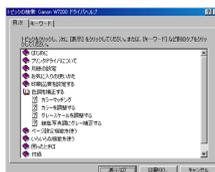
操作パネルの使いかた ⇒

ユーザーズガイド（本書）

⇐ メンテナンスのしかた

⇐ 困ったときの対処のしかた

⇐ オプションや消耗品の紹介

プリンタドライバの詳細 ⇒

ヘルプ

※ Windows の場合は、プリンタドライバの［ヘルプ］ボタンを押すと表示されます。
※ Macintosh の場合は、付属 CD-ROM のヘルプファイル（pdf）を開くと表示されます。

ユーザーズガイドの構成について

第 1 章　お使いになる前に

本プリンタ各部の名称や電源のオン・オフなど、基本的な知識について説明しています。

第 2 章　用紙について

本プリンタで使用できる用紙やセットのしかたについて説明しています。

第 3 章　Windows からの印刷

Windows から印刷する場合の基本的な印刷操作や、ヘルプの見かたについて説明しています。

第 4 章　Macintosh からの印刷

Macintosh から印刷する場合の基本的な印刷操作や、ヘルプの見かたについて説明しています。

第 5 章　操作パネルの使いかた

操作パネルの機能やメッセージ、使いかたについて説明しています。また、本プリンタのもつ機能メニューについて、設定値や機能内容を解説しています。

第 6 章　メンテナンス

インクタンクの交換や清掃方法などのメンテンスのしかたについて、説明しています。

第 7 章　困ったときは

困ったときの原因の見つけかたや処置のしかたについて、説明しています。

第 8 章　付録

オプションの紹介と、主な仕様、索引などをまとめています。

本書の表記について

マークについて

本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のような見出しとマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告

- **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

注意

- **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

お願い

- 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

- 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

イラスト・画面例について

本書では、W7200のイラストや画面を例に説明しています。
W7250でも同様の操作で使用することができます。

商標について

Canon、Canonロゴ、PageComposerは、キヤノン株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows NT®、MS-DOS®は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

略語について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 日本語版を Windows 95 と表記しています。

Microsoft® Windows® XP 日本語版を Windows XP と表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® 日本語版を Windows NT と表記しています。

Microsoft® Windows® を Windows と表記しています。

プリンタドライバに表記されている GARO は、Graphic Arts Language with Raster Operations の略称です。GARO は、ラスタイメージデータを作成するためのプリンタ言語のことです。

カラープリンタの使用に関する法律について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律：　刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条
等

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

警告

■設置場所について

● アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

■電源について

● 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

● 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。

● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。また、同梱されている電源コードを他の製品に使用しないでください。

● 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

● ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。

● 電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。火災や感電の原因になります。

● 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

■万一異常が起きたら

● 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。そしてお近くの販売店までご連絡ください。

■清掃のときは

● 清掃のときは、水で湿した布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

■心臓ペースメーカをご使用の方へ

● 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。

注意

■設置場所について

● 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が 5 ～ 35 ℃、湿度が 10 ～ 90%(結露しないこと) の範囲の場所でお使いください。

● 毛足の長いジュータンやカーペットなどの上に設置しないでください。プリンタ内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

● いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードが抜けないため、火災や感電の原因になることがあります。

● 強い磁気を発生する機器の近くや磁界のある場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。

■プリンタを持ち運ぶときは

● W7200 は本体のみで約 72Kg、W7250 は約 60kg あります。持ち運ぶときは、必ず 2 人以上で左右から持ち、腰などを痛めないように注意してください。

● プリンタを持ち運ぶときは、必ずプリンタ本体をスタンドから取り外してください。また、プリンタ本体は、必ず 2 人以上で、左右下側の取っ手部をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。

■電源について

● 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

● 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

● AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。

電源電圧：　　AC100V
電源周波数：　50/60Hz

■清掃のときは

● 清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

■プリントヘッド、インクタンクについて

● 安全のため子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

● プリントヘッド、インクタンクを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて衣服などを汚すことがあります。

● 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

■その他

● プリンタを分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

● プリンタの近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。

● 印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

● プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。

- カッターブレードを取り外したときは、刃の部分に触れないでください。けがの原因になります。

- 万一、異物（金属片・液体など）がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。
- インタフェースケーブル類は正しく接続してください。コネクタの向きを間違えて接続すると、故障の原因になります。

目次

マニュアルの構成について . . . . 表紙裏
ユーザーズガイドの構成について i
本書の表記について ii
マークについて ii
イラスト・画面例について ii
商標について ii
略語について iii
カラープリンタの使用に関する法律について iii
安全にお使いいただくために iv
目次 viii

第 1 章　お使いになる前に

各部の名称 1-2
プリンタ本体 1-2
巻き取り装置 1-8
電源のオン／オフ 1-9
電源をオンにする 1-9
電源をオフにする 1-10
オンラインとオフライン 1-11
オンラインにする 1-11
オフラインにする 1-12

第 2 章　用紙について

使用できる用紙 2-2
用紙の種類 2-2
用紙のサイズ 2-3
用紙の印字できる範囲 2-5
用紙の取り扱いについて 2-5
ロール紙をセットする 2-6
給紙元の設定 2-6
ロール紙のセット 2-7
ロール紙種類の設定 2-15
カット紙をセットする 2-17
給紙元の設定 2-17
カット紙のセット 2-19
カット紙種類の設定 2-23
フィルムに高画質で印刷する 2-24
プリントヘッド高さの調整 2-24
プリントヘッドの調整 2-27
プリントヘッド高さの再調整 2-27
巻き取り装置を使用する 2-28
巻き取り装置使用の設定 2-29

ロール紙の取り付け 2-30
印刷済み用紙の取り外し 2-35
巻き取り装置不使用の設定 2-39

第 3 章　Windows からの印刷
印刷する 3-2
印刷の操作 3-2
印刷を中止する 3-4
ヘルプを見る 3-5
ヘルプの開きかた 3-5

第 4 章　Macintosh からの印刷
印刷する 4-2
プリンタの選択 4-2
印刷の操作 4-6
印刷を中止する 4-7
バックグラウンド印刷の場合 4-7
フォアグラウンド印刷の場合 4-12
ヘルプを見る 4-13
ヘルプファイルの開きかた 4-13

第 5 章　操作パネルの使いかた
操作パネルについて 5-2
ディスプレイの見かた 5-2
操作キーの使いかた 5-4
ランプの見かた 5-6
機能メニューについて 5-7
プリンタ機能の優先順位 5-7
機能メニューの構造 5-7
機能メニューの設定操作 5-8
設定のしかた 5-8
機能メニューの設定値一覧 5-10
メインメニュー 5-10

第 6 章　メンテナンス
インクタンクを交換する 6-2
インクタンク交換時期について 6-2
インクタンク取り扱いの注意 6-3
インクタンクの交換手順 6-4
本プリンタ指定外のインクを使用する場合のご注意 6-8
インク残量検知機能をオフにするには 6-8
印刷を実行するには 6-9
プリンタを清掃する 6-10

外装の清掃 6-10
上カバー内部の清掃 6-12
用紙押さえ部の清掃 6-15
キャリッジレール部の清掃 6-17
プリントヘッドを交換する 6-20
プリントヘッド取り扱いの注意 6-20
プリントヘッドの交換手順 6-21

第 7 章　困ったときは
こんなときには 7-2
プリンタが正しく動作しないときは 7-3
印刷できない 7-3
印刷が始まらない 7-6
プリントが途中で止まる 7-7
きれいに印刷されないときは 7-9
印字品質が悪い 7-9
印刷内容が違う 7-10
色が違う 7-11
その他 7-12
メッセージが表示されたときは 7-13
用紙がつまったときは 7-19
ロール紙の紙づまり除去 7-19
カット紙の紙づまり除去 7-27
印字状態を確認する 7-30
プリントヘッドをクリーニングする 7-32
ヘッドクリーニングの種類 7-32
ヘッドクリーニングの手順 7-32
プリントヘッドを調整する 7-34
用紙の送り量を調整する 7-37
カット屑の発生を軽減する 7-40
カッターを調整／交換する 7-42

第 8 章　付録
オプションについて 8-2
巻き取り装置 8-2
スタンド 8-2
IEEE1394 拡張ボード 8-3
ロールホルダーセット 8-3
消耗品について 8-4
用紙 8-4
インクタンク 8-5
プリントヘッド 8-5
カッターブレード 8-6
ファームウェアをアップデートするには 8-7
ファームウェアの入手方法 8-7

1 お使いになる前に

この章では、本プリンタ各部の名称や使う前に知って
おいたほうがよい知識について説明しています。

各部の名称

プリンタ本体

■前面

a　**上カバー**

プリントヘッドを取りつけるときやプリンタ内部で紙づまりが起こったときは、このカバーを開いて作業します。（→ P.6-20, P.7-19）

b　**左カバー**

フィルタを交換するときにここを開きます。（→フィルタに付属の取扱説明書）

c　**トレイ**

カット紙を給紙したり、印刷済み用紙が排紙されるトレイです。ロール紙をセットするときは、ここを開いて作業します。（→ P.2-6）

d　**ロール紙トレイ**

ロールホルダーをセットするトレイです。ロール紙をセットするときは、ここを引き出して作業します。（→ P.2-17）

e　**排紙スタッカ（スタンド装着時）**

印刷した用紙が積載される布製のトレイです。

f　**スタンド（W7250 はオプション）**

プリンタ本体を載せるキャスター付きの台です。内側には排紙スタッカまたはオプションの巻き取り装置（W7200 のみ）を取り付けることができます。

g　操作パネル

電源キーやオンラインキー、操作キー、ディスプレイなどがあります。詳細については、第 5 章「操作パネルの使いかた」をご覧ください。

h　右カバー

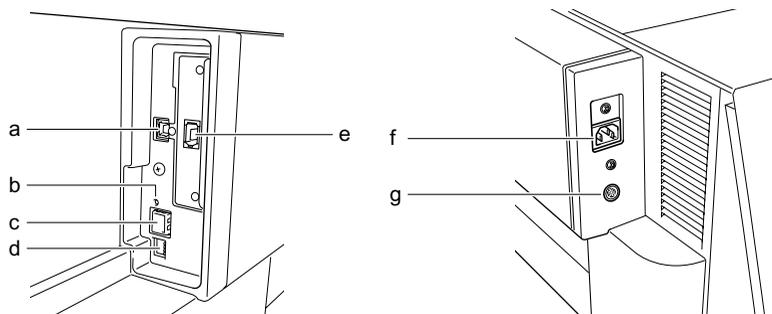
インクタンクを交換するときに開きます。通常はロックされています。インクタンクを交換するときは、操作パネルで［インクタンク　コウカン］メニューを選択すると自動的に開きます。

i　運搬用取っ手

プリンタを運ぶときは、左右底面のこの部分を持って運びます。

j　ロール紙残量窓

ロール紙の残量を確認するための窓です。

■背面

a　USB ポート

コンピュータの USB ポートと接続するときは、ケーブルをここに接続します。(→セットアップガイド)

b　LINK ランプ

LAN の通信状態を表示するランプです。100 BASE 接続の場合は緑色、10 BASE 接続の場合は黄色に点灯します。(→セットアップガイド)

c　LAN ポート

コンピュータとネットワーク経由で接続するときは、ケーブルをここに接続します。(→セットアップガイド)

d　ディップスイッチ

LAN の通信モードを切り替えるスイッチです。(→セットアップガイド)

e　IEEE1394 ポート（W7250 はオプション）

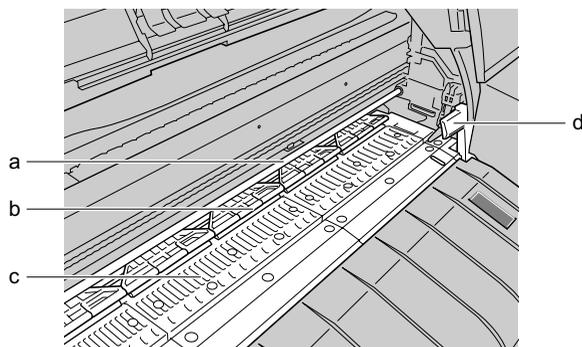
コンピュータの IEEE1394 ポートと接続するときは、ケーブルをここに接続します。(→セットアップガイド)

f　電源コネクタ

電源コードをここに接続します。

g　巻き取り装置コネクタ（W7200 のみ）

オプションの巻き取り装置の電源コードをここに接続します。

■上カバー内部

a　キャリッジレール

キャリッジを移動するための重要な部品です。

b　用紙押さえ

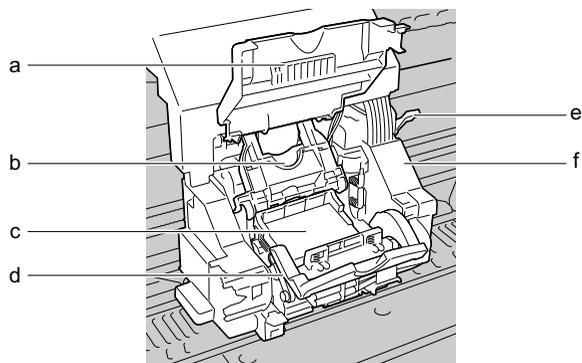
用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。

c　プラテン

印字するための重要な部品です。この部分をプリントヘッドが移動し、印字を行います。

d　用紙解除レバー

用紙の保持を解除するレバーです。カット紙をセットするときや用紙を手動で動かすとき、プリンタ内部を清掃するときは、このレバーを上げて用紙押さえを開きます。

■キャリッジ部（上カバー内）

a　キャリッジカバー

キャリッジを保護するカバーです。プリントヘッドを取り付けるときは、ここを開きます。(→セットアップガイド)

b　プリントヘッド固定カバー

プリントヘッドを固定するためのカバーです。プリントヘッドを取り付けるときは、これを開きます。(→セットアップガイド)

c　プリントヘッド

プリントするためのノズルが装着された重要な部品です。プリンタ開梱時は取り付けられていないので、最初に取り付けてください。(→セットアップガイド)

d　プリントヘッド固定レバー

プリントヘッド固定カバーをロックするためのレバーです。プリントヘッドを取り付けるときは、これを開きます。(→セットアップガイド)

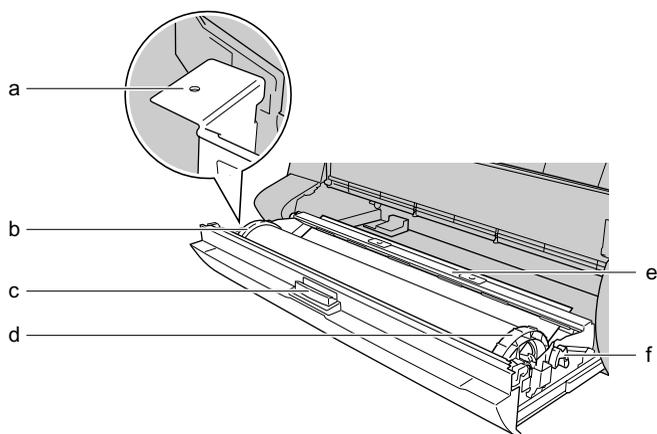
e　プリントヘッド高さ調整レバー

プリントヘッドの高さを調整するためのレバーです。高画質で印刷するときや、使用する用紙に合わせてレバー位置を調整します。

f　キャリッジ

プリントヘッドを移動して印字するための重要な部品です。

■トレイ内部

a　ベルトストッパ保持部

ベルトストッパを保管するための取り付け穴です。（→セットアップガイド）

b　ロールストッパ

ロールホルダーにロール紙を固定するための部品です。

c　トレイオープンレバー

ロール紙トレイを開くときは、このレバーを引いてロックを解除します。

d　ロールホルダー

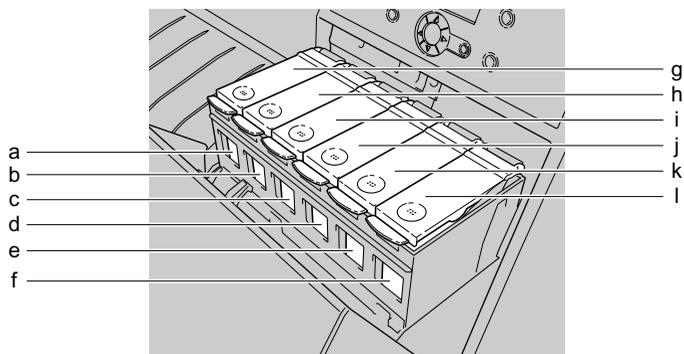
プリンタにロール紙をセットするための部品です。

e　給紙ガイド

ロール紙を給紙するための重要な部品です。ロール紙をセットするときは、用紙を給紙ガイドの間に通します。（→セットアップガイド）

f　ロール紙解除レバー

給紙ガイドの保持力を解除するためのレバーです。ロール紙をセットするときや紙づまりを取り除くときは、このレバーを操作します。

■右カバー内部

a　Bk インクタンク

b　PC インクタンク

c　C インクタンク

d　PM インクタンク

e　M インクタンク

f　Y インクタンク

インクのカートリッジです。プリンタ開梱時は取り付けられていないので、最初に取り付けてください。

g　Bk インクタンクカバー

h　PC インクタンクカバー

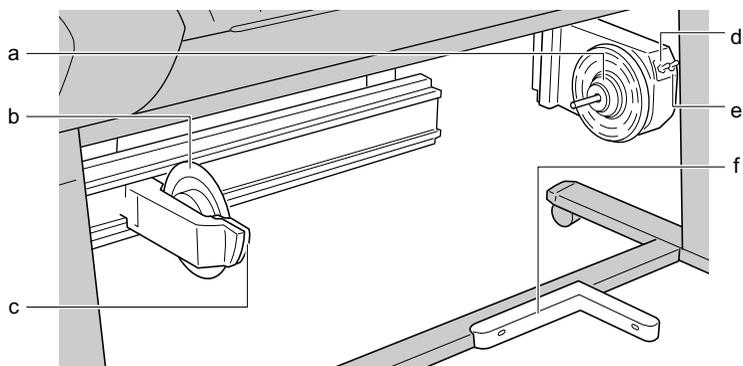
i　C インクタンクカバー

j　PM インクタンクカバー

k　M インクタンクカバー

l　Y インクタンクカバー

インクタンクを保護およびロックするためのカバーです。インクタンクを交換するときは、操作パネルで［インクタンクコウカン］メニューを選択して右カバーが開いた後に、ここを開きます。

巻き取り装置

a　**巻き取りホルダー**

巻き取り用の紙管をセットする部分です。

b　**スライドホルダー**

巻き取り用の紙管を固定する部品です。

c　**スライドホルダー解除レバー**

スライドホルダーを左に移動するときは、このレバーを押しながら移動します。

d　**巻き取りモードスイッチ**

巻き取りモードの自動と手動を切り替えるスイッチです。

e　**巻き取りスイッチ**

巻き取りモードスイッチが手動のときに、用紙を巻き取るスイッチです。

f　**センサーユニット**

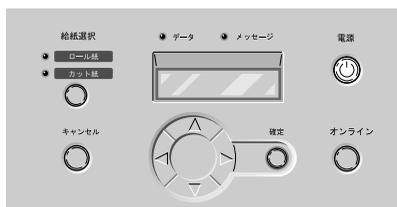
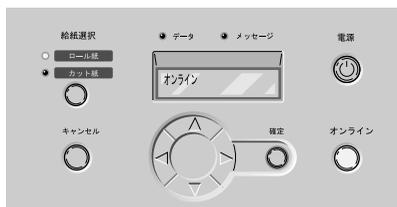
用紙を検知するためのセンサーです。巻き取りモードスイッチが自動のとき、ここを用紙がさえぎると巻き取り装置が作動します。

電源のオン／オフ

本プリンタの電源をオン、オフするときは、次の手順で行います。ここでは、プリンタのセットアップが終わり、通常プリンタを使う場合を例に説明しています。プリンタのセットアップが終わっていない場合は、先に「セットアップガイド」に従ってセットアップと動作確認を行ってください。

電源をオンにする

本プリンタを使用するときは、コンピュータから印刷を行う前に、次の手順で電源をオンにしておきます。

1 ［電源］キーを押します。

オンラインランプやメッセージランプが点滅したあと、準備処理が始まります。準備が終わり、用紙がセットされているとオンラインランプが点灯してディスプレイに「オンライン」が表示され、印刷できる状態になります。

用紙がセットされていないときは、ディスプレイに「オフライン」が表示され、用紙のセット待ちの状態になります。

メッセージランプが点滅するときは、ディスプレイを見て必要な処置を行ってください。（→「メッセージが表示されたときは」P.7-13）

ディスプレイやオンラインランプが一度も点灯しないときは、電源コードやコンセントを確認してください。（→セットアップガイド）

電源をオフにする

本プリンタを使い終わったときは、次の手順で電源をオフにします。

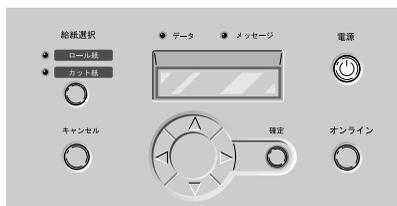
お願い

- プリンタ動作中は、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜き差ししないでください。プリンタ故障や破損の原因になります。
- ロール紙をしばらく使用しない場合は、ロール紙トレイを開いてロール紙を巻き取ってください。ロール紙が待機位置のまま 1 週間以上放置すると、給紙不良の原因になります。

1 ディスプレイを見て、印刷ジョブ処理中でないことを確認します。

エラーメッセージが表示されている場合は、必要な処置を行ってから、残った印刷ジョブがないか確認してください。

印刷ジョブ処理中の場合は、印刷処理が終わるまで待ってからオフにしてください。

2 ［電源］キーを約 3 秒押し続けます。

ディスプレイに「シバラク　オマチクダサイ」と表示されたあと、電源がオフになります。

オンラインとオフライン

本プリンタには、オンライン状態とオフライン状態があります。

オンラインは、コンピュータからの印刷ジョブを印刷できる状態です。通常電源をオンにした後は、自動的にオンラインになります。

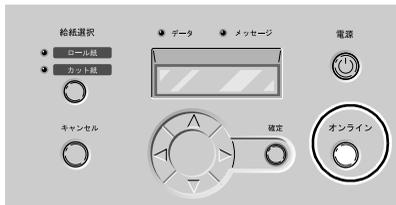
オフラインは、コンピュータからの印刷ジョブを受け付けない状態です。操作パネルでオフラインにしたときや用紙がセットされていないとき、メインメニューを選択したとき、処置を一時停止したポーズ状態のときは、オフライン状態になります。また、処置が必要なメッセージが表示されると、自動的にオフライン状態になります。

メモ

- 印刷データの受信やプリンタの操作を 20 分以上行わないと、自動的にスリープモードになり、消費電力を節約します。印刷データを受信したり、プリンタの操作を行うと、自動的に復帰します。復帰には、約 5 秒ほどかかります。

オンラインにする

オンラインにするときは、次の手順で行います。

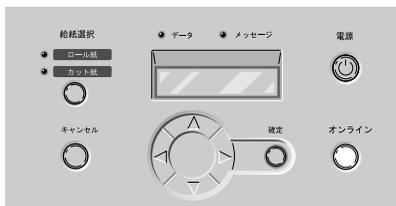
1 **［オンライン］キーを押して、ディスプレイに「オンライン」を表示します。**

オンラインランプが点灯しているときが、印刷できる状態です。
用紙がセットされていないときやメッセージ表示中は、［オンライン］キーを押してもオンライン状態にはなりません。原因を解決すると、自動的にオンライン状態になります。

メモ

- ［オンライン］キーを押すたびに、オンライン＞オフライン＞メインメニューの順で切り替わります。

オフラインにする

用紙を操作パネルで送りたいときや、カッターの調整などでキャリッジを移動したいときは、次の手順でオフラインにします。

1 ［オンライン］キーを押して、オンラインランプを消します。

オンラインランプが消えているときが、オフライン状態です。

● ［オンライン］キーを押すたびに、オンライン＞オフライン＞メインメニューの順で切り替わります。

2 用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙やセット方法について説明しています。

使用できる用紙

本プリンタは、多彩な用紙に対応しています。本プリンタで使用できる用紙の種類やサイズ、印字できる範囲は、次のようになっています。

お願い

- 用紙の種類によっては、印刷後の用紙上のインクが乾燥するまでに、色合いが変化することがあります。その場合は、インクを十分に乾燥させてから用紙を取り扱ってください。

メモ

- キヤノン製用紙についての取り扱いの詳細は、用紙に添付の説明書をお読みください。

用紙の種類

使用できる用紙の種類は次のとおりです。

■普通紙

安価な紙です。モノクロ印刷やプルーフ印刷、画像密度の少ないイメージ画像のカラー印刷に適しています。

メモ

- 普通紙の場合、他の用紙に比べて、温度や湿度の変化を受けやすく、安定性に劣ります。
- カット紙の普通紙としては、一般的な複写機に使われるコピー用紙（64 ～ 105g/m^2）が使用できます。

■コート紙

コーティングされている紙ベースの用紙です。高発色でフルカラーのイメージ画像を鮮明に印刷できます。

■厚口コート紙

コーティングされている紙ベースの用紙です。コート紙より厚みがあります。POP アートやグラフィックの印刷に適しています。

■光沢紙

白色度の高く光沢のある印画紙ベースの用紙です。写真などの画像密度の高いイメージ画像を高品質に仕上げたい場合に適しています。

■光沢フィルム

光沢紙よりもさらに艶のあるフィルムベースの用紙です。グラフィックやフルカラーのイメージ画像を写真のように高品質で仕上げたい場合に適しています。

■フォト光沢紙

写真に適した白色度の高い印画紙ベースの最高級光沢紙です。銀塩写真に迫る最高写真画質を実現します。

■フォト半光沢紙

反射を抑えた白色度の高い印画紙ベースの最高級半光沢紙です。てかりを抑えて、写真をソフトに仕上げたい場合に適しています。

■プルーフ用紙

色相や光沢を印刷用紙に近づけた紙ベースの用紙です。色校正など、色や仕上がりを確認したい場合に適しています。

■BPF

表面は写真のような光沢があり、裏は白く半透明でざらざらしたフィルムベースの用紙です。表面は写真のような仕上がりになり、電飾看板に適しています。裏面から印刷するタイプのため、ラミネート加工を行わなくても表面が保護されています。

用紙のサイズ

使用できる用紙のサイズと給紙方法は次のとおりです。

■ロール紙

用紙最大直径 130mm 以下、紙管内径 2"、表紙面のロール紙を使用できます。

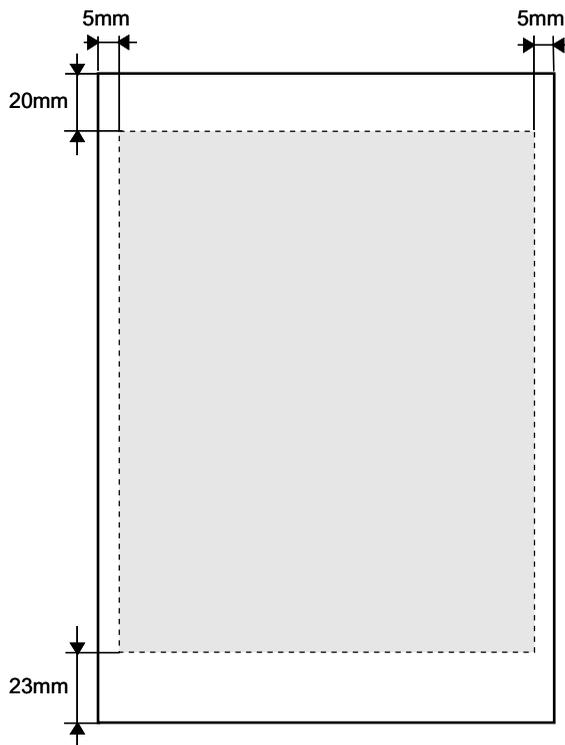
用紙のサイズ		W7200	W7250
ISO A0	幅 841.0 mm（33.11 inch）	○	－
ISO A1	幅 594.0 mm（23.39 inch）	○	○
ISO A3	幅 297.0 mm（11.69 inch）	○	○
ARCH 36"	幅 914.4 mm（36 inch）	○	－
ARCH 30"	幅 762.0 mm（30 inch）	○	－
ARCH 24"	幅 609.6 mm（24 inch）	○	○

■カット紙

以下のカット紙を使用できます。

用紙のサイズ		W7200	W7250
ISO A0	841.0 x 1189.0 mm（33.11 x 46.81 inch）	○	−
ISO A1	594.0 x 841.0 mm（23.39 x 33.11 inch）	○	○
ISO A2	420.0 x 594.0 mm（11.69 x 23.39 inch）	○	○
ISO A3+	329.0 x 483.0 mm（12.95 x 19.02 inch）	○	−
ISO A3	297.0 x 420.0 mm（11.69 x 16.54 inch）	○	○
ISO A4	210.0 x 297.0 mm（8.27 x 11.69 inch）	○	○
ISO B1	707.0 x 1000.0 mm（27.83 x 39.37 inch）	○	−
ISO B2	500.0 x 707.0 mm（19.69 x 27.83 inch）	○	○
ISO B3	353.0 x 500.0 mm（13.90 x 19.69 inch）	○	○
ISO B4	250.0 x 353.0 mm（9.84 x 13.90 inch）	○	○
JIS B1	728.0 x 1030.0 mm（28.66 x 40.55 inch）	○	−
JIS B2	515.0 x 728.0 mm（20.28 x 28.66 inch）	○	○
JIS B3	364.0 x 515.0 mm（14.33 x 20.28 inch）	○	○
JIS B4	257.0 x 364.0 mm（10.12 x 14.33 inch）	○	○
ANSI E	863.6 x 1117.6 mm（34 x 44 inch）	○	−
ANSI F	711.2 x 1016.0 mm（28 x 40 inch）	○	−
ANSI D	558.8 x 863.6 mm（22 x 34 inch）	○	○
ANSI C	431.8 x 558.8 mm（17 x 22 inch）	○	○
ANSI B	279.4 x 431.8 mm（11 x 17 inch）	○	○
ANSI B Super	330.2 x 482.6 mm（13 x 19 inch）	○	○
ANSI Letter	215.9 x 279.4 mm（8.5 x 11 inch）	○	○
ANSI Legal	215.9 x 355.6 mm（8.5 x 14 inch）	○	○
ARCH E	914.4 x 1219.2 mm（36 x 48 inch）	○	−
ARCH E1	762.0 x 1066.8 mm（30 x 42 inch）	○	−
ARCH E2	660.4 x 965.2 mm（26 x 38 inch）	○	−
ARCH E3	685.8 x 990.6 mm（27 x 39 inch）	○	−
ARCH D	609.6 x 914.4 mm（24 x 36 inch）	○	○
ARCH C	457.2 x 609.6 mm（18 x 24 inch）	○	○
ARCH B	304.8 x 457.2 mm（12 x 18 inch）	○	○
ARCH A	228.6 x 304.8 mm（9 x 12 inch）	○	○
DIN C1	648.0 x 917.0 mm（25.51 x 36.10 inch）	○	−
DIN C2	458.0 x 648.0 mm（18.03 x 25.51 inch）	○	○
DIN C3	324.0 x 458.0 mm（12.76 x 18.03 inch）	○	○
DIN C4	229.0 x 324.0 mm（9.02 x 12.76 inch）	○	○
ポスター 20" x 30"	508.0 x 762.0 mm（20 x 30 inch）	○	○
ポスター 30" x 40"	762.0 x 1016.0 mm（30 x 40 inch）	○	−

用紙の印字できる範囲

本プリンタでは、ロール紙およびカット紙で図の領域に印刷可能です。

メモ

- プリンタドライバの「印刷領域拡大」機能を使用し、上下マージンを最小にすることで、印刷領域を最大に設定することができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプをご参照ください。

用紙の取り扱いについて

用紙の取り扱いについては、購入した用紙に添付の注意書きに従ってください。

ロール紙をセットする

ロール紙に印刷するときは、次の順で操作します。

- 印刷済みの用紙やカット紙がトレイにある場合は取り除く
- 操作パネルで給紙元をロール紙に設定する（→ P.2-6）
- ロール紙をロール紙トレイにセットする（→ P.2-7）
- 操作パネルでロール紙の用紙種類を設定する（→ P.2-14）
- 用紙の送り量を調整する（→ P.7-37）
- コンピュータから印刷する（→ P.3-2, P.4-2）

お願い

- ロール紙をセットするときは、必ずプリンタの電源がオンの状態で行ってください。セットした用紙と用紙種類が合っていないと、印字品質低下の原因になります。
- 取り外したロール紙は入っていた袋に入れ、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 印刷中にロール紙トレイを抜き出さないでください。紙づまりの原因になります。
- ロール紙がセットされている状態でプリンタの電源がオフのときは、ロール紙トレイを引き出さないでください。ロール紙トレイを開ける必要があるときは、上カバーを開け、用紙解除レバーを上げてからロール紙トレイを引き出してください。

給紙元の設定

ロール紙に印刷するときは、操作パネルで給紙元をロール紙に切り替えます。

1 ［オンライン］キーを押して、「オフライン」を表示します。

2 ［給紙選択］キーを押して､｢ロール紙｣ランプを点灯します。

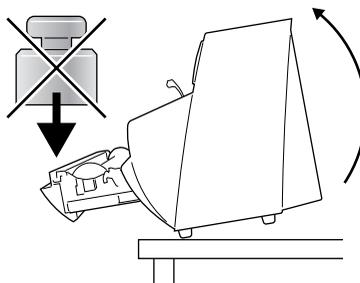
［給紙選択］キーを押すと、ロール紙とカット紙が切り替わります。

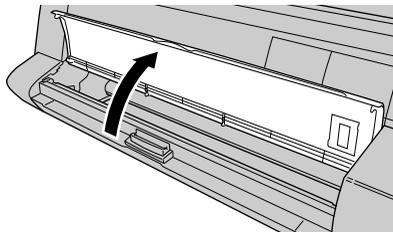
ロール紙のセット

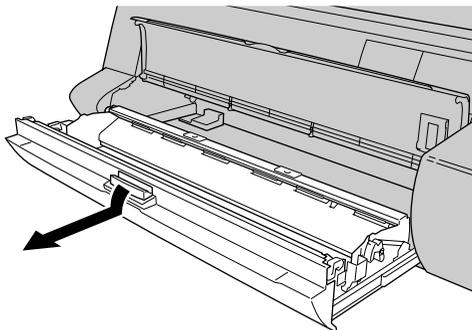
ロール紙は次の手順でロール紙トレイにセットします。トレイにカット紙や排紙された用紙が残っている場合は、先に取り除いてください。

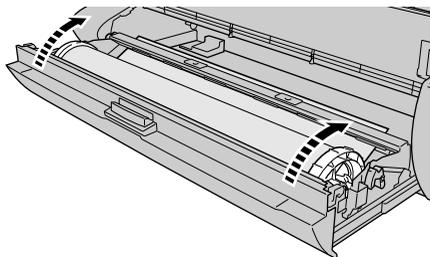
 注意

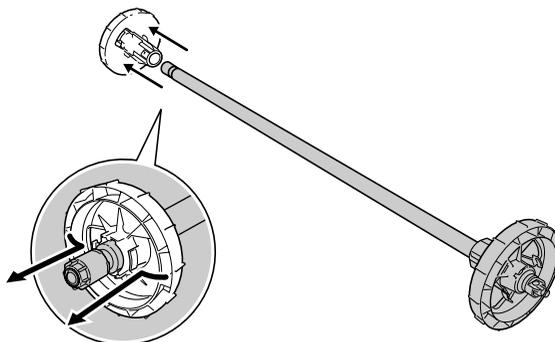
- W7250 をスタンドなしでお使いの場合、ロール紙トレイを引き出した状態でロール紙トレイを下に押したり、寄りかかったりしないでください。プリンタ本体が転倒し、けがやプリンタ破損の原因になります。

メモ

- 用紙を大きなサイズに変更するときは、プラテン上が汚れている場合がありますので、上カバー内の清掃を行ってください。（→ P.6-12）
- ロールホルダーにセットできる用紙については､｢使用できる用紙｣（→ P.2-2）をご覧ください。

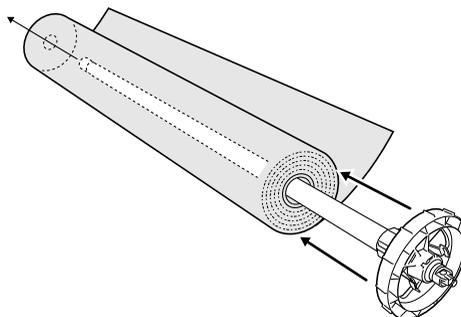
1 トレイを開きます。

ディスプレイに「ロールシトレイ　アケテクダサイ」が表示されます。すでにロール紙がトレイにセットされている場合は、「トレイシメテクダサイ」が表示されます。

2 トレイオープンレバーを引いて、ロール紙トレイを引き出します。

ディスプレイに「ロールシヲ　セットシテクダサイ」が表示されます。

3 ロール紙が残っている場合は、ロールホルダーを図の方向に回してロール紙を巻き取ります。

4 ロールホルダーを取り出し、ホルダーストッパを取り外してロール紙を取り外します。

ホルダーストッパは、中心部分のレバーをつまんで引き抜いてください。ロール紙が残っている場合は、ロール紙を取り外してください。

お願い

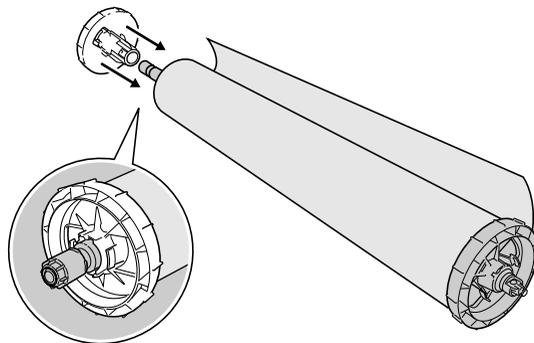
- 取り外したロール紙は入っていた袋に入れ、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

5 セットするロール紙を図の向きにして、ロールホルダーを差し込みます。

注意

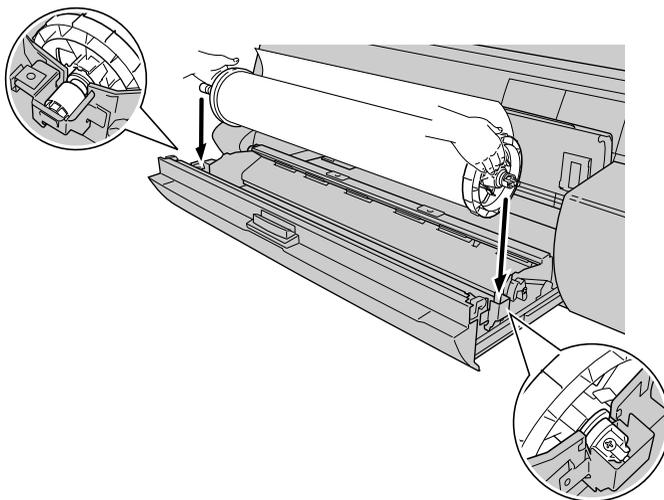
- **ロール紙を机などの上に横置きにしてセットしてください。ロール紙は重いので、落としてけがの原因になることがあります。**

お願い

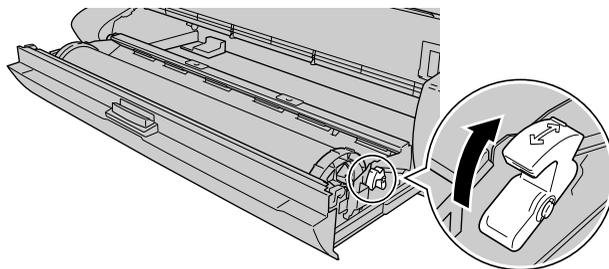
- ロール紙がロールホルダーの奥に突き当たるまでしっかりと差し込んでください。隙間があると、給紙不良の原因になります。

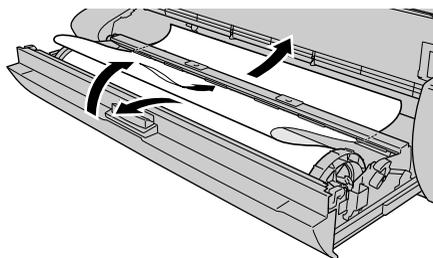
6 ホルダーストッパをロールホルダーの左側から突き当たるまで押し込みます。

ロール紙がロールホルダーに固定されます。

7 ロール紙が図の向きになるようにして、ロールホルダーをロール紙トレイの左右のガイド溝に合わせてセットします。

ロール紙が広がっている場合は、巻き付けながらセットしてください。

お願い

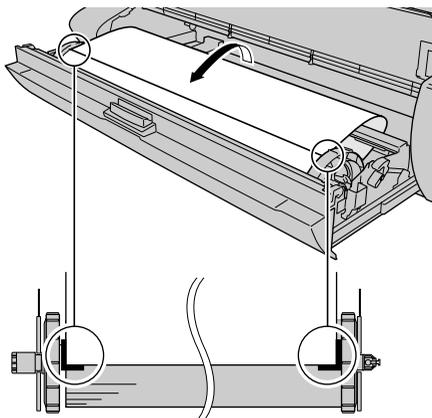
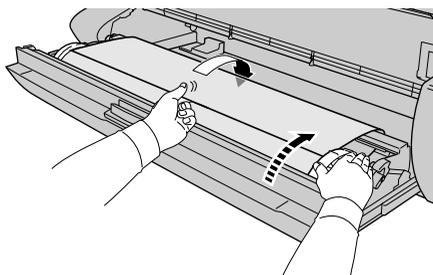
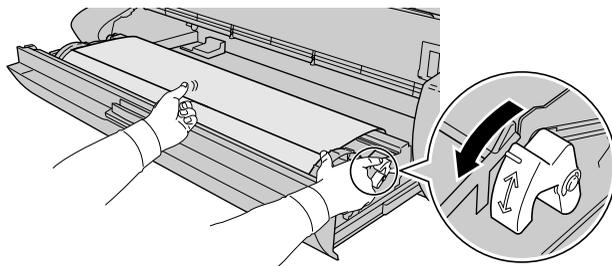
- ロールホルダーを持つときは、輪部分を持ってください。軸部分を持つと、けがの原因になることがあります。
- ロールホルダーを持つときは、先端部分以外の用紙に触れないように注意してください。印字部に触れたり、印字面が汚れると、印字品質低下の原因になります。

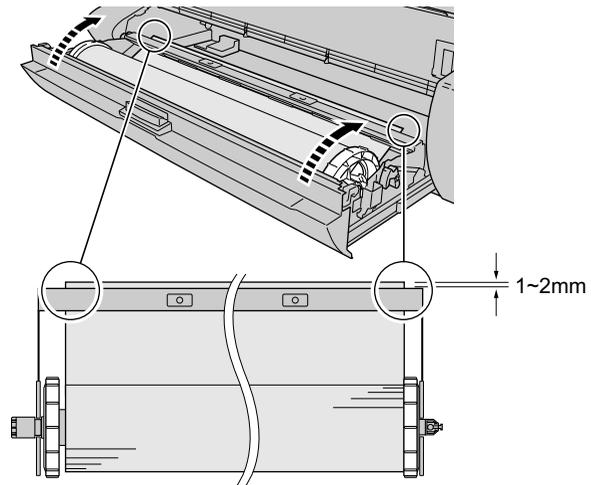
8 ロール紙解除レバーを奥側へ押し、給紙ガイドを解除します。

9 ロール紙の先端を上に一旦引き出してから、図のように上から給紙ガイドの間を通します。

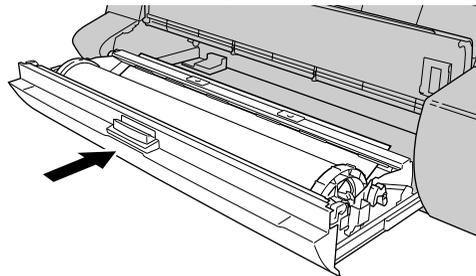
ロール紙先端付近を持って差し込んでください。

お願い

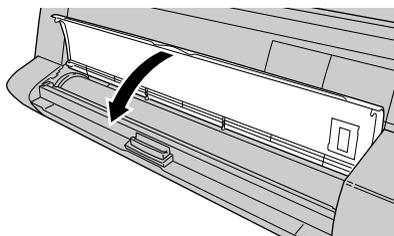
- 給紙ガイドの下側はすべり止め加工になっています。ロール紙は必ず上の方から給紙ガイドへ差し込んでください。

10 ロール紙の先端を、左右が平行になるようにロール部分まで均等に引き出します。

引き出したロール紙の左右端とロールの左右端を合わせてください。

11 ロール紙の中央を押さえながら、ロールホルダーを図の方向に回して用紙のたるみを取ります。

12 ロールホルダーを押さえながら、ロール紙解除レバーを手前側へ引いて、給紙ガイドをロックします。

13 左右のロールホルダーを矢印の方向へ回して、用紙の先端を給紙ガイドの端まで巻き取ります。

下側給紙ガイドの端と用紙が 1 ～ 2mm 見えるくらいまで巻き取ってください。

14 ロール紙トレイを閉じます。

奥までしっかりと、押し込んでください。

ディスプレイに「トレイ　シメテクダサイ」が表示されます。

15 トレイを閉じます。

ディスプレイに「ロールシ　シュルイ」が表示されます。

16 [<]、[>] キーでセットしたロール紙の種類を選択し、[確定] キーを押します。

同じ種類のロール紙をセットしたときは、[確定] キーを押してください。

```
ロールシ　シュルイ
　　　　　コートシ
```

設定値の左に「＝」が表示され、用紙種類が設定されます。
用紙種類の設定値については、下表をご覧ください。

用紙の名称	用紙種類の設定値
普通紙	フツウシ
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
光沢紙	コウタクシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
光沢フィルム	コウタクフィルム
BPF	BPF
プルーフ用紙	プルーフヨウシ
―	スペシャル 1 ～ 5

ロール紙種類を設定すると、ロール紙の給紙準備が始まります。
しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」が表示され、印刷できる状態になります。

お願い

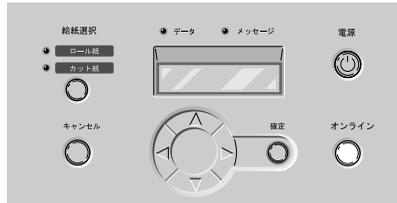
- 必ず正しい用紙種類を設定してください。設定した用紙種類が違っていた場合は、「ロール紙種類の設定」(→ P.2-15)の操作を行ってください。
- ロール紙をセットしているときは、不必要なロール紙トレイの開閉を行わないでください。先端カット機能が動作し、用紙を消費します。
- 排紙スタッカに排紙された用紙は、1 枚ごとに取り除いてください。

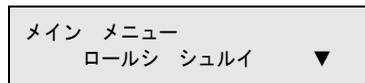
メモ

- 工場出荷状態では、用紙種類＝フツウシに設定されています。
- 上記用紙の種類を設定して印刷したとき、インクがにじんだり濃度が薄い、等の問題が発生した場合には、スペシャル 1 〜 5 の設定をお使いいただくことをおすすめします。スペシャル 1 〜 5 とは、一定の面積に対してインクを打ち込む量を 5 段階に分けた設定であり、数字が高くなるほどインクの打ち込み量の多い印刷になります。お使いの用紙や印刷する画像内容によって、お試しの上、適切な設定をお使いください。
- 用紙サイズは自動的に検知されますので、設定は不要です。
- ロール紙を交換すると、用紙の先端を揃えるため先端部分が約 100 mm カットされます。W7250 でスタンドを装着していない場合は、約 300 mm カットされます。
- W7250 でスタンドを装着していない場合は、印字面保護のため、［∧］キーによる用紙フィードは約 130 mm までしか行えません。

ロール紙種類の設定

ロール紙をセットしたときは、必ずセットした用紙の種類を操作パネルで設定してください。用紙種類が合っていないと、コンピュータから正しく印刷できません。ロール紙をロール紙トレイにセットすると、操作パネルに「ロールシ　シュルイ」が表示されますが、正しい種類が設定されていない場合は、次の手順でロール紙の種類を変更することができます。

1 ［オンライン］キーを 2 回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

2 ［<］、［>］キーで「ロールシ　シュルイ」を選択し、［V］キーを押します。

メイン　メニュー
　　ロールシ　シュルイ　　▼

3 ［<］、［>］キーでロール紙の用紙種類を選択し、［確定］キーを押します。

```
ロールシ　シュルイ
　　　　　コートシ
```

設定値の左に「＝」が表示され、用紙種類が設定されます。

お願い

- 本プリンタは、最良の印字品質を得るため、用紙の種類ごとに用紙送り量を微調整しています。そのため、用紙の種類によって画像サイズやマージンが変わることがあります。
- 用紙の種類を変更したときは、必ず用紙の送り量の調整を行ってください。

カット紙をセットする

カット紙に印刷するときは、次の順で操作します。

- 印刷済みの用紙がトレイにある場合は取り除く
- 操作パネルで給紙元をカット紙に設定する（→ P.2-17）
- 用紙をトレイにセットする（→ P.2-19）
- 操作パネルでカット紙の用紙種類を設定する（→ P.2-22）
- 用紙の送り量を調整する（→ P.7-37）
- コンピュータから印刷する（→ P.3-2, P.4-2）

お願い

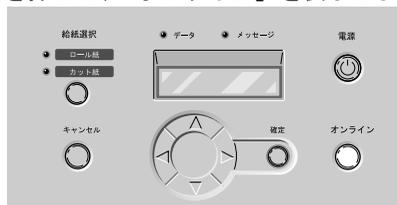
- 使わない用紙は入っていた袋に入れ、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

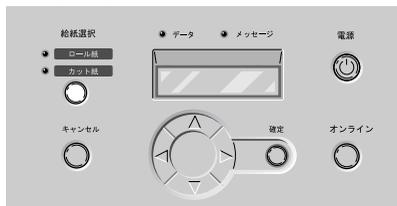
メモ

- 本プリンタをスタンドに装着して使用している場合は、［給紙選択］キーで簡単にロール紙とカット紙を使い分けることができます。［給紙選択］キーで「カット紙」を選択すると、セットされているロール紙が自動的に待機位置まで戻り、カット紙がセットできる状態になります。カット紙の印刷が終わると、自動的にロール紙選択状態に戻ります。

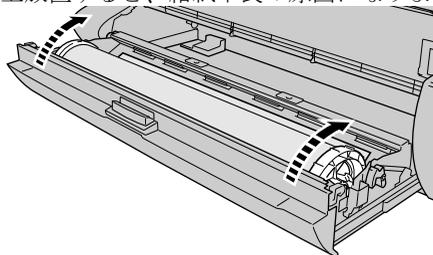
給紙元の設定

カット紙に印刷するときは、操作パネルで給紙元をカット紙に切り替えます。

1 ［オンライン］キーを押して、「オフライン」を表示します。

2 ［給紙選択］キーを押して、「カット紙」ランプを点灯します。

［給紙選択］キーを押すと、ロール紙とカット紙が切り替わります。

スタンドを装着している場合、ロール紙がセットされている場合はロール紙が自動的に待機位置まで後退し、カット紙をセットできる状態になります。

お願い

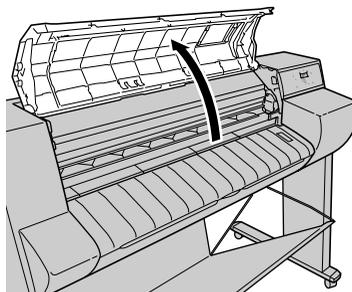
- ロール紙をしばらく使用しない場合は、ロール紙トレイを開いて、給紙ガイドから外れるまでロール紙を巻き取ってください。ロール紙が待機位置のまま 1 週間以上放置すると、給紙不良の原因になります。

カット紙のセット

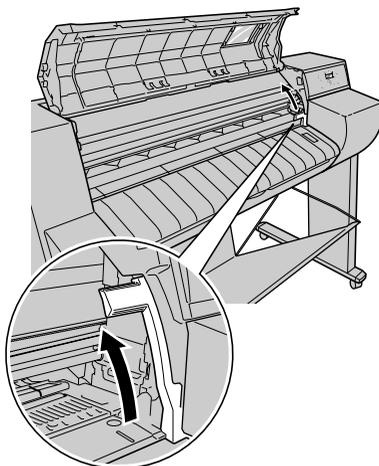
カット紙は次の手順でトレイにセットします。トレイにカット紙や排紙された用紙が残っている場合は、先に取り除いてください。

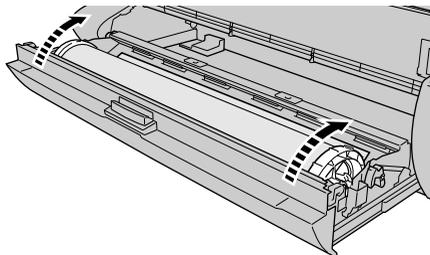
メモ

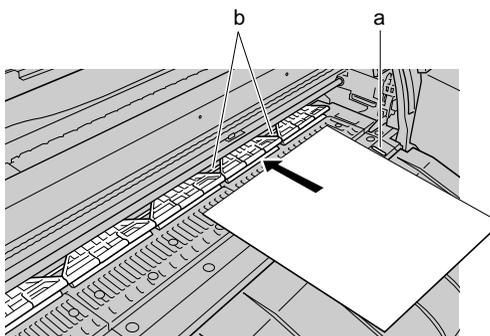
- 用紙を大きなサイズに変更するときは、プラテン上が汚れている場合がありますので、上カバー内の清掃を行ってください。（→ P.6-12）
- トレイにセットできる用紙については、「使用できる用紙」（→ P.2-2）をご覧ください。

1 上カバーを開きます。

お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。

2 用紙解除レバーを上げます。

3 W7250 をスタンドなしでお使いの場合は、トレイとロール紙トレイを開いてロールホルダーを回し、ロール紙を給紙ガイドから外れるまで巻き取ります。

スタンドを装着している場合は、自動で待機位置まで巻き戻されますので、操作は不要です。

ロール紙を巻き取ったら、ロール紙トレイとトレイを閉じてください。

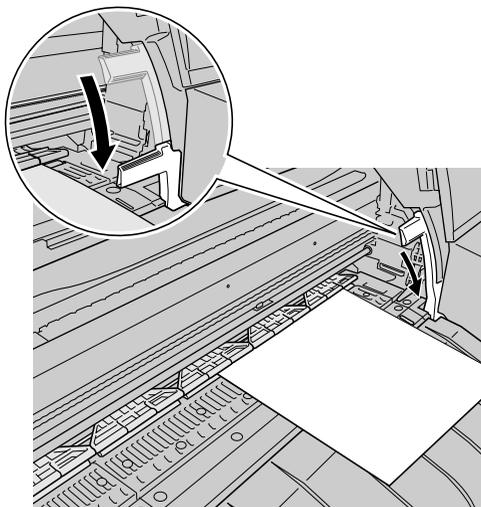
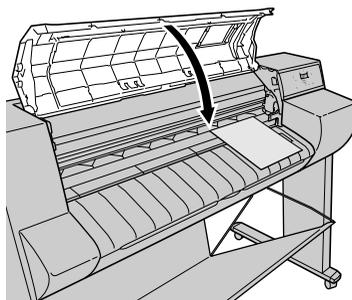
4 カット紙の表を上にして平行に用紙押さえの間へ差し込み、右側ガイド（a）と奥側ガイド（b）に合わせてセットします。

カット紙を差し込むと、用紙が吸引されてプラテン上に保持されます。

お願い

- カット紙はプラテン右側のガイド線に合わせて、まっすぐにセットしてください。斜めになっていると斜行エラーとなります。その場合は、もう一度まっすぐにセットしなおしてください。

メモ

- 本プリンタでは、プラテン上の穴から用紙を吸引して保持しています。用紙の位置により、音が鳴ることがありますが、異常ではありません。
- 音が気になる場合は、ガイドに合わせながら左右 1 mm 以内の範囲で用紙の位置を変えてみてください。

5 用紙解除レバーを下げます。

6 上カバーを閉じます。

ディスプレイに「カットシ　シュルイ」が表示されます。

7 ［<］、［>］キーでセットしたカット紙の種類を選択し、［確定］キーを押します。

同じ種類のカット紙をセットしたときは、［確定］キーを押してください。

```
カットシ　シュルイ
　　　　　コートシ
```

カット紙の給紙準備が始まります。
用紙のサイズや斜行が検知され、問題がなければ印刷できる状態になります。

用紙種類の設定値については、下表をご覧ください。

用紙の名称	用紙種類の設定値
普通紙	フツウシ
コート紙	コートシ
厚口コート紙	アツクチコートシ
光沢紙	コウタクシ
フォト光沢紙	フォトコウタクシ
フォト半光沢紙	フォトハンコウタクシ
光沢フィルム	コウタクフィルム
BPF	BPF
プルーフ用紙	プルーフヨウシ
―	スペシャル1～5

お願い

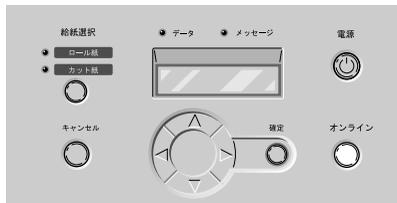
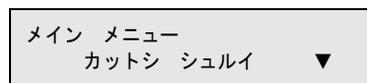
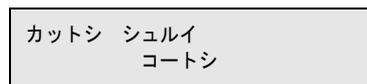
- 斜めになっていると斜行エラーとなります。その場合は、手順1からもう一度セットし直してください。
- 必ず正しい用紙種類を設定してください。設定した用紙種類が違っていた場合は、「カット紙種類の設定」（→ P.2-23）の操作を行ってください。
- 排紙スタッカに排紙された用紙は、1枚ごとに取り除いてください。

メモ

- 工場出荷状態では、用紙種類＝フツウシに設定されています。
- 上記用紙の種類を設定して印刷したとき、インクがにじんだり濃度が薄い、等の問題が発生した場合には、スペシャル1～5の設定をお使いいただくことをおすすめします。スペシャル1～5とは、一定の面積に対してインクを打ち込む量を5段階に分けた設定であり、数字が高くなるほどインクの打ち込み量の多い印刷になります。お使いの用紙や印刷する画像内容によって、お試しの上、適切な設定をお使いください。
- 用紙サイズは自動的に検知されますので、設定は不要です。

カット紙種類の設定

カット紙をセットしたときは、用紙の種類を設定します。この設定を行わないと、コンピュータから正しく印刷できませんので、必ず行ってください。

1 ［オンライン］キーを押して、「メイン　メニュー」を表示します。

2 ［＜］、［＞］キーで「カットシ　シュルイ」を選択し、［V］キーを押します。

3 ［＜］、［＞］キーでカット紙の用紙種類を選択し、［確定］キーを押します。

設定値の左に「＝」が表示され、用紙種類が設定されます。

お願い

- 本プリンタは、最良の印字品質を得るため、用紙の種類ごとに用紙送り量を微調整しています。そのため、用紙の種類によって画像サイズやマージンが変わることがあります。
- 用紙の種類を変更したときは、必ず用紙の送り量の調整を行ってください。

フィルムに高画質で印刷する

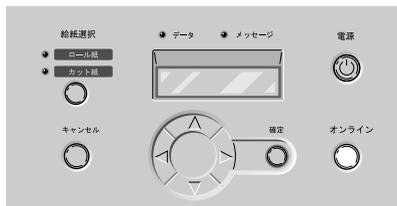
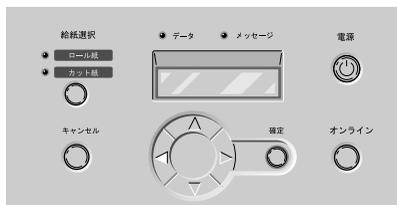
光沢フィルムなどフィルムベースの用紙の場合は、プリントヘッドの高さを調整することにより、より高画質で印刷することが可能です。画像の精度を高めたいときや、画像のがさつき感をさらに少なくしたいときは、次の順で操作します。

- プリントヘッドの高さを調整する（→ P.2-24）
- 使用する用紙種類の用紙をセットする（→ P.2-6,P.2-17）
- プリントヘッドを調整する（→ P.2-27）
- 印刷する（→第 3 章「Windows からの印刷」、第 4 章「Macintosh からの印刷」）
- 他の用紙種類を使う場合は、プリントヘッドの高さを元に戻し、プリントヘッドを再調整する（→ P.2-27）

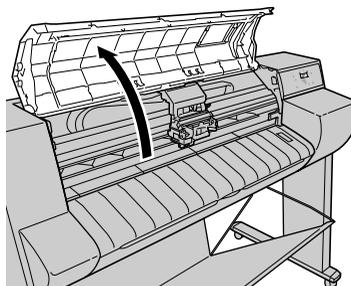
お願い

- プリントヘッドの高さを変えた場合は、必ず印字状態を調整してください。調整を行わないと、最良の印字結果が得られません。
- 光沢紙など紙ベースの用紙や波打ちが出やすい用紙では、絶対にプリントヘッドを下の位置で印刷しないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

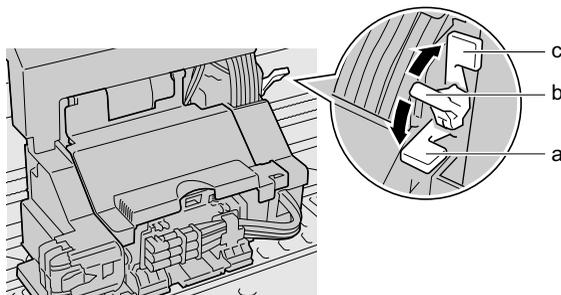
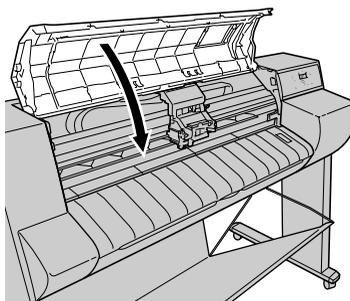
プリントヘッド高さの調整

1 ［オンライン］キーを押して、「オフライン」を表示します。

2 ［<］キーを１秒以上押します。

キャリッジが中央に移動します。

3 上カバーを開きます。

お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。
- プリントヘッド高さ調整レバーが汚れている場合は、作業を始める前に、水を含ませて固くしぼった布でプリントヘッド高さ調整レバーの汚れを拭き取ってください。

4 プリントヘッド高さ調整レバーでプリントヘッドを調整します。

フィルムベースの用紙に印刷する場合は、レバーを下の位置（a）にします。
紙ベースの用紙に印刷する場合は、レバーを中（標準）の位置（b）にします。
厚い用紙や波打ちが起こりやすい用紙の場合は、上の位置（c）にします。

5 上カバーを閉じます。

キャリッジがホームポジションに戻ってオンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。

プリントヘッドの調整

プリントヘッドの高さを変更したときは、操作パネルで［パターン　インサツ　A］を行い、印字状態を調整します。（→「プリントヘッドを調整する」P.7-34）

プリントヘッド高さの再調整

印刷し終わった後、違う種類の用紙を使用する場合は、「プリントヘッド高さの調整」（→ P.2-24）の手順を繰り返して、プリントヘッド高さ調整レバーの位置を中（標準）の位置に戻してください。

また、プリントヘッドの高さを変更したときは、操作パネルでプリントヘッドを再調整してください。（→「プリントヘッドを調整する」P.7-34）

巻き取り装置を使用する

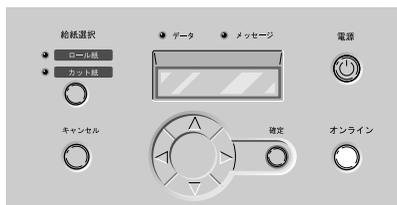
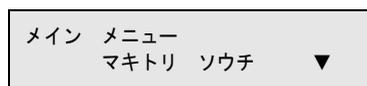
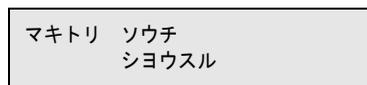
W7200 では、オプションの巻き取り装置を使うと、ロール紙（普通紙を除く）に印刷した用紙を自動的に巻き取ることができます。大量に連続して印刷したい場合に便利です。巻き取り装置を使用するときは、次の順で操作します。

- ロール紙をセットする（→「ロール紙をセットする」P.2-6）
- 操作パネルで巻き取り装置を「シヨウスル」に設定する（→ P.2-29）
- ロール紙を巻き取り装置に取り付ける（→ P.2-30）
- 印刷する（→第 3 章「Windows からの印刷」、第 4 章「Macintosh からの印刷」）
- 印刷済み用紙を巻き取り装置から取り外す（→ P.2-35）
- 操作パネルで巻き取り装置を「シヨウシナイ」に設定する（→ P.2-39）

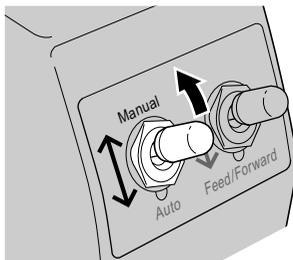
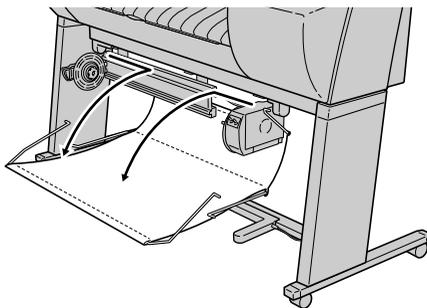
お願い

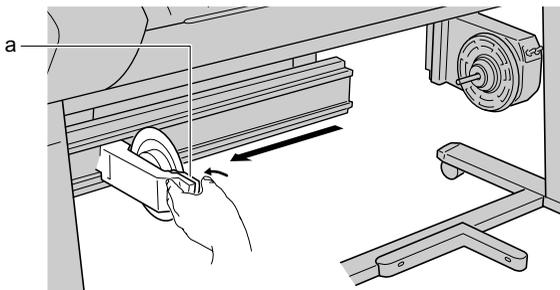
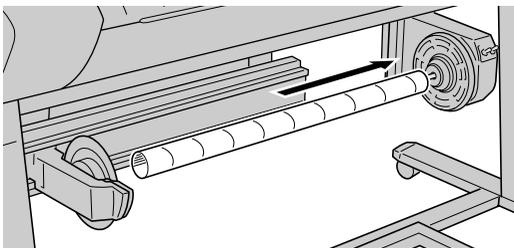
- 巻き取り装置を使用している場合は、センサーを踏みつけたり、センサーの間に物を置いたりしないでください。動作不良の原因になります。
- 巻き取り装置を使用している場合は、オートカットの設定にかかわらず、自動カットは行われません。ただし、プリンタドライバの［オートカット］を［あり］に設定していると、自動カットされますので、印刷前に［なし］に設定されていることを確認してください。
- カット紙の場合は、巻き取り装置を使用することはできません。
- 普通紙のロール紙は、巻き取り装置を使用することはできません。
- 用紙の種類によっては、印刷後の用紙上のインクが乾燥するまでに、色合いが変化することがあります。その場合は、インクを十分に乾燥させてから用紙を取り扱ってください。
- 薄手のコート紙など、薄くて腰の弱い用紙を使ってインクを打ち込む量の多い印刷をすると、湿度の高い環境ではきれいに巻き取れないことがあります。その場合は、使用環境の改善を図るか、プリンタドライバのインク乾燥時間機能を設定するなど、乾燥した状態で用紙を巻き取るようにしてください。プリンタドライバの詳しい使用方法については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

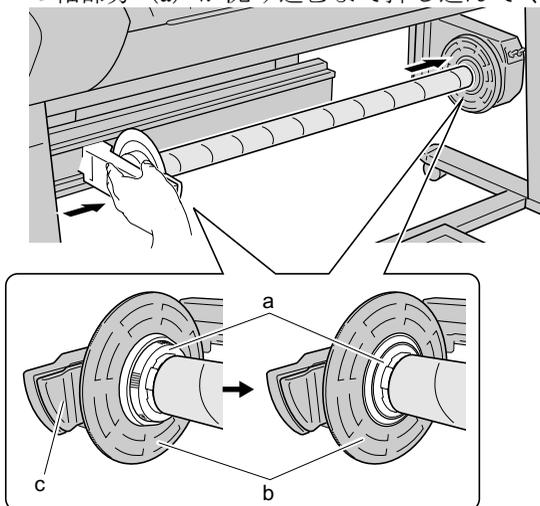
巻き取り装置使用の設定

1 ［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

2 ［<］、［>］キーで「マキトリ　ソウチ」を選択し、［V］キーを押します。

3 ［<］、［>］キーで「シヨウスル」を選択し、［確定］キーを押します。

設定値の左に「＝」が表示され、巻き取り装置の使用が設定されます。

ロール紙の取り付け

1 巻き取り装置の巻き取りモードスイッチを［Manual］側にします。

2 排紙スタッカを使用している場合は、スタンドから取り外します。

排紙スタッカはセンサーを遮らない場所に保管してください。

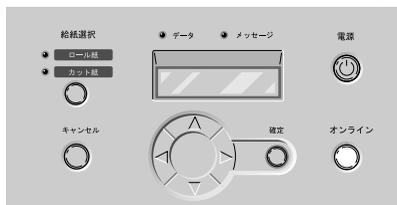
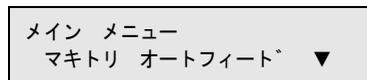
3 スライドホルダー解除レバー（a）を押しながら、スライドホルダーを左へ移動します。

4 巻き取りホルダーの軸へ紙管を差し込みます。

5 紙管の左側へスライドホルダーの軸を差し込み、スライドホルダーの左側に手を当てて、カチッと音がして固定されるまで強く押し込みます。

左右ホルダーの軸部分（a）が沈み込むまで押し込んでください。

お願い

- スライドホルダーを押すときは、スライドホルダー解除レバー（c）をつかまないでください。固定が不完全になり、巻き取り不良の原因になります。
- スライドホルダーを強く押し込んだ後、紙管にガタつきがないか確認してください。紙間を持って左右に動かし、（a）の面と（b）の面に段差が生じる場合は、一度紙管を取り外してセットし直してください。

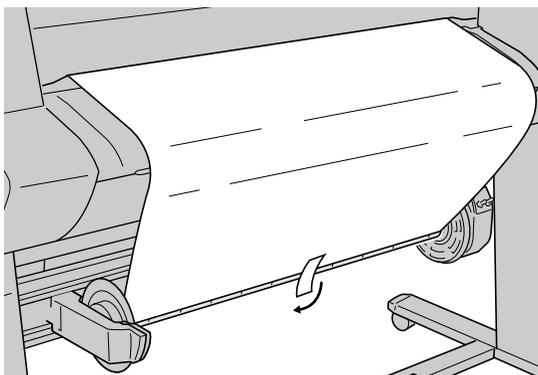
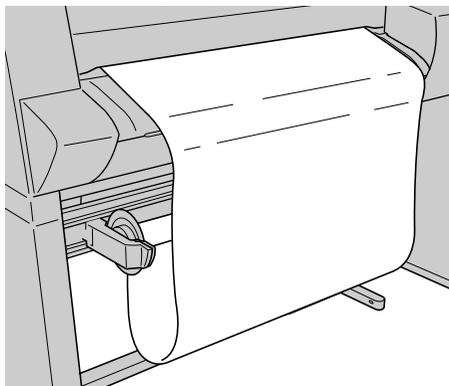
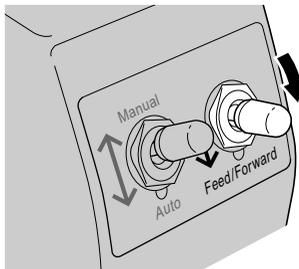
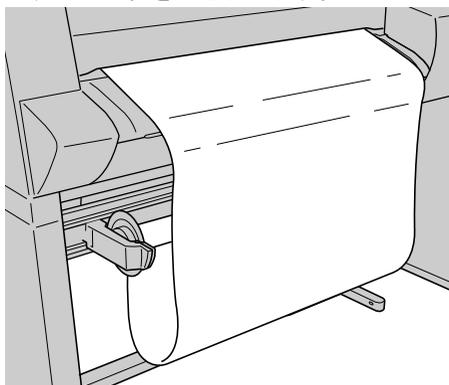
6 ［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

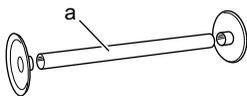
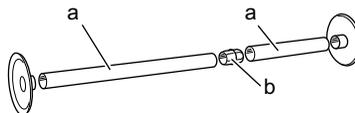
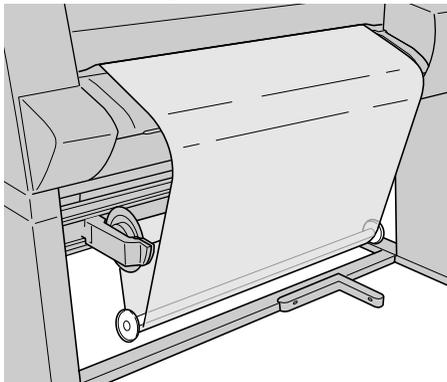
7 ［<］、［>］キーで「マキトリ　オートフィード」を選択し、［∨］キーを押します。

メイン　メニュー
　マキトリ　オートフィード　▼

8 ［<］、［>］キーで「スル」を選択し、［確定］キーを押します。

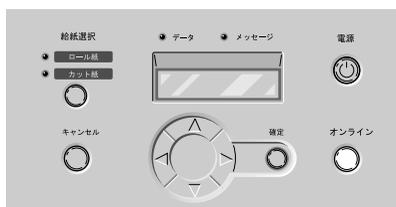
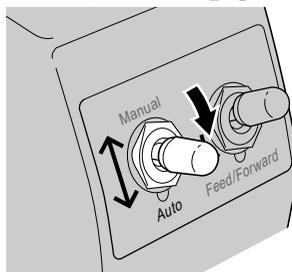
マキトリ　オートフィード
　　　　　スル

設定値の左に「＝」が表示され、ロール紙が巻き取り装置まで送られます。

9 ロール紙先端の中央を持って右端を巻き取りホルダーに揃え、ロール紙中央を紙管にテープで止めます。

10 ［V］キーを押して、ロール紙をたるませます。

11 巻き取り装置の巻き取りスイッチを下に押して、用紙を２周位巻き取ります。

12 ［V］キーを押して、ロール紙をたるませます。

13 ロール紙の幅に合わせて、ウェイトロール（a）とウェイトジョイント（b）を組み立てます。

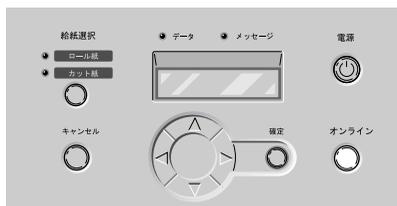
A2 サイズ以下の場合

A1 サイズ以上の場合

14 ウェイトロールをロール紙のたるみの上に乗せます。

お願い

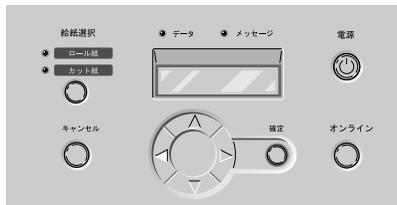
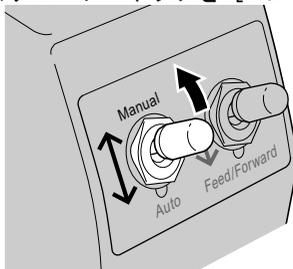
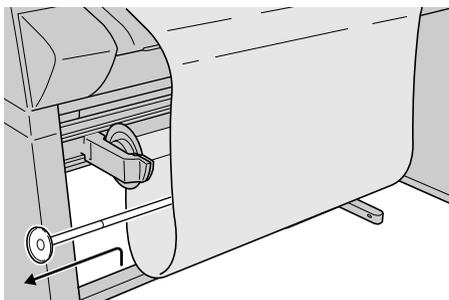
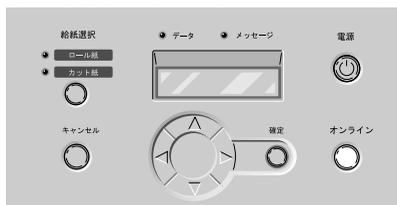
- ウェイトロールは必ず乗せてください。巻き取り不良の原因になります。

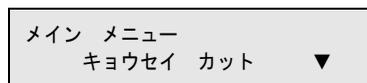
15 ［オンライン］キーを押して、「オンライン」を表示します。

16 巻き取り装置の巻き取りモードスイッチを［Auto］側にします。

これで、巻き取り装置の準備は完了です。コンピュータから印刷を行ってください。

印刷済み用紙の取り外し

印刷し終わった後、巻き取り装置から用紙を取り外すときは、次の手順で行います。

1 ［オンライン］キーを押して、「オフライン」を表示します。

2 ［V］キーを押して、ロール紙を少し送ります。

巻き取った用紙を保護したい場合は、外周分以上の長さを送ってください。

3 巻き取り装置の巻き取りモードスイッチを［Manual］側にします。

4 ウェイトロールをロール紙から取り除きます。

5 ［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

6 ［<］、［>］キーで「キョウセイ　カット」を選択し、［V］キーを押します。

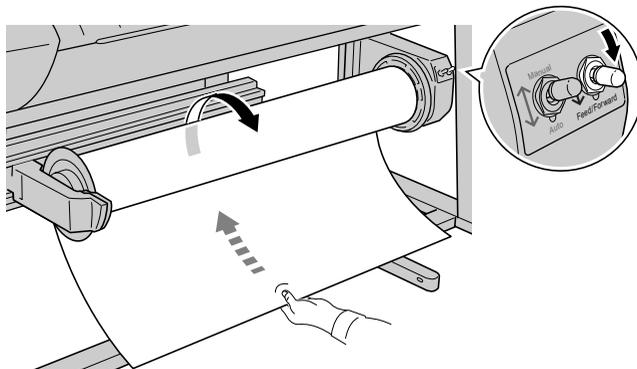
メイン　メニュー
　　キョウセイ　カット　　▼

7 印刷済み用紙の後端を手で持ちながら、[<]、[>] キーで「スル」を選択して [確定] キーを押します。

```
キョウセイ　カット
　　　　　　スル
```

ロール紙がカットされます。

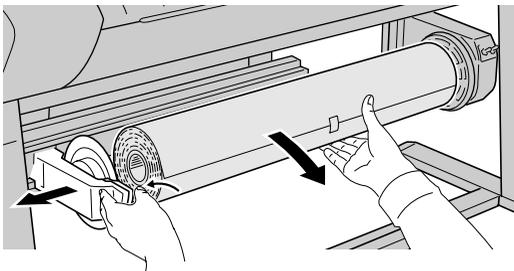
お願い

- ロール紙をカットするときは、必ず印刷済み用紙の後端を手で持ってください。持たずにカットすると、用紙が床に落ちて印刷面が汚れることがあります。

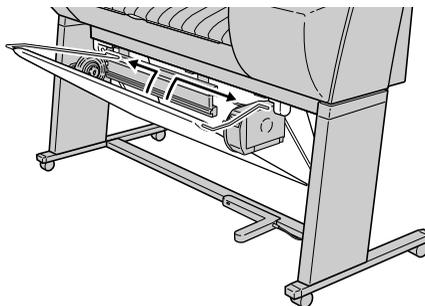
8 印刷済み用紙の後端を手で持ちながら、巻き取り装置の巻き取りスイッチを下に押して、印刷済み用紙を巻き取ります。

必要に応じてテープなどで止めてください。

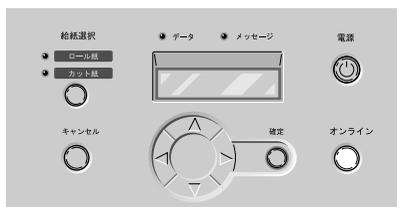
お願い

- 印刷面を傷つけないようにご注意ください。

9 印刷済み用紙を手で支えながら、スライドホルダー解除レバーを押してスライドホルダーを左に移動し、印刷済み用紙を取り出します。

お願い

● 巻き取り装置を使用しないときは、紙管を取り付けておいてください。給紙不良の原因になることがあります。

10 排紙スタッカを使用する場合は、スタンドに排紙スタッカを取り付けます。

巻き取り装置不使用の設定

1 ［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

2 ［＜］、［＞］キーで「マキトリ　ソウチ」を選択し、［V］キーを押します。

3 ［＜］、［＞］キーで「シヨウシナイ」を選択し、［確定］キーを押します。

設定値の左に「＝」が表示され、巻き取り装置の不使用が設定されます。

3 Windows からの印刷

この章では、Windows から印刷するときの基本操作について説明しています。

印刷する

Windows のアプリケーションソフトから印刷するときは、ファイルメニューの［印刷］で印刷します。

お願い

- 本プリンタで印刷するコンピュータは、なるべく他のアプリケーションを閉じて印刷を行ってください。コンピュータで他の処理を行っていると、印刷データの転送が途切れ途切れになり、プリント動作が一時停止しながら印刷するので、印字品質低下の原因になります。

メモ

- プリンタドライバの詳しい使用方法については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。（→ P.3-5）

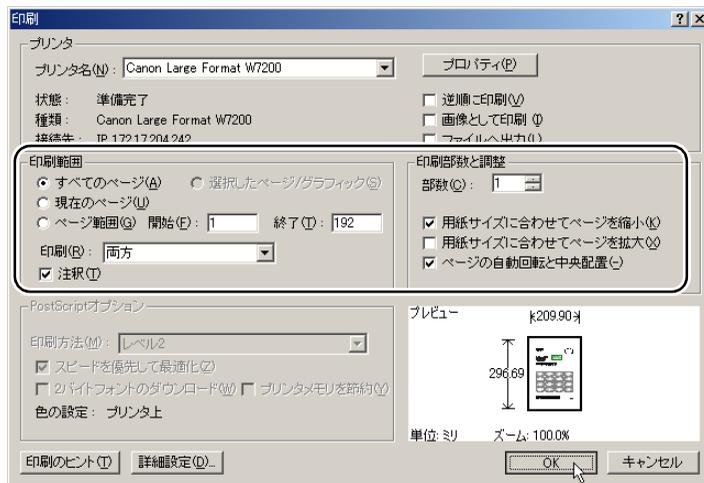
印刷の操作

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

「印刷」ウィンドウが表示されます。

2 ［プリンタ名］に本プリンタが選択されていることを確認し、［印刷範囲］で印刷するページ、［部数］で印刷部数を設定して［OK］ボタンを押します。

印刷が始まります。

お願い

- 排紙スタッカに排紙された用紙は、1 枚ごとに取り除いてください。

メモ

- プリンタ名の［プロパティ］ボタンを押すと、用紙の種類や給紙方法、印刷品質、色設定などを設定することができます。
- 長尺印刷や多部数印刷を行うときは、インク残量を確認してから印刷することをお勧めします。途中でインクが無くなった場合、印刷データは削除されます。インク残量は、［プロパティ］ボタンを押し、［基本設定］シートの［Status Monitor］ボタンを押すと、表示されます。

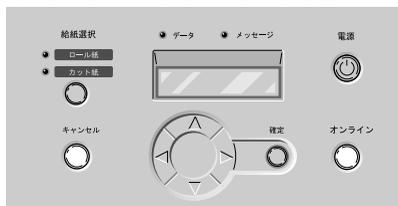
印刷を中止する

印刷を中止したいときは、次の手順で操作します。

1 ［プリンタ］フォルダの本プリンタのアイコンを開きます。

2 中止したいジョブを選択し、［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］を選択します。

ジョブが削除されます。

3 プリンタ側の処理中表示が消えずにオンラインランプが点滅しているときは、［オンライン］キーを押し、ディスプレイに「テイシチュウ」が表示されたら［キャンセル］キーを 0.5 秒以上押します。

処理中のジョブが削除されます。

4 データランプが消えていてジョブキャンセルができない場合は、GARO Status Monitor で不要なジョブを削除します。

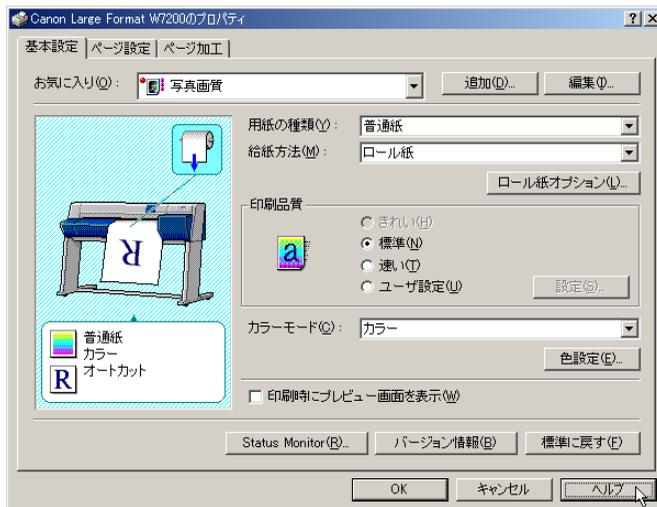
5 GARO Status Monitor をインストールしていない場合は、［電源］キーを約 3 秒押し続けて、電源を一旦オフにしてから、電源を入れ直します。

プリンタの電源をオフにすると、プリンタで受信中や処理中のジョブがすべて削除されます。必要なジョブは印刷し直してください。

ヘルプを見る

プリンタドライバの機能や各項目の説明は、ヘルプで見ることができます。

ヘルプの開きかた

1 プリンタのプロパティウィンドウで［ヘルプ］ボタンを押します。

「ヘルプ」ウィンドウが表示されます。

メモ

- 「ヘルプ」ウィンドウの使いかたについては、各 OS のマニュアルをご覧ください。

4 Macintosh からの印刷

この章では、Macintosh から印刷するときの基本操作について説明しています。

印刷する

Macintosh のアプリケーションソフトから印刷するときは、使用するプリンタを選択してから、ファイルメニューの［印刷］で印刷します。

お願い

● 本プリンタで印刷するコンピュータは、なるべく他のアプリケーションを閉じて印刷を行ってください。コンピュータで他の処理を行っていると、印刷データの転送が途切れ途切れになり、プリント動作が一時停止しながら印刷するので、印字品質低下の原因になります。

メモ

● プリンタドライバの詳しい使用方法については、ヘルプをご覧ください。（→ P.4-13）

プリンタの選択

■MacOS 8.6/9.x の場合

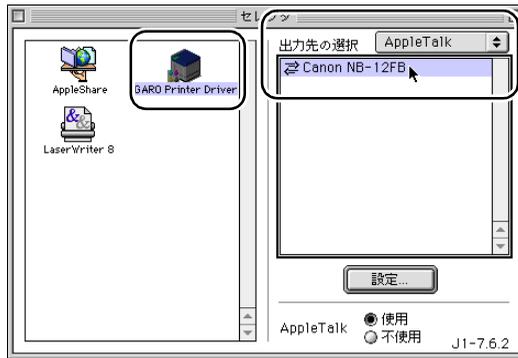
Mac OS 8.6/9.x の場合は、セレクタでプリンタを選択します。プリンタの電源が入っていなかったり、ケーブルが外れていると、本プリンタがリストには表示されません。プリンタの状態を確認してから操作を行ってください。

メモ

● USB 接続では、プリンタを共有して印刷できないことがあります。その場合は、コンピュータの USB ポートまたは IEEE1394 ポートに直接接続してください。プリンタを共有したい場合は、Windows コンピュータから印刷してください。

1 アップルメニューの［セレクタ］を選択します。

2 左側のリストから［GARO PrinterDriver］アイコンを選択し、［出力先の選択］で接続方法、右側のリストから接続したプリンタ名を選択します。

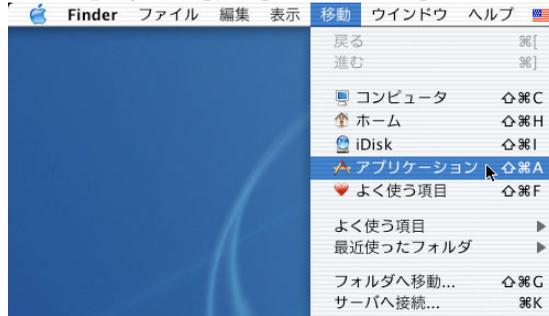
ネットワーク接続の場合は、［AppleTalk］で［使用］が選択されていることを確認してください。

3 ［セレクタ］ウィンドウを閉じ、確認ウィンドウの［OK］ボタンを押します。

これで、プリンタの選択は完了です。

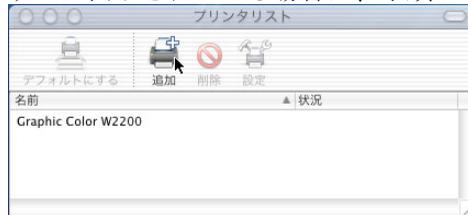
■MacOS X の場合

Mac OS X の場合は、プリントセンターでプリンタを選択します。プリンタの電源が入っていなかったり、ケーブルが外れていると、本プリンタがリストには表示されません。プリンタの状態を確認してから操作を行ってください。

ここでは、Mac OS X v10.2 を例に説明しています。v10.1 では、アイコン名や画像が多少異なります。

1 Finder を選択し、［移動］メニューの［アプリケーション］を選択します。

2 ［ユーティリティ］フォルダを開き、［プリントセンター］を開きます。

3 ［プリンタリスト］に本プリンタ名がない場合は、［追加］アイコンを押します。

すでに表示されている場合は、手順 5 へ進んでください。

4 接続先メニューから本プリンタの接続先（［USB］または［Apple Talk］）を選択し、リストに表示された本プリンタ名を選択して［追加］ボタンを押します。

メモ

- 本プリンタ名が表示されない場合は、ケーブルの接続状態や本プリンタおよびネットワーク機器の電源を確認してください。

5 デフォルトプリンタに設定する場合は、［プリンタリスト］の本プリンタを選択し、［プリンタ］メニューの［デフォルトにする］を選択します。

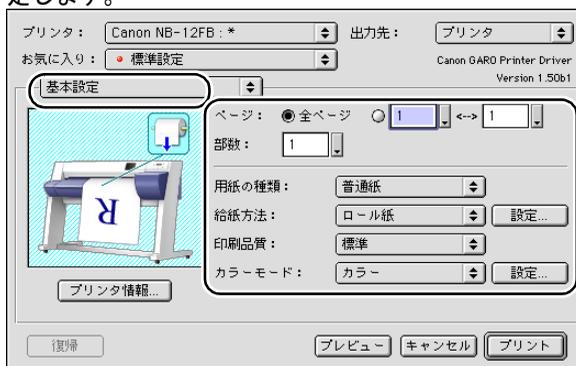
メモ

- プリンタはプリントダイアログボックスの［プリンタ］で選択することもできます。

印刷の操作

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

「印刷」ウィンドウが表示されます。

2 **［プリンタ］で本プリンタが選択されていることを確認し、［基本設定］パネルで［ページ］、［部数］、［用紙の種類］、［給紙方法］、［印刷品質］などを設定します。**

MacOS X の場合は、［印刷ページと部数］パネルと［基本設定］パネルで設定してください。

3 **［プリント］ボタンを押します。**

印刷が始まります。

お願い

- 排紙スタッカに排紙された用紙は、1 枚ごとに取り除いてください。

メモ

- 長尺印刷や多部数印刷を行うときは、インク残量を確認してから印刷することをお勧めします。途中でインクが無くなった場合、印刷データは削除されます。インク残量は、［基本設定］パネルの［プリンタ情報］ボタンを押すと、表示されます。

印刷を中止する

印刷したジョブの中止操作は、バックグラウンド印刷の場合と、フォアグラウンド印刷の場合で異なります。

メモ

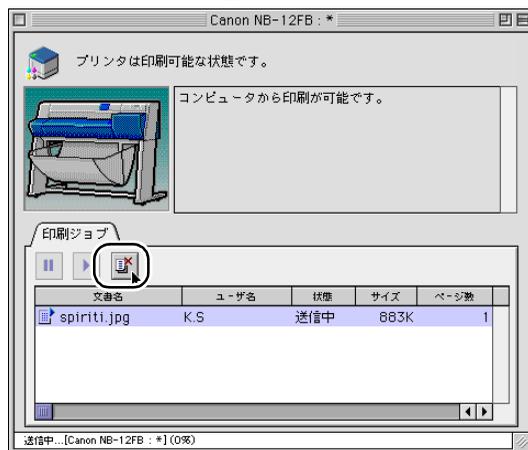
- MacOS X の場合は、すべてバックグラウンド印刷になります。フォアグラウンドで印刷することはできません。

バックグラウンド印刷の場合

バックグラウンド印刷の場合は、印刷状況を確認したり、中止したりすることができます。印刷を中止したいときは、次の手順で操作します。

■MacOS 8.6/9.x の場合

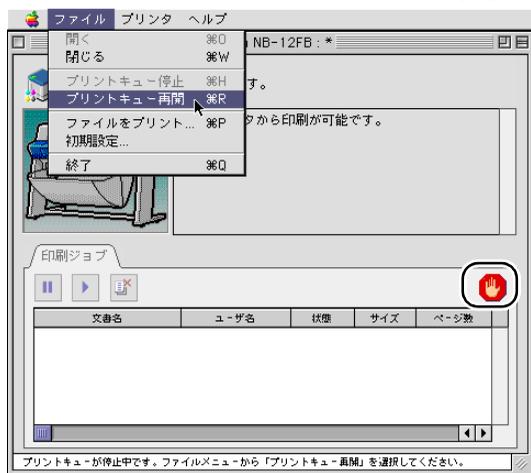
1 ハードディスクにインストールされた［GARO Printer エクストラ］フォルダ内の［GARO Printmonitor］アイコンを開きます。

2 中止したいジョブを選択し、［印刷停止］ボタンを押します。

プリントキュー（印刷処理）が停止し、状態が［送信中］から［送信待ち］に変わります。プリントキュー停止中は、右側に赤いマークが表示されます。

状態が［送信待ち］になっていて［ジョブ］アイコンに［●］しるしが付いているジョブを選択して、［印刷停止］ボタンを押したときは、ジョブが削除されます。手順 4 からの操作を行ってください。

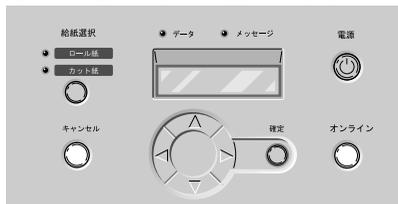
3 中止したいジョブを選択した状態で、もう一度［印刷停止］ボタンを押します。

ジョブが削除されます。

4 ［ファイル］メニューの［プリントキュー再開］を選択します。

次の印刷ができる状態になります。

お願い

- 印刷中止の操作を行ったときは、必ず［プリントキュー再開］を選択してください。プリントキュー停止状態（赤いマークの表示されている状態）では、印刷することができません。

5 **プリンタ側の処理中表示が消えずにオンラインランプが点滅しているときは、［オンライン］キーを押し、ディスプレイに「テイシチュウ」が表示されたら［キャンセル］キーを 0.5 秒以上押します。**

処理中のジョブが削除されます。

6 **データランプが消えていてジョブキャンセルができない場合は、［電源］キーを約 3 秒押し続けて、電源を一旦オフにしてから、電源を入れ直します。**

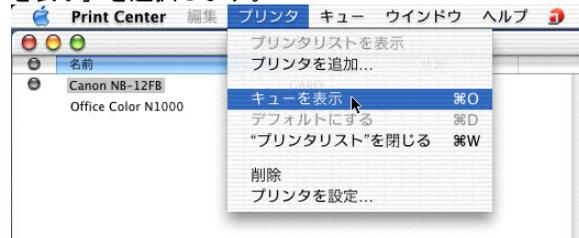
プリンタの電源をオフにすると、プリンタで受信中や処理中のジョブがすべて削除されます。必要なジョブは印刷し直してください。

■MacOS X の場合

ここでは、Mac OS X v10.2 を例に説明しています。v10.1 では、アイコン名や画像が多少異なります。

1 **Finder を選択し、［移動］メニューの［アプリケーション］を選択します。**

2 ［ユーティリティ］フォルダを開き、［プリントセンター］を開きます。

3 ［プリンタリスト］の本プリンタを選択し、［プリンタ］メニューの［ジョブを表示］を選択します。

本プリンタのキューリストが表示されます。

4 中止したいジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［ジョブを削除］を選択します。

処理中のジョブが削除されます。

5 プリンタ側の処理中表示が消えずにオンラインランプが点滅しているときは、[オンライン] キーを押し、ディスプレイに「テイシチュウ」が表示されたら [キャンセル] キーを 0.5 秒以上押します。

処理中のジョブが削除されます。

6 データランプが消えていてジョブキャンセルができない場合は、[電源] キーを約 3 秒押し続けて、電源を一旦オフにしてから、電源を入れ直します。

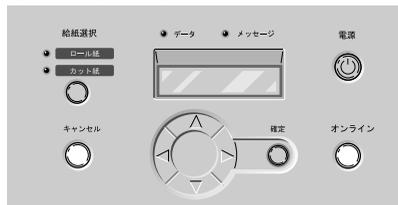
プリンタの電源をオフにすると、プリンタで受信中や処理中のジョブがすべて削除されます。必要なジョブは印刷し直してください。

フォアグラウンド印刷の場合

フォアグラウンド印刷の場合は、印刷中に印刷中処理ダイアログが表示されます。印刷を中止したいときは、次の手順で操作します。

1 印刷中処理ダイアログが表示されているときに、コンピュータの［コマンド］キーを押しながら［.］（ピリオド）キーを押します。

ジョブが中止されます。

2 プリンタ側の処理中表示が消えずにオンラインランプが点滅しているときは、［オンライン］キーを押し、ディスプレイに「テイシチュウ」が表示されたら［キャンセル］キーを 0.5 秒以上押します。

処理中のジョブが削除されます。

3 データランプが消えていてジョブキャンセルができない場合は、［電源］キーを約 3 秒押し続けて、電源を一旦オフにしてから、電源を入れ直します。

プリンタの電源をオフにすると、プリンタで受信中や処理中のジョブがすべて削除されます。必要なジョブは印刷し直してください。

ヘルプを見る

プリンタドライバの機能や各項目の説明は、付属の User Software CD-ROM に PDF ファイルで収録されています。

ヘルプファイルの開きかた

1 **付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、PDF アイコンを開きます。**

Mac OS8.x および 9.x の場合は、［OS 89］フォルダ内の［W7200W7250DRV89_Jp］ファイルを開いてください。
Mac OS X の場合は、［OS X］フォルダ内の［W7200W7250DRVx_Jp］ファイルを開いてください。

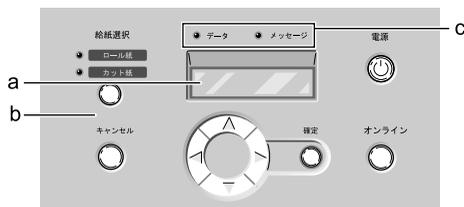
メモ

- ヘルプを見るには Adobe Acrobat Reader が必要です。インストールしていない場合は、付属の User Software CD-ROM にインストーラが収録されていますので、あらかじめインストールしてください。
- Adobe Acrobat Reader の使用方法については Adobe Acrobat Reader のマニュアルをご覧ください。
- ヘルプファイルは、ハードディスクにコピーすると、付属の User Software CD-ROM をセットしなくても開くことができます。

5 操作パネルの使いかた

この章では、プリンタの操作パネルの機能や使いかたについて説明しています。

操作パネルについて

本プリンタには、ディスプレイ（a）と9つのキー（b)、5つのランプ（c）があり、プリンタの状態を表示したり、メッセージを表示したり、プリンタ機能を設定することができます。

ディスプレイの見かた

ディスプレイには状態によって、次のような内容が表示されます。

■印刷待機状態

オンライン

ディスプレイ上段：
　プリンタの状態が表示されます。

■ジョブ処理状態

フ゜リントチュウ

ディスプレイ上段：
　プリンタの動作状態が表示されます。

■機能メニュー表示状態

ディスプレイ上段：
　メニュー名やサブメニュー名が表示されます。

ディスプレイ下段：
　選択項目が表示されます。
　右端に▼が表示されているときは、下の階層があることを示しています。

■項目 / 設定値表示状態

```
ロールシ　シュルイ
　　　　　＝フツウシ
```

ディスプレイ上段：

サブメニュー名が表示されます。

ディスプレイ下段：

項目 / 設定値が表示されます。
左端に＝が表示されているときは、その設定値が現在設定されていることを示しています。

■メッセージ表示状態

```
Y　インクタンク　コウカン
```

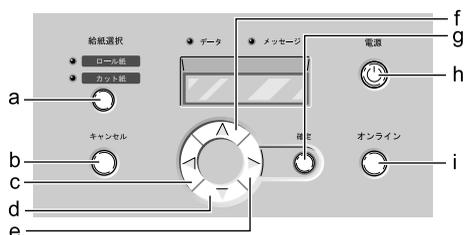
何か処置が必要な状態のとき、メッセージランプの点滅と共にプリントは停止します。その場合は、原因を解決してください。

処置が必要になる状態を予告するメッセージのときは、プリントを継続することができます。メッセージランプも点灯しますが、いずれかのキーを押すと、警告表示とランプを消すことができます。

メモ

● メッセージが表示されたときは、第 7 章 「メッセージが表示されたときは」（→ P.7-13）を参照して処置してください。

操作キーの使いかた

操作パネルのキーは、次の機能があります。

a ［給紙選択］キー

オフライン状態：

給紙元をロール紙またはカット紙に切り替えます。ただし、巻き取り装置に用紙をセットしている場合は、ロール紙に固定されます。

b ［キャンセル］キー

オフライン状態：

0.5 秒以上押し続けると、処理中のジョブやインク乾燥、ヘッドクリーニングを中止し、用紙を排紙します。

ポーズ状態：

0.5 秒以上押し続けると、停止中のジョブを中止し、用紙を排紙します。

c ［<］キー

オフライン状態：

1 秒以上押し続けると、キャリッジを左に移動します。

メニュー表示状態：

項目選択キーとして働き、一つ前の候補を表示します。

d ［V］キー

オフライン状態：

ロール紙の場合は、手動フィードキーとして働き、用紙を送ります。カット紙の場合は用紙を排紙します。

メニュー表示状態：

一つ下の階層メニューを表示します。

e ［>］キー

オフライン状態：

1 秒以上押し続けると、キャリッジを左に移動します。

メニュー表示状態：

項目選択キーとして働き、次の候補を表示します。

f ［∧］キー

オフライン状態：

ロール紙の場合は、手動フィードキーとして働き、用紙を戻します。カット紙の場合は用紙を排紙します。

メニュー表示状態：

階層を戻るキーとして働き、一つ上のメニューを表示します。

g ［確定］キー

設定値表示状態：

選択した項目や値を設定または実行します。

h ［電源］キー

プリンタの電源をオン / オフするキーです。

電源オフ状態：

押すと、電源がオンになります。

電源オン状態：

約 3 秒押し続けると、電源がオフになります。

i ［オンライン］キー

プリンタのオンラインとオフライン、メニュー表示を切り替えるキーです。

オンライン状態：

オフラインに切り替わります。

オフライン状態：

メニュー表示に切り替わります。

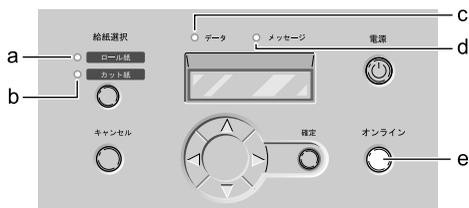
メニュー表示状態：

メニュー操作をキャンセルしてオンラインに切り替わります。ただし、エラーメッセージ表示中や用紙がセットされていない場合は、問題が解決されるまで、オンラインにはなりません。

ジョブ処理状態：

ポーズ状態に切り替わり、ジョブ処理を一時停止します。

ランプの見かた

ランプ点滅により、次の状態が表示されます。

a　ロール紙ランプ

点灯：

給紙元にロール紙が選択されていることを示します。

b　カット紙ランプ

点灯：

給紙元にカット紙が選択されていることを示します。

c　データランプ

点灯：

ジョブの受信中及び処理中を示します。

点滅：

ポーズ状態で停止中のジョブがある、または処理できないジョブを受信していることを示します。

消灯：

ジョブがない状態を示します。

d　メッセージランプ

点灯：

警告表示中を示します。

点滅：

エラー発生中を示します。

消灯：

正常または電源オフ状態を示します。

e　オンラインランプ

点灯：

オンライン状態またはジョブ処理状態を示します。

点滅：

用紙ロード中を示します。

消灯：

オフラインまたはポーズ、電源オフ状態を示します。

機能メニューについて

本プリンタには、さまざまなプリンタ機能が内蔵されており、操作パネルで設定することができます。機能メニューでは、システムの設定やオプションの設定、ヘッドクリーニング、テストプリント、情報表示などの機能を設定することができます。

プリンタ機能の優先順位

操作パネルから設定した機能と同じ設定項目が、プリンタドライバにある場合は、プリンタドライバの設定値が優先されます。

機能メニューの構造

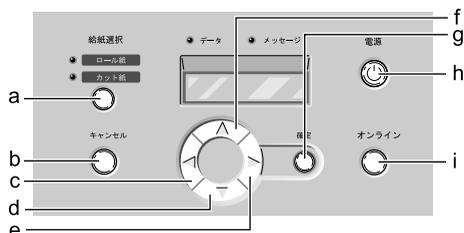
各メニューの項目は、次のように階層化されています。［<］、［>］キーで項目を選択し、［∨］キーで階層を進んだり、［∧］キーで階層を戻ることができます。また各項目の設定値は［確定］キーで実行されます

■メイン　メニュー

機能メニューの設定操作

機能メニューを設定するときは、［オンライン］キーでメニュー表示状態に切り替えて、［<］、［>］、［∨］、［∧］、［確定］キーで操作します。

設定のしかた

ここでは、スリープタイマーを設定する場合を例に、操作手順を説明します。

1 **［電源］キー（h）を押して、プリンタの電源をオンにします。**

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 **［オンライン］キー（i）を２回押して、「メイン　メニュー」を選択します。**

3 **［<］、［>］キー（c, e）で「システム　セッテイ」を選択し、［∨］キー（d）を押します。**

次の階層の項目が表示されます。

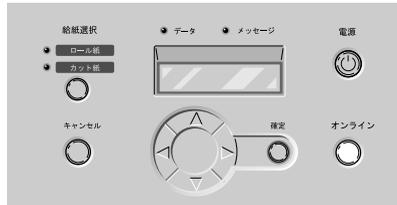
4 **［<］、［>］キー（c, e）で「スリープ　タイマー」を選択し、［∨］キー（d）を押します。**

選択した項目の設定値が表示されます。

5 ［＜］、［＞］キー（c, e）で設定値を選択し、［確定］キー（g）を押します。

```
スリーフ゜  タイマー
        １０  フ゜ン
```

設定値の左側に「＝」が表示されて設定が変更されたます。

6 ［オンライン］キー（i）を押し、「オンライン」を表示します。

オンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。

機能メニューの設定値一覧

各メニューには次の機能があります。設定値に * がついている値がその項目の初期設定値です。

メインメニュー

設定項目	設定値	機能説明
ヘッドクリーニング	ヘッド　クリーニング A	プリントヘッドのクリーニングを行います。
	ヘッド　クリーニング B	インクの充填を行います。
キョウセイ　カット [*1]	スル *, シナイ	現在の位置でロール紙のカットを実行します。ただし用紙の先端から 10cm 以内の場合は、10cm になるまで用紙が送られてからカットされます。
マキトリ　オート　フィード [*2,3]	スル *, シナイ	巻き取り装置のオートフィード機能を設定します。
マキトリ　ソウチ	ショウシナイ *, ショウスル	巻き取り装置の使用を設定します。「ショウスル」を設定するとカッターは自動的にオフになります。
カットシ　シュルイ [*4]	フツウシ *, コートシ , アツクチコートシ , コウタクシ , フォトコウタクシ , フォトハンコウタクシ , コウタクフィルム , BPF, プルーフヨウシ , スペシャル 1 ～ 5	カット紙の用紙の種類を設定します。
ロールシ　シュルイ	フツウシ *, コートシ , アツクチコートシ , コウタクシ , フォトコウタクシ , フォトハンコウタクシ , コウタクフィルム , BPF, プルーフヨウシ , スペシャル 1 ～ 5	ロール紙の用紙の種類を設定します。
インクタンク　コウカン	シナイ *, スル	インクタンク交換に必要な処理を行います。
オートカット [*5]	アリ *, カットライン　インサツ , ナシ	ロール紙のオートカット機能を設定します。「カットライン　インサツ」を設定すると、カット位置に線が印刷されます。
システムセッテイ		
カッター	ショウスル *, ショウシナイ	ロール紙のカッター機能を設定します。
ブザー	オン *, オフ	ブザー機能を設定します。「オン」にすると、エラー発生時にブザーを鳴らします。

設定項目	設定値	機能説明
スリープ　タイマー	オフ , 5 フン , 10 プン , 20 プン *, 30 プン , 40 プン , 50 プン , 60 プン	スリープ状態に移行するまでの時間を設定します。「オフ」にすると、スリープしなくなります。
EOP　タイマー	10 ビョウ , 30 ビョウ , 1 プン , 2 フン , 5 フン , 10 プン , 30 プン , 60 プン *	ジョブのタイムアウト時間を設定します。
ヘッド　コウカン	シナイ *, スル	プリントヘッドの交換に必要な処理を行います。
インジ　チョウセイ		
ジドウ　プリント	オン *, オフ	プリントヘッド交換後、自動的にパターン　インサツ　A を行います。
パターン　インサツ　A	チョウセイチ　A チョウセイチ　B チョウセイチ　C チョウセイチ　D チョウセイチ　E チョウセイチ　F チョウセイチ　G チョウセイチ　H チョウセイチ　I チョウセイチ　J チョウセイチ　K	ノズル間や印刷方向、色間のプリントヘッド位置調整を行うためのメニューです。調整用のパターンを印刷し、A ～ K の項目毎に調整値を設定します。
パターン　インサツ　B	チョウセイチ　L チョウセイチ　M チョウセイチ　N チョウセイチ　P チョウセイチ　Q チョウセイチ　R チョウセイチ　S チョウセイチ　T チョウセイチ　U チョウセイチ　V–Z	用紙の送り量調整を行うためのメニューです。用紙の種類を選択してから調整用のパターンを印刷し、用紙毎の調整値を設定します。（L: 普通紙 , M: コート紙 , N: 厚口コート紙 , P: 光沢紙 , Q: フォト光沢紙 , R: フォト半光沢紙 , S: 光沢フィルム , T: BPF, U: プルーフ用紙 , V ～ Z: スペシャル 1 ～ 5）
ホンタイ　ユソウ	シナイ *, スル	プリンタ輸送時に必要な処理を行います。
スタンド *6	シヨウスル *, シヨウシナイ	W7250 でスタンドの使用を設定します。
IP セッテイ		
IP　アドレス サブネット　マスク デフォルト　G/W		ネットワークインターフェースの TCP/IP ネットワーク情報を設定します。TCP/IP の各項目を設定した後、「セッテイ　トウロク」を行うと設定値が有効になります。
セッテイ　トウロク	スル *, シナイ	ネットワークインターフェースの設定を有効に使うためのメニューです。

設定項目	設定値	機能説明
カットクズ　ケイゲン		
フツウシ コートシ アツクチコートシ コウタクシ フォトコウタクシ フォトハンコウタクシ コウタクフィルム BPF プルーフヨウシ スペシャル 1 ～ 5	オフ *, オン	ロール紙印刷時、カット位置に線を印刷してカット屑の散乱を軽減します。各用紙種類毎に設定可能です。
インクザンリョウケンチ　オフ	Bk　インクタンク PC　インクタンク C　インクタンク PM　インクタンク M　インクタンク Y　インクタンク	インクタンクのインク残量検知機能をオフに設定します。
ヒョウジ　ゲンゴ	English, カタカナ *, Français, Deutsch, Italiano, Español	ディスプレイの表示言語を設定します。
テスト　プリント		
ステータス　プリント		プリンタ情報や設定値を印刷します
ノズル　チェック　プリント		ノズルチェックパターンを印刷します。
インフォメーション		
インク		インク残量を表示します。
バージョン		プリンタ本体やファームウェアのバージョンを表示します。
メモリ		メモリ容量を表示します。
インタフェース		使用可能なインターフェース名を表示します。
カクチョウ　インタフェース		拡張スロットで使用可能なインタフェース名を表示します。
MAC　アドレス		ネットワークインターフェースの MAC アドレスを表示します。
エラー　リレキ		最近発生したエラーメッセージを表示します。

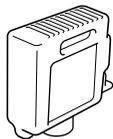
*1. 給紙元が「ロール紙」でカッターが「シヨウスル」のときに表示されます。
*2. マキトリソウチが「シヨウスル」のときに表示されます。
*3. W7200 のみ表示されます。
*4. 給紙元が「カット紙」のときに表示されます。
*5. 給紙元が「ロール紙」のときに表示されます。
*6. W7250 のみ表示されます。

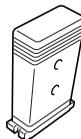
6 メンテナンス

この章では、消耗品の交換方法やお手入れのしかたについて説明しています。

インクタンクを交換する

インクタンクの残量が少なくなると、プリンタドライバやプリンタのディスプレイにメッセージが表示され、インクタンクの交換時期を知らせます。インクタンクはイエロー（Y）、マゼンタ（M）、フォトマゼンタ（PM）、シアン（C）、フォトシアン（PC）、ブラック（Bk）の 6 つあり、無くなった色のインクタンクだけ交換することができます。

● W7200 用インクタンク

- イエローインク BCI-1411Y
- マゼンタインク BCI-1411M
- フォトマゼンタインク BCI-1411PM
- シアンインク BCI-1411C
- フォトシアンインク BCI-1411PC
- ブラックインク BCI-1411Bk

● W7250 用インクタンク

- イエローインク BCI-1401Y
- マゼンタインク BCI-1401M
- フォトマゼンタインク BCI-1401PM
- シアンインク BCI-1401C
- フォトシアンインク BCI-1401PC
- ブラックインク BCI-1401Bk

インクタンク交換時期について

インクタンクは次のことを参考に、新しいインクタンクの用意や交換を行ってください。

■「X インク　チェック」のメッセージが表示されたとき

インク残量が少なくなると、「X　インク　チェック」のメッセージが表示されます。印刷は継続されます。このメッセージが表示されたときは、もうすぐインクが無くなることを予告しています。X のところには Y= イエロー、M= マゼンタ、PM= フォトマゼンタ、C= シアン、PC= フォトシアン、Bk= ブラックの色記号が表示されます。インク残量の少ない色については新しいインクタンクをご用意ください。

メモ

● インク残量が少なくなると、ヘッドクリーニング B などのインク消費が多いメンテナンスは十分にできない場合があります。その場合は、インクタンクを交換してからヘッドクリーニングを行ってください。

■「X インクタンク　コウカン」のメッセージが表示されたとき

インクが無くなると、この「X　インクタンク　コウカン」のメッセージが表示され、印刷が停止します。このメッセージが表示されたときは、インクタンクを交換してください。左には Y= イエロー、M= マゼンタ、PM= フォトマゼンタ、C= シアン、PC= フォトシアン、Bk= ブラックの色記号が表示されます。該当する色の新しいインクタンクを交換してください。

メモ

- 複数の色が無くなった場合は、無くなった色のメッセージが 1 つ表示されます。表示されている色のインクタンクを交換すると、他の色のメッセージが表示されますので、表示された色のインクタンクをすべて交換してください。表示された色のインクタンク交換をすべて行うと、印刷できるようになります。

インクタンク取り扱いの注意

インクタンクを取り扱うときは、次のことに注意してください。

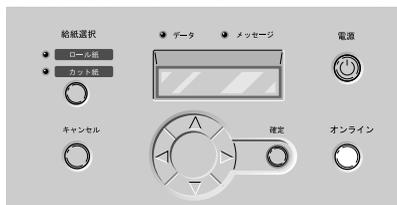
- **安全のため、インクタンクは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。**

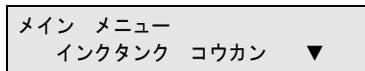
お願い

- インクタンクを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて周辺汚損の原因になることがあります。
- 取り外したインクタンクの供給口には、インクが付着していることがあります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちないことがあります。
- インクタンクは取り付ける直前まで開封しないでください。また、開封したインクタンクは、すみやかに取り付けてください。開封したまま放置すると、印字品質低下の原因になることがあります。
- インクタンクは、開封後半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクは、印字品質が低下することがあります。
- インクタンクを取り外した状態で長時間（1ヵ月以上）放置しないでください。インクがつまり、印字不良の原因になることがあります。

インクタンクの交換手順

インクタンクは次の手順で交換します。いずれのタンクも同様の手順で交換することができます。

1 ［オンライン］キーを 2 回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

2 ［<］、［>］キーで「インクタンク　コウカン」を選択し、［V］キーを押します。

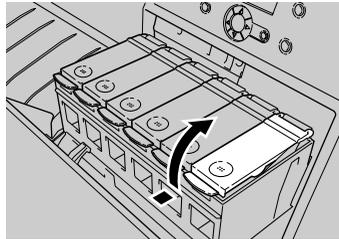
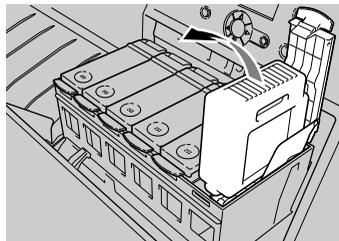
```
メイン　メニュー
　　インクタンク　コウカン　　▼
```

3 ［<］、［>］キーで「スル」を選択し、［確定］キーを押します。

```
インクタンク　コウカン
　　　　　　　スル
```

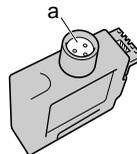
右カバーのロックが解除され、自動的に開きます。右カバーが十分に開かない場合は、手で開いてください。

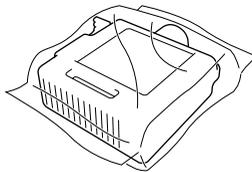
お願い

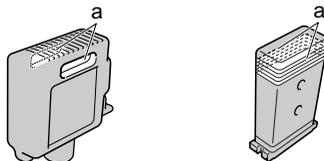
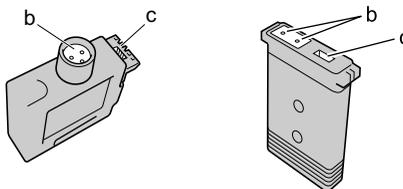
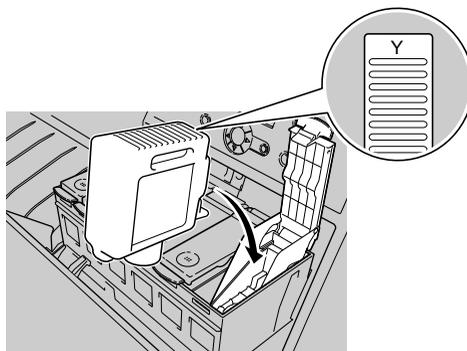
- 右カバーは必ず手順 1 〜手順 3 の操作でロックを解除してください。無理に開くとプリンタ故障の原因になります。

4 交換する色のインクタンクレバーを押して、インクタンクカバーを開きます。

5 つまみ部を持って空のインクタンクを取り出します。

取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

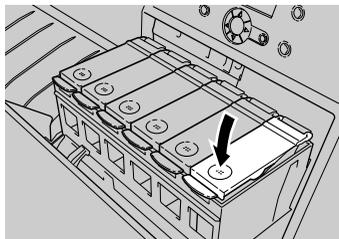
お願い

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部（a）を上にして保管してください。インクが流出して周辺を汚損することがあります。

- 使い終わったインクタンクは、地域の条例に従って廃棄してください。

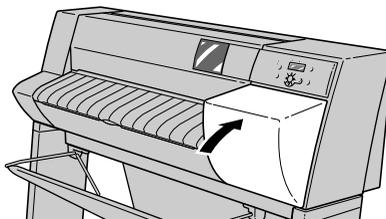
6 新しいインクタンクを袋から取り出します。

お願い

- インクタンクは必ず左右のつまみ部（a）を持って取り扱ってください。

- インク供給部（b）や端子部（c）には、絶対に触れないでください。インクタンクの破損や印字不良、周辺汚損の原因になります。

7 インク供給部を下側、ラベルを図の向きにしてインクタンクをホルダへ差し込みます。

お願い

- インクタンクは、必ず色と向きを確認してセットしてください。違う色のインクタンクをセットすると、チューブやプリントヘッドにインクが混入し、正しい色で印字できなくなります。

8 インクタンクカバーをロックします。

9 他の色も交換するときは、手順 4 ～手順 8 を繰り返します。

10 交換し終わったら、右カバーを閉じます。

カチッと音がしてロックするまで押してください。

オンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。

メモ

- すべてのインクタンクが取り付けられていない状態では、ディスプレイに「X インクタンク　アリマセン」が表示されます。手順 1 の操作からやり直して、すべての色のインクタンクを取り付けてください。

本プリンタ指定外のインクを使用する場合のご注意

本プリンタ指定のインクタンクは、印刷中のインク切れやプリントヘッドの損傷を防止するためインク残量検知機能を持っています。

インクを補充したインクタンクを使用すると、インク残量検知が正常に機能しなくなりインク切れで印刷動作が停止します。これらを使用する場合はインク残量検知機能をオフにする必要があります。

インク残量検知機能をオフにして印刷した場合、本プリンタ（とくにプリントヘッド）に損傷またはその他の異常を生じさせるおそれがあります。これらの行為が原因で生じた障害または損害につきましては、キヤノンは責任を負いません。

注意

- いったんインク残量検知機能をオフにすると、そのインクタンクの残量検知機能を回復させることはできません。残量表示を回復するには、本プリンタ指定の新しいインクタンクに交換してください。
- 同一のインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクと本プリンタとの接合部に不具合が生じ、インクタンクがらインクが漏れてプリンタに損傷を与える場合があります。

インク残量検知機能をオフにするには

1 ［オンライン］キーを２回押して､「メインメニュー」を表示します。

2 ［＜］､［＞］キーで「システムセッテイ」を選択し､［V］キーを押します。

3 ［＜］､［＞］キーで「インクザンリョウケンチ　オフ」を選択し､［V］キーを押します。

4 インクタンク（「Bk インクタンク」など）を［＜］､［＞］キーで選択し､［確定］キーを押します。

5 「ジッコウシマスカ？」と表示されたら［＜］､［＞］キーで「スル」を選択し､［確定］キーを押します。

選択したインクタンクのインク残量検知機能がオフになります。

メモ

- 上記の操作を途中で止める場合は､［オンライン］キーを押してください。

印刷を実行するには

インク残量検知機能をオフにした後は、コンピュータから印刷を実行するたびにプリンタの操作パネルに「インクザンリョウ　フメイ」と表示され、プリンタはオフラインになります。プリンタの操作パネルで［オンライン］キーを押して印刷を実行してください。

プリンタを清掃する

印字品質の保持やトラブル防止のために、プリンタを定期的に清掃してください。

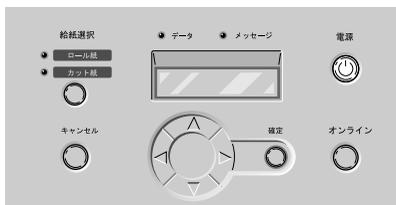
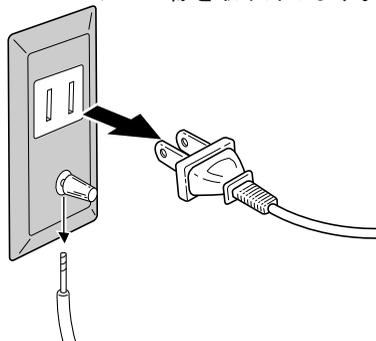
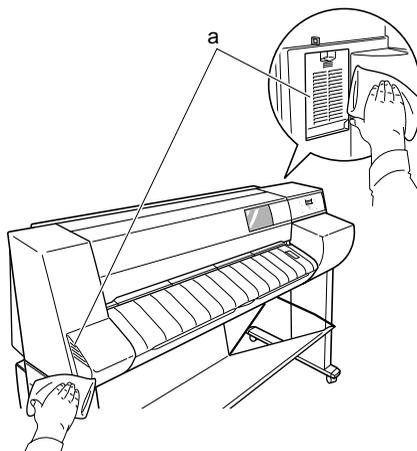
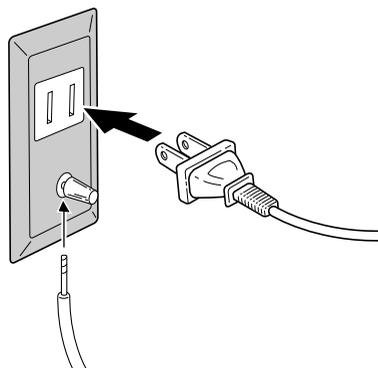
清掃するときは、次の注意を守って行ってください。

注意

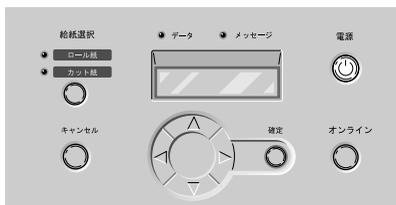
- プリンタを清掃するときは、プリンタの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがの原因になることがあります。
- プリンタを清掃するときは、シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

外装の清掃

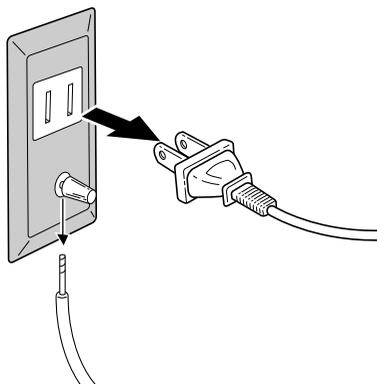
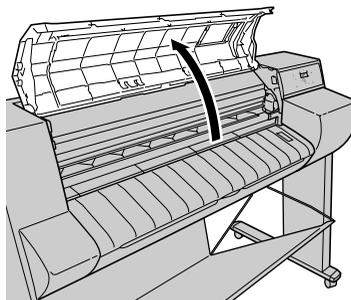
快適にお使いいただくために、一ヵ月に一回程度、プリンタの外装を清掃してください。

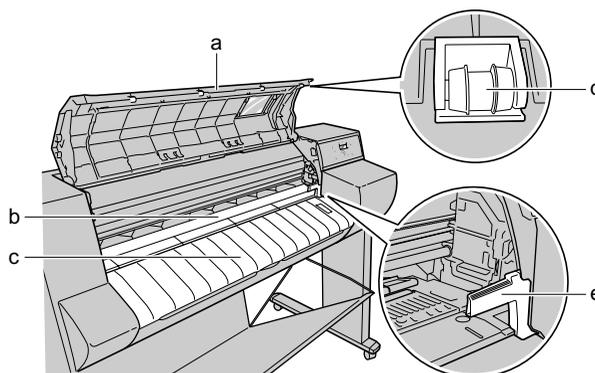
1 ［電源］キーを約 3 秒押し続けて、プリンタの電源をオフにします。

2 コンセントから電源コードとアース線を取り外します。

3 水を含ませ堅くしぼった布で、プリンタの外装やトレイ部、排気口（a)、電源コードのプラグ部の汚れや紙粉を拭き取ったあと、乾いた布で乾拭きします。

4 コンセントに電源コードとアース線を接続します。

上カバー内部の清掃

快適にお使いいただくために、印刷面や用紙の裏面が汚れる時、あるいは一ヵ月に一回程度、上カバー内部を清掃してください。また、小さいサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れている場合も、清掃を行ってください。

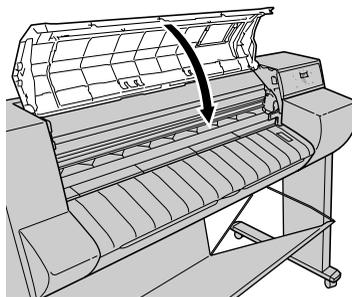
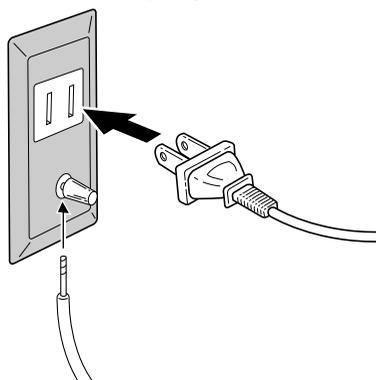
1 ［電源］キーを約 3 秒押し続けて、プリンタの電源をオフにします。

2 コンセントから電源コードとアース線を取り外します。

3 上カバーを開きます。

お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。

4 水を含ませ固くしぼった布で上カバー取っ手（a)、プラテン全域（b)、トレイ（c)、上カバーローラ（d)、用紙解除レバー（e）の汚れを拭き取ります。

お願い

- 上カバー内部を清掃するときは、乾拭きを行わないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印字品質低下の原因になります。

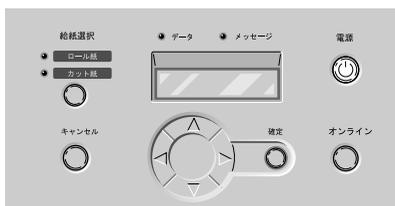
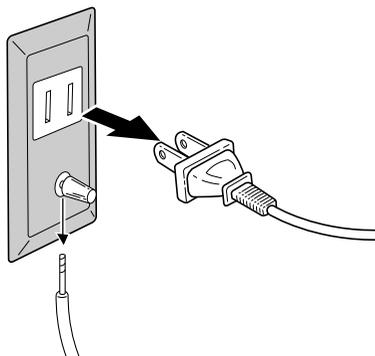
5 上カバーを閉じます。

6 コンセントに電源コードとアース線を接続します。

用紙押さえ部の清掃

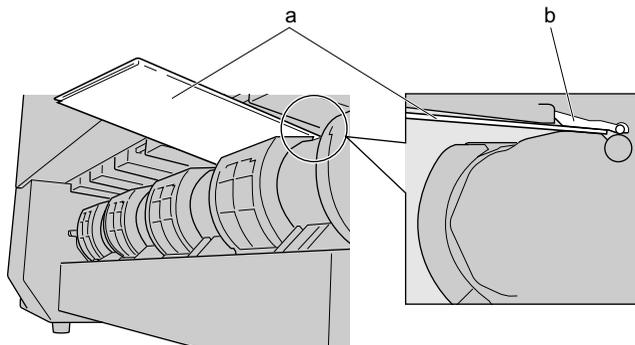
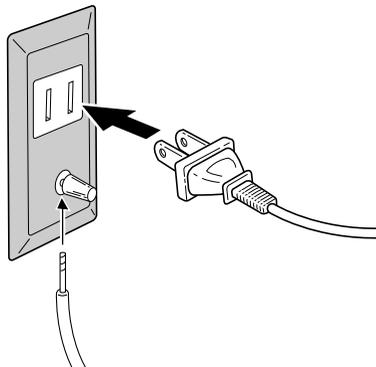
快適にお使いいただくために、印刷面や用紙の裏面が汚れる時、あるいは一ヶ月に一回程度、普通紙を使って用紙押さえの裏面を清掃してください。

作業を始める前に、普通紙（フィルム系の用紙以外）をご用意ください。

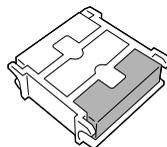
お願い

- 清掃に使う用紙は、普通紙などカットくずの出にくい用紙をお使いください。フィルム系の用紙などカットくずや表面処理が剥がれやすい用紙を使用すると、印字品質低下の原因になります。

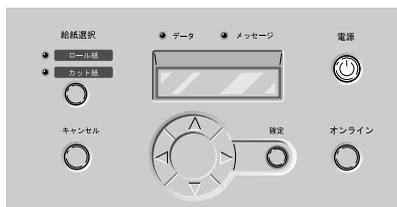
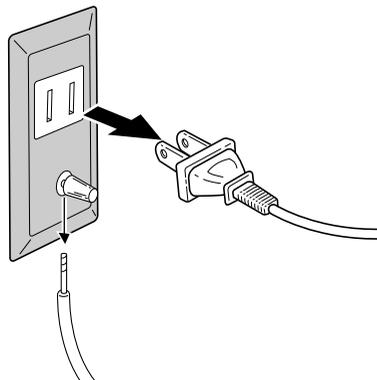
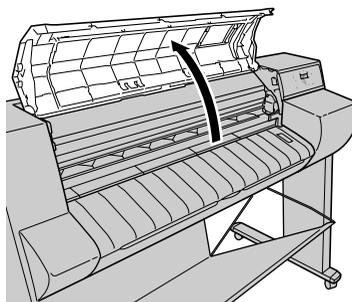
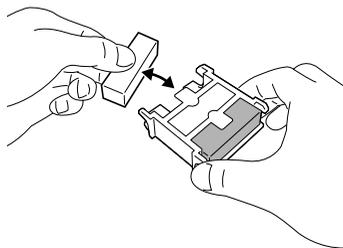
1 ［電源］キーを約 3 秒押し続けて、プリンタの電源をオフにします。

2 コンセントから電源コードとアース線を取り外します。

3 普通紙を２～３回折ったもの（a）をプリンタ背面から用紙押さえの下面（b）に差し込んで、汚れを拭き取ります。

すべての用紙押さえを拭き取ってください。

4 コンセントに電源コードとアース線を接続します。

キャリッジレール部の清掃

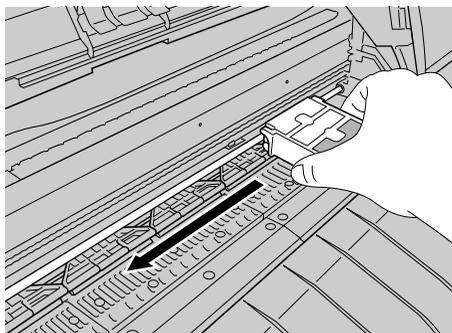
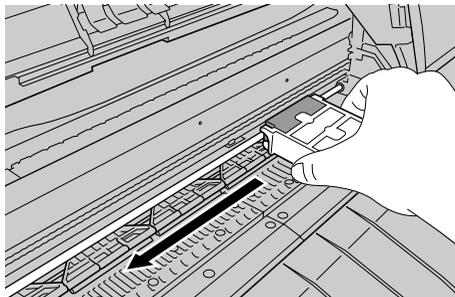
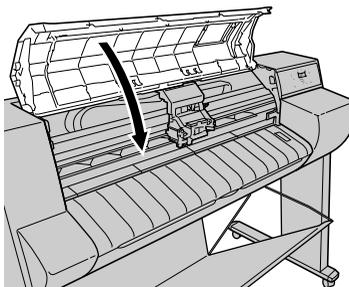
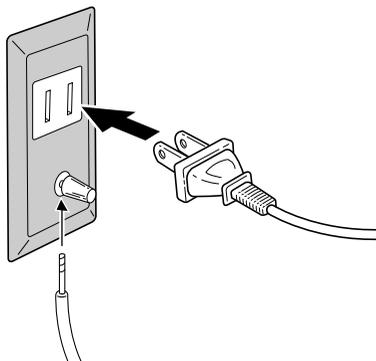
快適にお使いいただくために、プリントヘッド交換時あるいは年1回程度、キャリッジレールを清掃してください。キャリッジレールを清掃するときは、プリンタ本体に付属のレールクリーナをご用意ください。

- レールクリーナ

メモ

- レールクリーナの白いスポンジは、汚れを拭き取るためのスポンジです。水洗いしても汚れが落ちない場合や、すり減ってしまった場合は、交換用のスポンジと入れ替えてお使いください。
- レールクリーナの黒いスポンジは、から拭き用のスポンジです。

1 ［電源］キーを約3秒押し続けて、プリンタの電源をオフにします。

2 コンセントから電源コードとアース線を取り外します。

3 上カバーを開きます。

4 レールクリーナの白いスポンジを取り外し、水で洗ったあと、軽くしぼってレールクリーナに取り付けます。

メモ

- 白いスポンジの汚れが落ちない場合は、面を替えるか交換用の白いスポンジと替えてください。

5 レールクリーナの白いスポンジ側をキャリッジレールの右端に突き当てて、左端まで１回拭き取ります。

6 レールクリーナの黒いスポンジ側をキャリッジレールの右端に突き当てて、左端まで水分を拭き取ります。

7 上カバーを閉じます。

8 コンセントに電源コードとアース線を接続します。

お願い

- 使い終わったレールクリーナは、白いスポンジの汚れを水洗いした後、取り付け、専用の袋に入れて大切に保管してください。スタンドを使用している場合は、レッグカバーの中に保管すると便利です。

プリントヘッドを交換する

ヘッドクリーニングBを2回以上行っても印刷品質が改善されないときやサービスコールエラーが表示されるとき、お客様相談センターでプリントヘッドの交換を指示されたときは、プリントヘッドを交換してください。プリントヘッドを交換するときは、手が汚れることがありますので、手袋を使用して交換していただくことをお勧めします。

メモ

- 交換用プリントヘッドの入手方法については、キヤノンお客様相談センターまでお問い合わせください。
- インクの残量が少なくなっているときは、新しいインクタンクを用意しておいてください。

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、次のことに注意してください。

注意

- **安全のためプリントヘッドは子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。**
- **印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどの原因になることがあります。**

お願い

- プリントヘッドを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて周辺汚損の原因になることがあります。
- 取り外したプリントヘッドの供給口には、インクが付着していることがあります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちないことがあります。
- プリントヘッドは取り付ける直前まで開封しないでください。また、開封したプリントヘッドは、すみやかに取り付けてください。開封したまま放置すると、ノズル部が乾いて、印字品質の低下になることがあります。
- プリントヘッドを一時的に置くときは、ノズル部を下向きに置かないでください。ノズルが傷つき、印字品質低下の原因になることがあります。
- プリントヘッドは、分解や改造をしないでください。プリンタ故障の原因になります。
- プリントヘッドのノズル部や電極部には、絶対に触れないでください。印字不良の原因になります。

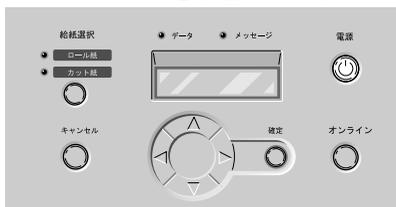
プリントヘッドの交換手順

プリントヘッドを交換するときは、プリントヘッドに同梱されている2つのフィルタを交換してから、「システム　セッテイ」メニューの「ヘッド　コウカン」を実行し、ディスプレイのメッセージに従って次の順で作業します。

- 印刷済みの用紙やカット紙を取り除く
- キャリッジレール部と用紙押さえ部を清掃する（→ P.6-15, P.6-17）
- フィルタを交換する（→フィルタに付属の取扱説明書）
- 「ヘッド　コウカン」を実行する
- インク吸引処理が終わったら、プリントヘッドを取り外す
- 新しいプリントヘッドを取り付ける

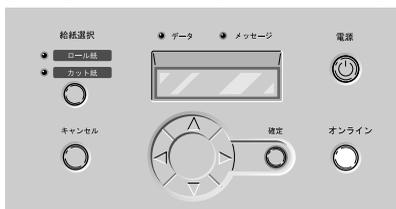
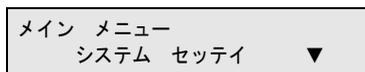
お願い

● プリントヘッドを交換するときは、必ず指示された手順で作業を行ってください。交換手順が守られないと、プリントヘッドからインクが漏れ、周辺汚損の原因になることがあります。

1 ［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 ［オンライン］キーを2回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

3 ［<］、［>］キーで「システム　セッテイ」を選択し、［V］キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　　システム　セッテイ　　　▼
```

システム設定項目が表示されます。

4 ［<］、［>］キーで「ヘッド　コウカン」を選択し、［V］キーを押します。

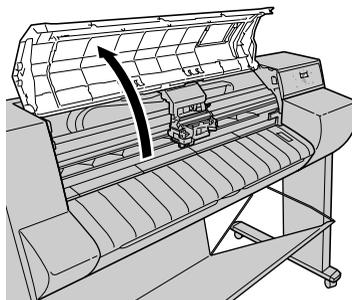
```
システム　セッテイ
　　　ヘット゛　コウカン　　　▼
```

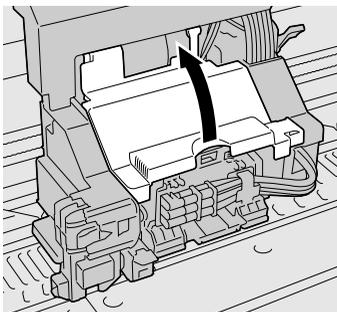
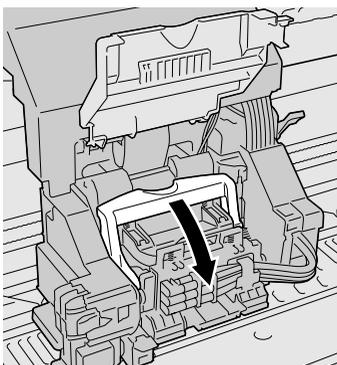
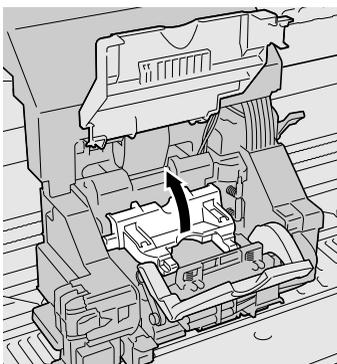
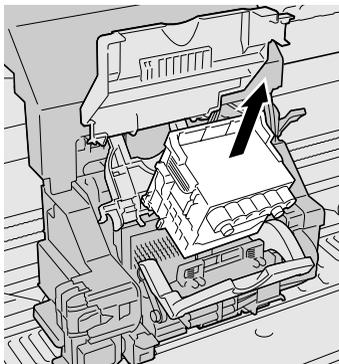
5 ［<］、［>］キーで「スル」を選択し、［確定］キーを押します。

```
ヘット゛　コウカン
　　　　　　　スル
```

ディスプレイに「シバラクオマチクダサイ」が表示され、プリントヘッド交換処理が始まります。処理には約 2 分かかります。
ディスプレイに「ウエカバー　アケテクダサイ」が表示されます。

6 上カバーを開きます。

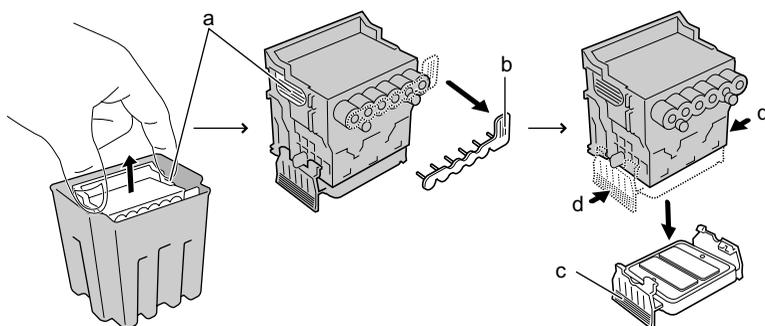
お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。
- キャリッジカバーやプリントヘッド固定カバー、プリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、プリントヘッドの交換作業を始める前に、水を含ませて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。

7 キャリッジカバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

8 プリントヘッド固定レバーを前側に引いて、いっぱいに開きます。

9 プリントヘッド固定カバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

10 古いプリントヘッドを取り外します。

注意

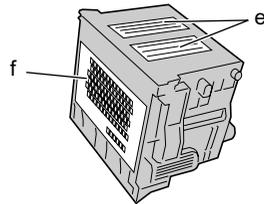
- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっている場合があり、触れるとやけどの原因になることがあります。

お願い

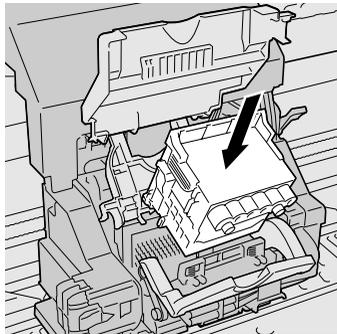
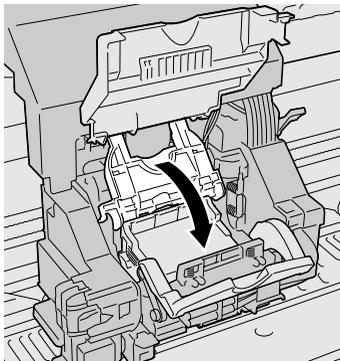
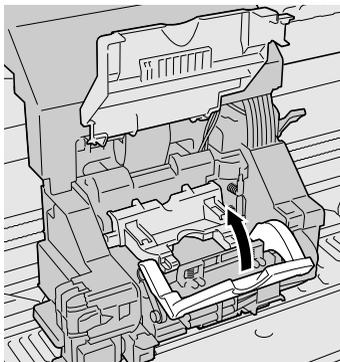
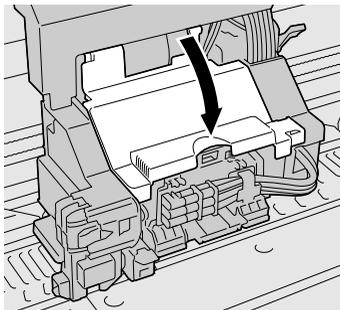
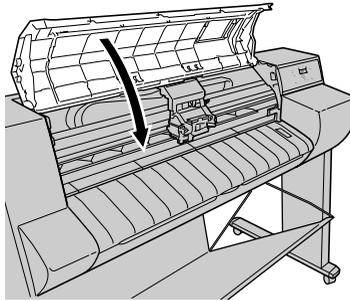
- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になります。
- 使い終わったプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

11 新しいプリントヘッドをつまみ部（a）を持ってケースから取り出し、オレンジ色の保護キャップ１（b）を取り外してから、保護キャップ２（c）を図のように両側のつまみ（d）を押しながら下に引いて取り外します。

お願い

- 保護キャップ２（c）の内側には、ノズル保護のためのインクが塗られています。触れたり、こぼれたりしないように注意して取り扱ってください。周辺汚損の原因になることがあります。

- プリントヘッドは必ず左右のつまみ部（a）を持って取り扱ってください。
- ノズル部（e）や電極部（f）には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印字不良の原因になります。

- 取り外した保護キャップや保護材は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って廃棄してください。

12 **ノズル部を下側、電極部を奥側にして、新しいプリントヘッドをキャリッジへ差し込みます。**

奥までしっかりと押し込んでください。

13 プリントヘッド固定カバーを前側へ倒して、プリントヘッドをロックします。

14 プリントヘッド固定レバーをカチッと音がするまで奥側へ倒します。

15 キャリッジカバーをカチッと音がするまで前側へ倒します。

16 上カバーを閉じます。

上カバーを閉じると、ディスプレイに「シバラクオマチクダサイ」が表示され、処理が始まります。処理には約 3 分半かかります。
処理が終わると、自動的に「パターン　インサツ　A」が印刷されます。引き続き、プリントヘッドの調整を行ってください。（→第 7 章 「プリントヘッドを調整する」P.7-34）

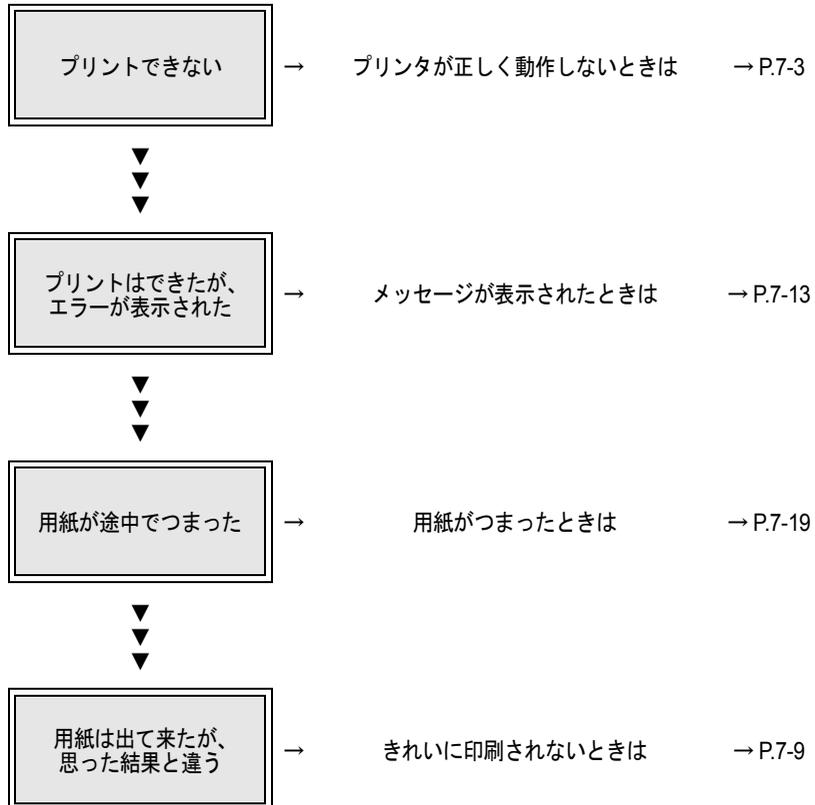
お願い

- メインメニューの「ジドウ　プリント」が「オフ」に設定されていると、「パターン　インサツ　A」は印刷されません。プリントヘッド交換後は、操作パネルで「パターン　インサツ　A」を印刷し、プリントヘッドの調整を行ってください。（→ P.7-34）

7 困ったときは

この章では、困ったときの対処方法について説明しています。

こんなときには

思ったようにプリンタが使えないときやトラブルが起きたときは、
次の順に調べて、該当する処置方法を見つけてください。

プリンタが正しく動作しないときは

プリンタが正しく動作せずに印刷ができない場合は、次のことを確認してください。

印刷できない

プリンタの電源がオンにならない

原因 1: ［電源］キーが押されていない。

処置 : もう一度電源キーを押して、オンラインランプやメッセージランプ、ディスプレイが点灯するか確認してください。（→ P.1-9）

原因 2: 電源コードに電気が来ていない。

処置 : 電源コードがしっかり接続されているか、電源コネクタやコンセントを確認してください。（→セットアップガイド　第 1 章「4　電源に接続する」）

原因 3: コンセントに電気が来ていない。

処置 : コンセントに他の電気製品を接続して確認してください。来ていない場合は、ブレーカや途中のスイッチなどを確認してください。

原因 4: 電源コードが断線している。

処置 : お買い上げの販売店かキヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

電源はオンになるが、オンライン状態にならない

原因 1: プリントヘッドが取り付けられていない。

処置 : プリントヘッドを装着してください。（→セットアップガイド　第 1 章「5　プリントヘッドを取り付ける」）

原因 2: インクタンクが取り付けられていない。

処置 : すべての色のインクタンクを取り付けてください。（→セットアップガイド　第 1 章「6　インクタンクを取り付ける」）

原因 3: 用紙がセットされていない。

処置 : ロール紙またはカット紙をセットしてください。（→ P.2-6,P.2-17）

原因 4: いずれかのカバーが開いている。

処置 : ディスプレイに表示されているカバーを閉じてください。

原因 5: プリンタがまだ準備中になっている。

処置：　電源をオンにした直後やウォームアップ中は、すぐに印刷できません。準備が終わり、オンラインランプが点灯するまでお待ちください。

Windows のプリンタドライバがインストールできない

原因 1:　違う CD-ROM をセットした。

処置：　本プリンタ付属の User Software CD-ROM と交換してください。

原因 2:　CD-ROM に傷がある。

処置：　お買い上げの販売店に問い合わせるか、キヤノンのホームページ（http://www.canon.jp/）から本プリンタ用のプリンタドライバをダウンロードしてください。

原因 3:　Windows システムが不安定になっている。

処置：　「不正な処理を～」「一般保護エラー」などのエラーメッセージが表示される場合は、コンピュータのシステムが不安定になっています。システムの問題を解決してから、インストールを行ってください。

原因 4:　正しくインストールが終わっていない。

処置：　［プリンタ］フォルダのアイコンを一度削除してから、インストールし直してください。（→セットアップガイド　第 3 章「Windows TCP/IP ネットワークのインストール」）

Macintosh のプリンタドライバがインストールできない

原因 1:　違う CD-ROM をセットした。

処置：　本プリンタ付属の User Software CD-ROM と交換してください。

原因 2:　CD-ROM に傷がある。

処置：　お買い上げの販売店に問い合わせるか、キヤノンのホームページ（http://www.canon.jp/）から本プリンタ用のプリンタドライバをダウンロードしてください。

プリンタが認識されていない

原因 1:　インタフェースケーブルが外れている。

処置：　USB ポートまたは IEEE1394 ポート接続の場合は、ケーブルの接続を確認してください。（→セットアップガイド　第 3 章「USB/IEEE1394 接続のインストール」）

原因 2:　Windows の USB ポートまたは IEEE1394 ポート接続の場合、ドライバが正しくインストールされていない。

処置 :　次の手順でドライバをインストールし直してください。

▼［マイコンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を開きます。

▼［ハードウェア］シートの［デバイスマネージャー］を押し、「デバイスマネージャ」ウィンドウの［不明なデバイス］アイコンを選択して、［プロパティ］ボタンを押します。

▼［ドライバ］シートの［ドライバ更新］ボタンを押し、「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されたら、画面の指示に従って操作します。

▼ コピー元の選択画面が出たら［CD-ROM ドライブ］のみを選択し、付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてから画面に従って操作すると、インタフェースのドライバがインストールされます。

▼ 続いて「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されたら、画面の指示に従って操作します。

▼ コピー元の選択画面が出たら［検索場所の指定］のみを選択し、［参照］ボタンを押します。

▼ Windows Me/Windows 98 の場合は、CD-ROM ドライブを開き、［Japanese］→［Drivers］→［WinMe_9X］→［Driver］フォルダを開いて、［OK］ボタンを押します。
Windows XP/Windows 2000 の場合は、CD-ROM ドライブを開き、［Japanese］→［Drivers］→［WinXP_2K ］→［Driver］フォルダを開いて、［OK］ボタンを押します。

▼［検索場所の指定］に前の手順で選択したフォルダが表示されていることを確認してから画面に従って操作すると、プリンタのドライバがインストールされます。

原因 3:　LAN ポート接続の場合、LAN の通信方式が自動認識できない。

処置 :　お使いの LAN で使用している通信方式に合わせて、プリンタ背面のディップスイッチを設定してください。（→セットアップガイド　第 1 章「3　コンピュータと接続する」）

原因 4:　Macintosh のネットワーク経由先が設定されていない。

処置 :　Macintosh でネットワーク接続している場合は、［コントロールパネル］の［AppleTalk］を開き、［経由先］や［ゾーン］の選択を設定し直してください。

原因 5:　本プリンタのネットワーク情報が設定されていない。

処置 :　Windows でネットワーク接続している場合は、操作パネルでプリンタのネットワーク設定を確認してください。(→セットアップガイド 第 2 章「プリンタネットワーク情報の設定」)

処置 :　Macintosh でネットワーク接続している場合は、リモート UI でプリンタの AppleTalk プロトコルを［フェーズ 2］に設定してください。(→ネットワークガイド)

印刷が始まらない

エラーも何も出ない

原因 1:　出力先に本プリンタが選択されていない。

処置 :　Windows 及び Mac OS X の場合は、印刷ダイアログの［プリンタ］で本プリンタを選択して、印刷し直してください。

処置 :　Mac OS 8/9 の場合は、［セレクタ］で本プリンタを選択して、印刷し直してください。

原因 2:　印刷キューが停止になっている。

処置 :　Windows の場合は、［プリンタ］フォルダの本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［一時停止］を選択して一時停止を解除してください。

処置 :　Mac OS 8/9 の場合は、GARO Printmonitor を開いて［ファイル］メニューの［プリントキュー再開］を選択し、一時停止を解除してください。

処置 :　Mac OS X の場合は、プリントセンターを開いて［ジョブ］メニューの［ジョブを開始］を選択し、一時停止を解除してください。

原因 3:　Mac OS 8/9 の場合、USB 接続でプリンタを共有している。

処置 :　プリントするコンピュータの USB ポートまたは IEEE1394 ポートに直接接続してください。プリンタを共有したい場合は、Windows コンピュータから印刷してください。

エラーが表示された

原因 1:　紙づまりが起きている。

処置 :　つまった用紙を取り除いてください。(→ P.7-19)

原因 2:　オフライン状態になっている。

処置 :　エラーメッセージが表示されている場合は、エラーの原因を解決してから、［オンライン］キーを押して、オンライン状態にしてください。

処置 :　「オフライン」が表示されている場合は、［オンライン］キーを押して、オンライン状態にしてください。

原因 3:　プリント中にエラーが発生している。

処置 :　本体メッセージまたは Windows の場合は GARO Status Monitor、Macintosh の場合は GARO Printmonitor にエラーが表示されているか確認し、メッセージに従って問題を解決してください。（→ P.7-13）

原因 4:　用紙が無い。

処置 :　指定した給紙元の用紙を補給してください。

原因 5:　給紙元の用紙種類が設定されていない。

処置 :　操作パネルで給紙元の用紙種類を設定してください。（→ P.2-6）

処置 :　用紙種類が違っていた場合は、コンピュータ側で印刷中止の操作を行い、「用紙種類」を正しく設定して印刷し直してください。（→ P.3-4, P.4-7）

原因 6:　インクが無いまたはプリントヘッドのノズルがつまっている。

処置 :　ノズルチェックパターンを印刷し、インクおよびプリントヘッドの状態を確認してください。
インクが無い場合は交換してください。（→ P.6-2）
ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。（→ P.7-32）

プリントが途中で止まる

エラーが表示される

原因 1:　プリント中にエラーが発生している。

処置 :　GARO Status Monitor または GARO Printmonitor にエラーが表示されているか確認し、メッセージに従って問題を解決してください。
（→ P.7-13）

原因 2:　指定した用紙サイズとセットした用紙が違っている。

処置 :　指定した給紙元の用紙を確認してください。違っている場合は、印刷を一旦中止して、正しい用紙をセットしてから、印刷し直してください。（→ P.2-6, P.2-17）

原因 3:　印刷中にロール紙がなくなり、後端をテープ止めされているロール紙が搬送できずに止まっている。

処置 :　紙づまり除去の操作方法に従って、使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換してください。（→ P.2-6, P.7-19）

印刷をし直すときは、データを再度送信してください。

処置 :　巻き取り装置をお使いのときは、巻き取ったロール紙を取り外してください。（→ P.2-35）

用紙が白紙で排紙される

原因 1:　用紙が途中に残っていた。

処置 :　不要な用紙を排紙した後、印刷できる状態になります。

原因 2:　ロール紙の先端が切り揃えられた。

処置 :　ロール紙をセットしたときは、先端を切り揃えるため白紙の紙片が排紙される正常な動作です。給紙準備が終わると、印刷できる状態になります。

原因 3:　プリントヘッドのノズルがつまっている。

処置 :　ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認してください。ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。（→ P.7-32）

原因 4:　インクが無くなっている。

処置 :　インクタンクを確認し、インクが無くなっているインクタンクを交換してください。（→ P.6-2）

原因 5:　プリンタが故障している。

処置 :　キヤノンお客様相談センターへ連絡してください。

きれいに印刷されないときは

印刷はされるが、思ったとおりの結果が得られない場合は、次のことを確認してください。

印字品質が悪い

印刷がかすれる

原因 1:　用紙の裏表が合っていない。

処置 :　用紙の裏表を確認してください。印刷面でない面にプリントすると、正しい印字品質は得られません。

原因 2:　インクが少なくなっている。

処置 :　インク残量を確認し、少ない色のインクタンクを交換してください。（→ P.6-2）

原因 3:　プリントヘッドのノズルがつまっている。

処置 :　ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認してください。プリントヘッドのノズルがつまっている場合は、プリントヘッドクリーニングを行ってください。（→ P.7-30, P.7-32）

原因 4:　インク充填が不充分になっている。

処置 :　インクチューブに気泡が見える場合は、「ヘッドクリーニング　B」を行ってください。（→ P.7-32）

原因 5:　インク供給針が固着し、インクがつまっている。

処置 :　インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上放置してから、「ヘッドクリーニング　B」を行ってください。（→ P.7-32）

印刷がこすれる

原因 1:　高い濃度で普通紙に印刷している。

処置 :　プリンタドライバで濃度の設定を下げてください。（→プリンタドライバのヘルプ）

原因 2:　指定した用紙種類とセットした用紙が違っている。

処置 :　指定した給紙元の用紙を確認してください。違っている場合は、印刷を一旦中止して、正しい用紙をセットしてから、印刷し直してください。（→ P.2-6, P.2-17）

原因 3:　ヘッド高さ調整レバーが下の位置になっている。

処置：　ヘッド高さ調整レバーを標準位置に戻してください。(→ P.2-24)

原因 4:　厚い用紙に印刷している。

処置：　ヘッド高さ調整レバーを上の位置にしてください。(→ P.2-24)

用紙の端が汚れる

原因 1:　指定した用紙種類とセット用紙が違っている。

処置：　指定した給紙元の用紙を確認してください。違っている場合は、印刷を一旦中止して、正しい用紙をセットしてから、印刷し直してください。(→ P.2-6,P.2-17)

原因 2:　用紙にしわやカールがある。

処置：　用紙のしわやカールを取ってから、印刷し直してください。

原因 3:　カット屑軽減機能が設定されている。

処置：　カット屑軽減機能が必要ない場合は、操作パネルでその用紙種類のカット屑軽減機能を解除してください。

黒いスジや白いスジが入る

原因 1:　プリントヘッドの送り調整がずれている。

処置：　操作パネルで使用する用紙種類の用紙送り量の調整を行ってください。(→ P.7-37)

原因 2:　コンピュータからの印刷データが途切れて、スムーズに印刷を行えない。

処置：　他のアプリケーションや他のジョブを閉じてください。

印刷内容が違う

罫線がずれる

原因 1:　プリントヘッドの位置調整が行われていない。

処置：　操作パネルでヘッドの位置調整を行ってください。(→ P.7-34)

意味不明の文字が印刷される

原因 1:　プリントデータが欠落した。

処置：　プリンタとコンピュータの電源を入れ直して、印刷してください。

原因 2:　本プリンタ用以外のプリンタドライバで、印刷した。

処置 :　本プリンタ用のプリンタドライバで、印刷し直してください。
（→セットアップガイド）

原因 3:　印刷したデータのフォントが化けている。

処置 :　アプリケーションソフトで、使用しているフォントの種類やフォントの有無を確認してください。（→ソフトウェアの取扱説明書）

色が違う

モノクロで印刷される

原因 1:　プリンタドライバがグレースケールに設定されている。

処置 :　プリンタドライバの［カラーモード］を「カラー」に設定して、印刷し直してください。（→プリンタドライバのヘルプ）

原因 2:　カラーインクが少なくなった。

処置 :　インク残量を確認し、少ない色のインクタンクを交換してください。
（→ P.6-2）

色が違って印刷される

原因 1:　プリンタドライバのカラー調整が行われていない。

処置 :　プリンタドライバの［カラーモード］の［色設定］で色を調整してください。（→プリンタドライバのヘルプ）

原因 2:　コンピュータやモニタ側のカラー調整が行われていない。

処置 :　モニタの色調整を行ってください。（→モニタの取扱説明書）

処置 :　色管理ソフトの設定を正しく行ってください。（→ソフトウェアの取扱説明書）

原因 3:　カラーインクが少なくなった。

処置 :　インク残量を確認し、インクが無くなっているインクタンクを交換してください。（→ P.6-2）

原因 4:　インクがうまくプリントヘッドに供給されていない。

処置 :　操作パネルで「ヘッドクリーニング　B」を行ってください。
（→ P.7-32）

原因 5:　違う色のインクタンクが装着されている。

処置：　操作パネルで「ホンタイ　ユソウ」を行ってプリンタ内部のインクを抜いてから、正しいインクタンクを取り付けてください。（→セットアップガイド　付録「プリンタを輸送するときは」）

処置：　上記の処置を行った後、「ノズルチェック　プリント」で各インクの色がきれいに印字されない場合は、操作パネルで「ヘッドクリーニング　B」を行ってください。（→ P.7-30, P.7-32）

画像の端部が濃く印刷される

原因 1:　ノズルにインクが溜まっている。

処置：　プリンタドライバの［デバイス設定］の［SSC 調整］を［Level 1］に設定して、印刷し直してください。［Level 1］でも改善されない場合は、［Level 2］を選択して、印刷し直してください。ただし、この機能を使うと、画像全体の色味が変化することがありますので、色味を確認しながら印刷することをおすすめします。

その他

インク消費が異常に多い

原因 1:　全面に色が入った印刷物が多い。

処置：　写真など色を塗りつぶすような印刷が多いと、インクを多く消費します。異常ではありません。

メッセージが表示されたときは

GARO　nnnnn（n は英数字）

原因 1:　印刷データにエラーがある。

処置 :　正しく印刷されなかった場合は、設定を確認して印刷し直してください。

X インク　チェック (X は色記号）

原因 1:　表示された色のインク残量が少なくなった。

処置 :　表示された色の新しいインクタンクを用意してください。長尺印刷や多部数印刷を行う場合は、新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

X インクタンク　アリマセン (X は色記号）

原因 1:　表示された色のインクタンクが装着されていない。

処置 :　表示された色のインクタンクを正しく取り付けてください。（→ P.6-2）

原因 2:　インクタンクにトラブルが発生した。

処置 :　新しいインクタンクと交換してください。（→ P.6-2）

X インクタンク　カクニン (X は色記号）

原因 1:　表示された色に本プリンタで使用できないインクタンクまたは使用済みのインクタンクが装着されている。

処置 :　表示された色のインクタンクを正しく取り付けてください。（→ P.6-2）

X インクタンク　コウカン (X は色記号）

原因 1:　表示された色のインクがなくなった。

処置 :　表示された色を新しいインクタンクに交換し、印刷し直してください。（→ P.6-2）

処置 :　長尺印刷時は、表示された色を新しいインクタンクに交換し、操作パネルで「キョウセイ　カット」を行った後、始めから印刷し直してください。

インクザンリョウ　フメイ

原因 1:　インクタンクのインク残量検知機能がオフに設定されている。

処置 :　印刷を実行するたびに、このメッセージが表示されプリンタはオフラインになります。［オンライン］キーを押して印刷を続行してください。

処置 :　インク残量表示を回復したいときは、本プリンタ指定の新しいインクタンクに交換してください。

カットニ　シッパイシマシタ

原因 1:　ロール紙カット後にロール紙の先端が検知できない。

処置 :　ロール紙をカッターなどで切って取り除き、ロール紙をセットし直してください。（→ P.2-6）

カットシヲ　セットシテクダサイ

原因 1:　カット紙がセットされるのを待っている。

処置 :　カット紙をセットして［オンライン］キーを押すか、印刷を中止してください。（→ P.2-17）

カットシヲ　ハイシシテクダサイ

原因 1:　カット紙がセットされているときに、ロール紙の印刷データを受信した。

処置 :　カット紙を取り外して、ロール紙をセットしてください。（→ P.2-6）

カットシヲ　ハズシテクダサイ

原因 1:　トレイの用紙が取り除かれるのを待っている。

処置 :　トレイの用紙を取り除いてください。（→ P.2-17）

XXX カバー　シメテクダサイ

原因 1:　表示されたカバーが開いている。

処置 :　表示されたカバーを閉じてください。

カミオクリ　リミット

原因 1:　操作パネルの［∧］キーで用紙を必要以上に巻き戻そうとした。

処置 :　トレイを開き、ロールホルダーを回してロール紙を巻き取ってください。

サイズヲ　ケンチ　デキマセン

原因 1:　用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされている。

処置 :　用紙を正しい位置にセットし直してください。（→ P.2-7, P.2-19）

原因 2:　プリンタ内部にゴミや汚れがある。

処置 :　上カバー内部を清掃してください。（→ P.6-10）

タンクヲ　ハズシテクダサイ

原因 1:　インクタンクを取り外さないまま右カバーを閉めている。

処置 :　インクタンクを取り外してください。

デンゲンヲ　キッテクダサイ

原因 1:　上カバー内のテープやベルトストッパが取り外されていない。

処置 :　電源をオフにして上カバーを開き、テープやベルトストッパを取り外した後、電源をオンにします。（→セットアップガイド　第 1 章「プリンタを設置する」）

原因 2:　プリンタにトラブルが発生した。

処置 :　電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。

処置 :　上記の操作を行っても再び表示される場合は、ディスプレイ上段のメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ハイインク　リミット　スグ

原因 1:　廃インクタンクの交換時期が近くなった。

処置 :　表示が出ても印刷は続行できます。ただし、放置しておくとサービスコールエラーになるので、キヤノンお客様相談センターへお早めにご連絡ください。

プリントヘッド　アリマセン

原因 1:　プリントヘッドが装着されていない。

処置 :　プリントヘッドを正しく取り付けてください。(→ P.6-20)

プリントヘッド　カクニン

原因 1:　プリントヘッドが装着されていない。

処置 :　プリントヘッドを正しく取り付けてください。(→ P.6-20)

原因 2:　本プリンタで使用できないプリントヘッドが装着されている。

処置 :　本プリンタ用のプリントヘッドを正しく取り付けてください。
(→ P.6-20)

原因 3:　プリントヘッドに異常がある。

処置 :　上カバーを開けて、キャリッジがある場合は、新しいプリントヘッドに交換してください。(→ P.6-21)
キャリッジがない場合は、上カバーを閉めて［オンライン］キーを押し、「ヘッド　コウカン」メニューで新しいプリントヘッドに交換してください(→ P.6-20)

メモリ　オーバー　フロー

原因 1:　印刷データが大き過ぎて処理できなかった。

処置 :　印刷品質や解像度を見直してください。

処置 :　バナー印刷機能を使って、何枚かに分けて印刷してください。

ヨウシガ　アリマセン

原因 1:　給紙元の用紙が無くなった。

処置 :　用紙をセットし、［オンライン］キーを押してください。
(→ P.2-6, P.2-17)

ヨウシガ　オオキイデス

原因 1:　プリンタにセットできる用紙サイズより大きな用紙がセットされている。

処置 :　正しいサイズの用紙をセットし直してください。(→ P.2-6, P.2-17)

ヨウシガ　シャコウシテイマス

原因 1:　セットした用紙が斜めになっている。

処置 :　ロール紙の場合は、上カバーを開いて用紙解除レバーを上げてから、ロール紙トレイを開いてロール紙を一旦巻き取り、もう一度セットし直してください。（→ P.2-6）

処置 :　カット紙の場合は、上カバーを開き、用紙解除レバーを上げてカット紙を取り除いてから、もう一度セットし直してください。（→ P.2-17）

ヨウシガ　チイサイデス

原因 1:　プリンタにセットできる用紙サイズより小さな用紙がセットされている。

処置 :　正しいサイズの用紙をセットし直してください。（→ P.2-6, P.2-17）

ヨウシガ　ツマリマシタ

原因 1:　紙づまりが発生した。

処置 :　つまった用紙を取り除き、［オンライン］キーを押してください。（→ P.7-19）

ヨウシシュルイガ　チガイマス

原因 1:　印刷で指定した用紙種類と、給紙元の用紙種類の設定値が合っていない。

処置 :　セットした用紙の種類を確認し、操作パネルで用紙の種類を設定し直してください。（→ P.2-15, P.2-23）

処置 :　プリントを一旦キャンセルし、コンピュータで正しい用紙種類を設定して印刷し直してください。

ロールシガ　ナクナリマシタ

原因 1:　ロール紙が無くなった。

処置 :　ロール紙トレイにロール紙をセットし、［オンライン］キーを押してください。（→ P.2-6）

ロールシヲ　セットシテクダサイ

原因 1:　ロール紙トレイにロール紙がセットされるのを待っている。

処置 :　ロール紙トレイに指定したロール紙をセットし、［オンライン］キーを押してください。（→ P.2-6）

ロールシヲ　ハズシテクダサイ

原因 1:　トレイのロール紙が取り除かれるのを待っている。

処置 :　トレイに排紙されたロール紙を取り除き、［オンライン］キーを押してください。

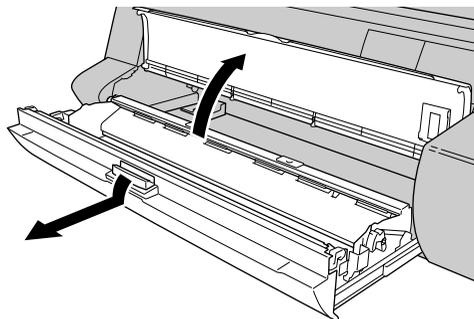
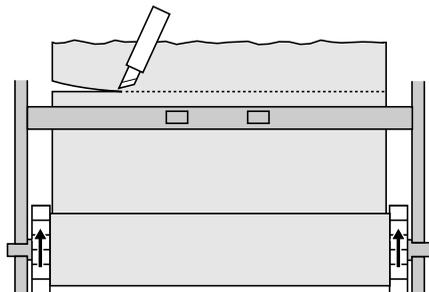
用紙がつまったときは

紙づまりが起きると、ディスプレイに「ヨウシガ　ツマリマシタ」や「デンゲンヲ　キッテクダサイ」などのメッセージが表示され、印刷が中止されます。用紙がつまったときは、次の手順で各部を点検し、つまった用紙を取り除いてください。

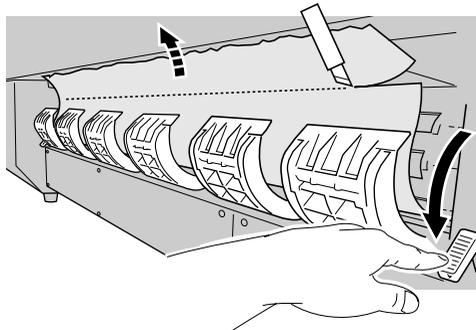
ロール紙の紙づまり除去

ロール紙を使用中に紙づまりが起きたときは、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

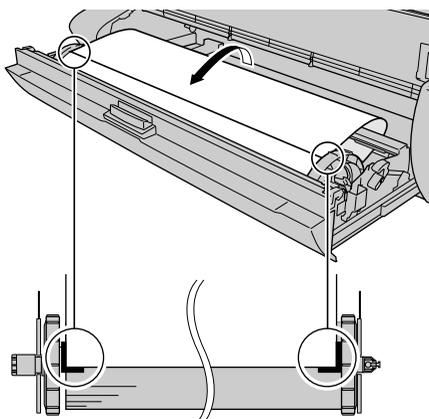
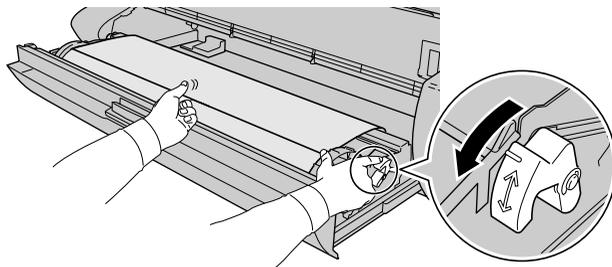
■給紙準備中の場合

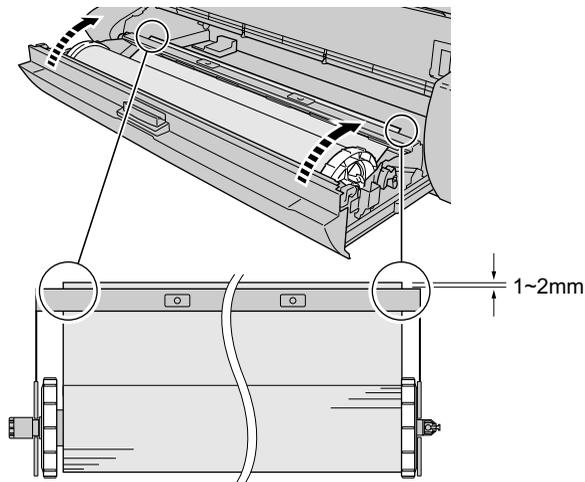
1 トレイを開いてから、トレイオープンレバーを引いて、ロール紙トレイを引き出します。

2 ロールホルダーを図の方向に回してロール紙の先端が見えるまで巻き取り、ロール紙のしわになった部分を切り取ります。

注意

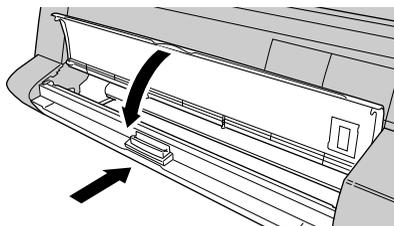
- 用紙を切り取るときは、刃物や用紙の端部で手を切らないように、十分注意してください。

3 ロール紙が巻き取れない場合は、プリンタ背面のロール紙ガイドを開いてロール紙を引き出し、ロール紙のしわになった部分を切り取ります。

メモ

- ロール紙ガイドの内側に紙片や紙テープが残っているときは、取り除いてください。

4 ロール紙解除レバーを奥側へ倒して給紙ガイドを解除し、ロール紙の先端を左右が平行になるようにロール部分まで均等に引き出します。

5 ロール紙の中央を押さえながら、ロールホルダーを回してロール紙のたるみを取り、ロール紙解除レバーを手前側に引いて、給紙ガイドをロックします。

6 ロールホルダーを矢印の方向へ回して、用紙の先端を給紙ガイドの端まで巻き取ります。

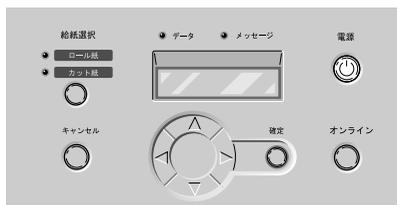
下側給紙ガイドの端と用紙の先端が 1 〜 2 mm 見えるくらいまで巻き取ってください。

7 ロール紙トレイを閉じてから、トレイを閉じます。

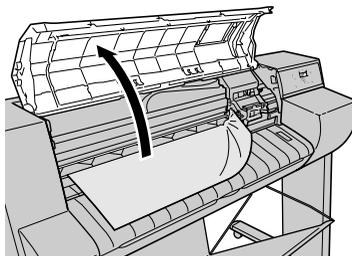
ロール紙トレイは、奥までしっかりと押し込んでください。

ディスプレイに「ロールシ　シュルイ」が表示されます。

8 ［＜］、［＞］キーでセットしたロール紙の種類を選択し、［確定］キーを押します。

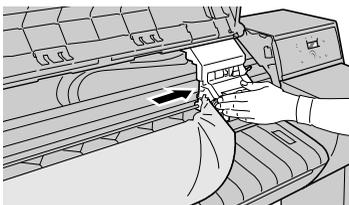
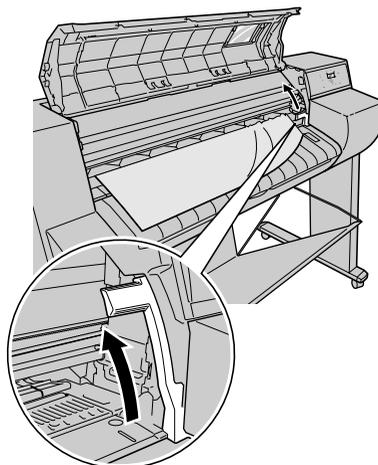
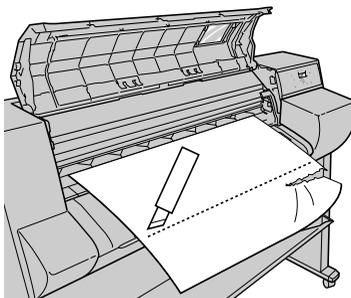
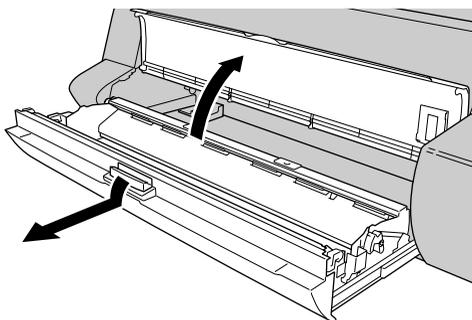
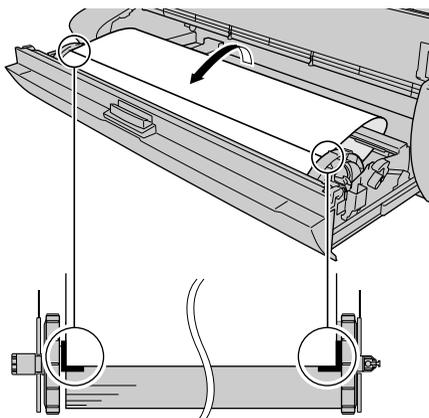
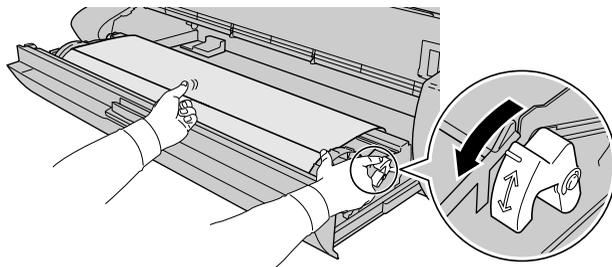
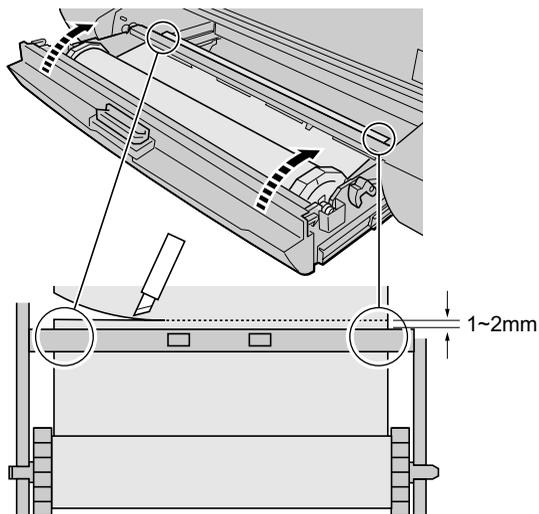
ロール紙種類を設定すると、ロール紙の給紙準備が始まります。

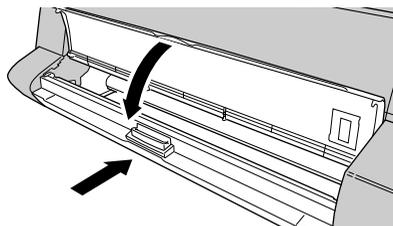
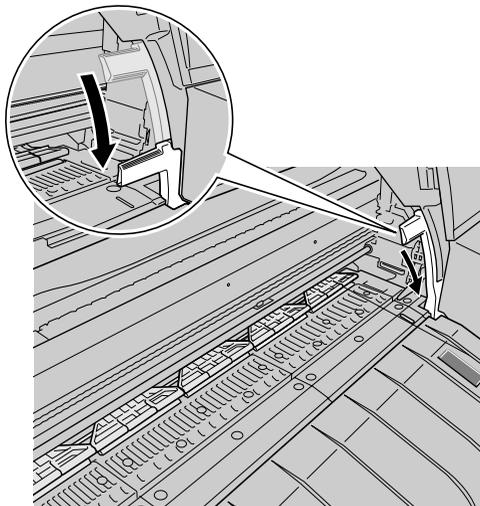
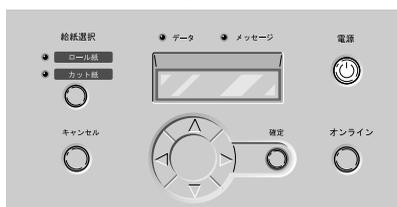
■印字中またはカット中の場合

1 ［電源］キーを約 3 秒押し続けて、プリンタの電源をオフにします。

2 上カバーを開きます。

お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。

3 キャリッジが出ている場合、キャリッジを手で右端または左端まで移動します。

キャリッジを用紙から離すようにして、止まるまで動かしてください。

4 用紙解除レバーを上げます。

5 用紙の左右を持ってつまった用紙を前側に引き出し、印字済みの部分やしわになっている部分を切り取ります。

6 トレイを開いてから、トレイオープンレバーを引いて、ロール紙トレイを引き出します。

7 ロール紙解除レバーを奥側へ倒して給紙ガイドを解除し、ロール紙の先端を左右が平行になるようにロール部分まで均等に引き出します。

8 ロール紙の中央を押さえながら、ロールホルダーを回してロール紙のたるみを取り、ロール紙解除レバーを手前側に引いて、給紙ガイドをロックします。

9 ロールホルダーを矢印の方向へ回して用紙を巻き取り、給紙ガイドの端に沿って切り落とします。

10 ロール紙トレイを閉じてから、トレイを閉じます。

ロール紙トレイは、奥までしっかりと押し込んでください。

11 用紙解除レバーを下げてから、上カバーを閉じます。

12 ［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。

ロール紙の給紙準備が始まり、完了すると印刷できる状態になります。

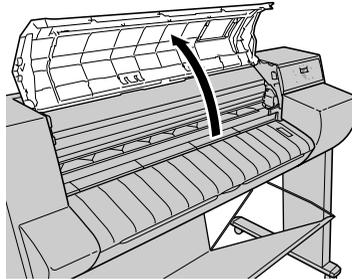
メモ

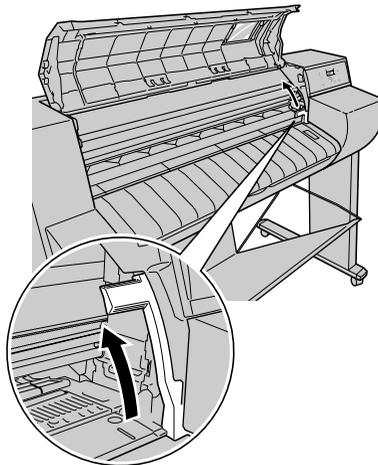
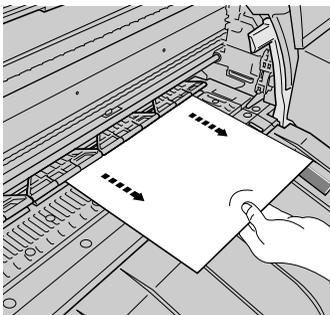
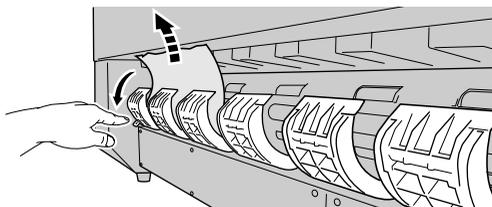
- 先端をよりきれいに揃えたい場合は、操作パネルの［オンライン］キーで「オフライン」を表示して［V］キーで用紙を送り、「メインメニュー」の「キョウセイ　カット」で先端をカットしてください。（P.5-7）
- ロール紙の交換をして用紙種類を変えた場合は、メニューで用紙種類を設定してください。（→ P.2-15）

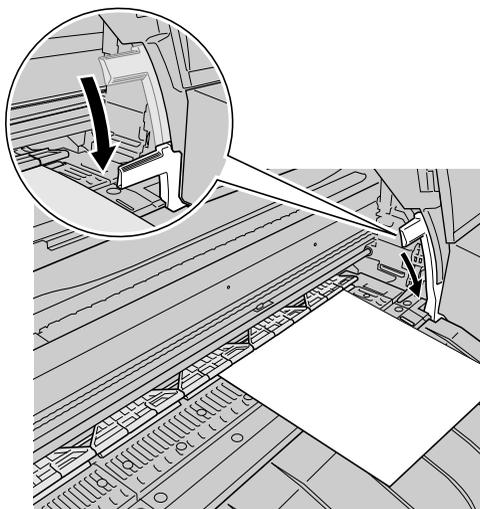
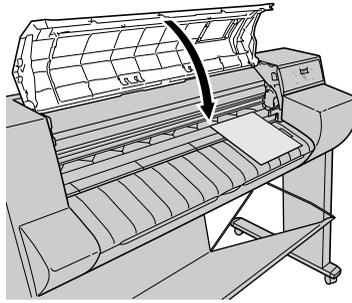
カット紙の紙づまり除去

カット紙を使用中に紙づまりが起きたときは、次の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 上カバーを開きます。

お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。

2 用紙解除レバーを上げます。

3 用紙が見える場合は、用紙の左右を持って、つまった用紙を前側に引き抜きます。

4 用紙が見えない場合は、プリンタ背面のロール紙ガイドを開いて、つまった用紙を取り除きます。

紙片などが残っていないか内部を点検してください。

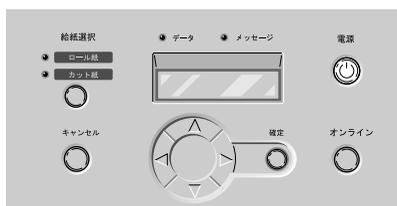
5 新しい用紙をセットして、用紙解除レバーを下げます。

6 上カバーを閉じます。

カット紙の給紙準備が始まり、完了すると印刷できる状態になります。

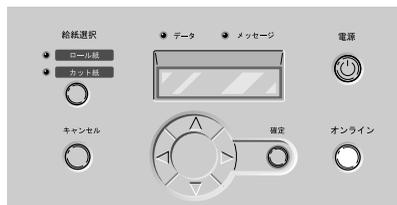
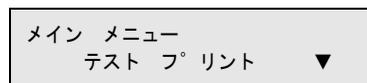
印字状態を確認する

印字がかすれたり、白いすじが入るときは、「ノズルチェックプリント」を印刷して、各ノズルがつまっていないかを確認します。印刷をする前に A3 サイズ以上のロール紙をセットしてください。

メモ

- カット紙を使用する場合は、A3 サイズ以上で未使用の用紙（裏面も不可）を 1 枚ご用意ください。

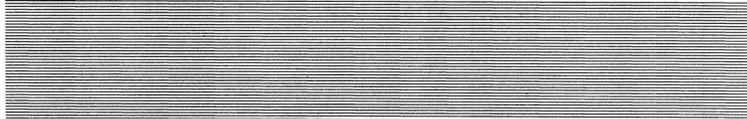
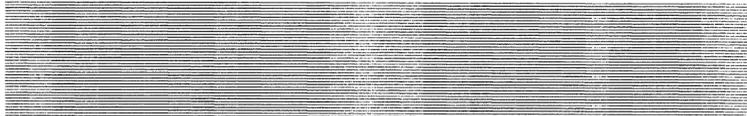
1 プリンタの電源がオフの場合は、［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 ［オンライン］キーを 2 回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

3 ［<］、［>］キーで「テスト　プリント」を選択し、［V］キーを押します。

4 ［<］、［>］キーで「ノズルチェック　プリント」を選択し、［確定］キーを押します。

```
テスト　プ゜リント
　ノズ゛ルチェック　プ゜リント
```

ノズルチェックパターンが印刷されます。印刷が終わるとディスプレイに「オンライン」と表示され、印刷できる状態になります。

ノズルチェックパターンは、各色の横線に欠けやかすれがなければ、正常です。

プリントヘッドが正常な場合の例

プリントヘッドに異常がある場合の例

線が欠けている場合は、次の操作を行って再度確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを実行する。
- もう一度ノズルチェックプリントを実行する。
- 上記の操作を行っても途切れるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルがつまっているときは、ヘッドクリーニングを行うことで回復できることがあります。

ヘッドクリーニングの種類

ヘッドクリーニングには 2 つの方法があります。

■ヘッドクリーニング A：

印字がかすれた場合や、ゴミなどが付いた場合に行います。インクの消費量が少ないクリーニング方法です。クリーニング A には約 1 分かかります。

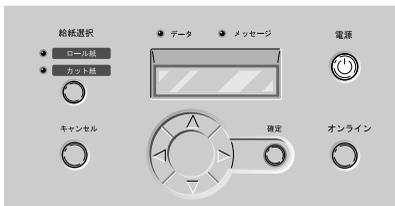
■ヘッドクリーニング B：

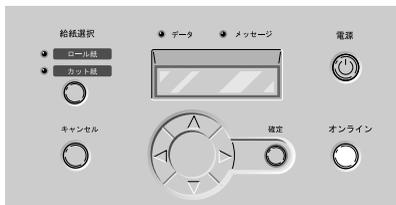
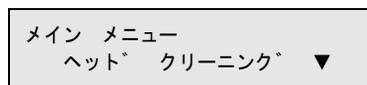
インクがまったく出ない場合や、ヘッドクリーニング A を行っても改善されない場合に行います。クリーニング B には約 2 分かかります。

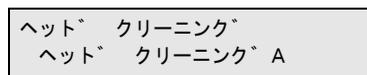
ヘッドクリーニングの手順

ヘッドクリーニングは、次の手順で行います。いずれのクリーニング方法も同様の操作で行えます。

クリーニング A を 1 回行っても良くならない場合は、クリーニング B を行ってください。それでも良くならない場合は、クリーニング B を 2 ～ 3 回繰り返してください。クリーニング B を行っても改善されない場合はプリントヘッドが故障している可能性があります。（→ P.6-20）

1 ［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 ［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

3 ［＜］、［＞］キーで「ヘッド　クリーニング」を選択し、［Ｖ］キーを押します。

4 ［＜］、［＞］キーでヘッドクリーニング方法を選択し、［確定］キーを押します。

ヘッド゛　クリーニング゛
ヘッド゛　クリーニング゛Ａ

ヘッドクリーニングが始まります。終わると、ディスプレイに「オンライン」が表示され、印刷できる状態になります。

5 ノズルチェックパターンを印刷して、印刷が改善されているかどうかを確認します。

（→「印字状態を確認する」P.7-30）

プリントヘッドを調整する

印字した縦線が歪む場合や、色ずれが起きた場合は、「パターン　インサツ　A」を印刷し、プリントヘッドの位置調整を行ってください。印刷をする前に A3 サイズ以上のロール紙をセットしてください。
プリントヘッドの位置調整は、次の手順で行います。

メモ

- プリントヘッドの調整は最も多く使う用紙種類で行うことをお勧めします。
- カット紙を使用する場合は、A3 サイズ以上で未使用の用紙（裏面も不可）を 3 枚ご用意ください。また、カット紙の場合は操作手順が多少変わりますので、ディスプレイの表示にしたがって操作してください。

1 プリンタの電源がオフの場合は、［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。

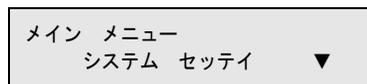
しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

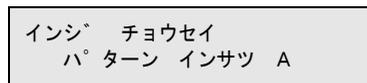
2 ［オンライン］キーを 2 回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

3 ［＜］、［＞］キーで「システム　セッテイ」を選択し、［V］キーを押します。

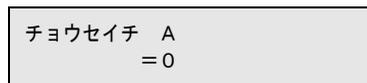
メイン　メニュー
　　シスチム　セッテイ　▼

4 ［＜］、［＞］キーで「インジ　チョウセイ」を選択し、［V］キーを押します。

システム　セッテイ
　　インジ゛　チョウセイ　▼

5 ［＜］、［＞］キーで「パターン　インサツ　A」を選択し、［確定］キーを押します。

インジ゛　チョウセイ
　　ハ゜ターン　インサツ　A

パターン A が印刷されます。
印刷が終わると、ディスプレイに「チョウセイチ　A」が表示されます。

6 パターン A の A を見て最も縦すじの目立たない番号を選び、［＜］、［＞］キーで番号を選択して、［確定］キーを押します。

チョウセイチ　A
　　＝0

設定値の左に「＝」が表示され、調整値 A が設定されます。

縦すじが目立つ例　+5

縦すじが目立たない例　+1

7 パターン A の B ～ E についても手順 6 の操作を繰り返し、調整値を設定します。

8 パターンＡのＦを見て最も線の位置が合っている番号を選び、[<]、[>] キーで番号を選択して、[確定] キーを押します。

［∧］キーを押すと、1 つ前の項目に戻ります。

```
チョウセイチ　F
　　　　　＝0
```

設定値の左に「＝」が表示され、調整値 F が設定されます。

位置がずれている例　　　　位置が合っている例

9 パターンAのG～Iについても手順8の操作を繰り返し､調整値を設定します。

10 パターンＡのＪを見て最も線の位置が合っている番号を選び、[<]、[>] キーで番号を選択して、[確定] キーを押します。

```
チョウセイチ　J
　　　　　＝0
```

設定値の左に「＝」が表示され、調整値 J が設定されます。

位置がずれている例　　　　位置が合っている例

11 パターンＡのＫについても手順 10 の操作を繰り返し､調整値を設定します。

設定が終わると、オンライン状態に戻ります。

用紙の送り量を調整する

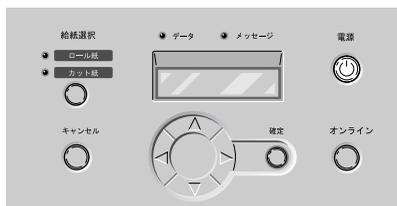
印刷したものに白すじや色の濃いすじが入る場合は、次の手順で「パターン　インサツ　B」を印刷し、送り量調整を行ってください。用紙送り量の調整は、用紙の種類ごとに行います。印刷をする前に A3 サイズ以上のロール紙（W7250 のスタンド未装着時はカット紙）をセットしてください。

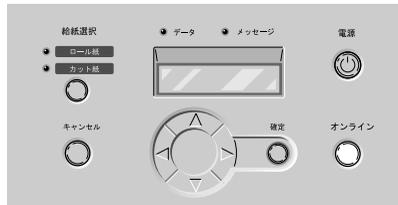
お願い

- 用紙送り量の調整を行う前に、本体にセットした用紙の用紙種類を操作パネルで必ず設定してください。セットされている用紙の種類と用紙種類の設定値が合っていないと、正しい印字結果が得られず、印字品質低下の原因になります。
- W7250 をスタンド未装着でお使いの場合は、必ずカット紙を使用してください。カット紙のセット方法については、第 2 章「カット紙をセットする」（→ P.2-17）をご覧ください。W7200 や W7250 をスタンドに装着してお使いの場合は、ロール紙またはカット紙を使用可能です。

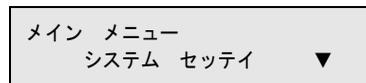
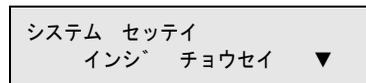
メモ

- カット紙を使用する場合は、A3 サイズ以上で未使用の用紙（裏面も不可）を 1 枚ご用意ください。

1 **プリンタの電源がオフの場合は、［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。**

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 ［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。

3 ［<］、［>］キーで「システム　セッテイ」を選択し、［V］キーを押します。

4 ［<］、［>］キーで「インジ　チョウセイ」を選択し、［V］キーを押します。

システム　セッテイ
インシ゛　チョウセイ　▼

5 ［<］、［>］キーで「パターン　インサツ　B」を選択し、［確定］キーを押します。

インシ゛　チョウセイ
ハ゜ターン　インサツ　B

パターン B が印刷されます。

印刷が終わると、ディスプレイに「チョウセイチ　M」が表示されます。M は用紙の種類によって変わります。（→ P.5-11）

6 パターンBを見て最も横すじが目立たない番号を選び、［<］、［>］キーで番号を選択して、［確定］キーを押します。

```
チョウセイチ　M
　　　　　　　0
```

設定値の左に「＝」が表示され、調整値が設定されます。

すじが目立つ例　　　　すじが目立たない例

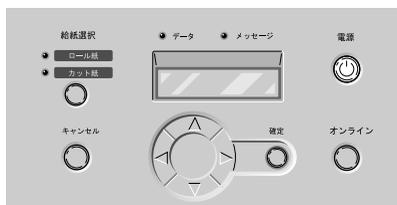
設定が終わると、オンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。

カット屑の発生を軽減する

光沢フィルムなどカット屑が発生しやすい用紙の場合は、カット屑軽減機能を設定することで、印字品質の低下やプリントヘッドの故障を低減することができます。カット屑軽減機能は、用紙種類毎に設定することが可能です。

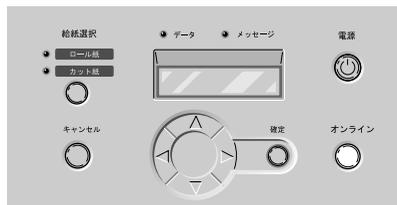
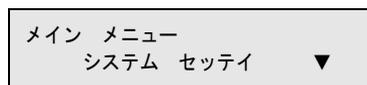
お願い

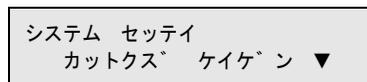
- カット屑軽減機能を設定すると、ロール紙の先端および後端に黒い線が印字されます。
- 普通紙や薄い用紙などの波打ちが起きやすい用紙は、使用しないでください。カットが正常に行われず、紙づまりの原因になることがあります。

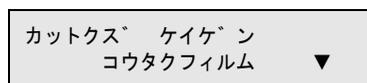
1 **プリンタの電源がオフの場合は、［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。**

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 **［オンライン］キーを押して、「メイン　メニュー」を表示します。**

3 ［<］、［>］キーで「システム　セッテイ」を選択し、［V］キーを押します。

```
メイン　メニュー
      システム　セッテイ　　　▼
```

4 ［<］、［>］キーで「カットクズ　ケイゲン」を選択し、［V］キーを押します。

```
システム　セッテイ
    カットクズ゛　ケイケ゛ン　▼
```

5 ［<］、［>］キーで設定する用紙種類を選択し、［V］キーを押します。

```
カットクズ゛　ケイケ゛ン
        コウタクフィルム　　　▼
```

6 ［<］、［>］キーで設定を選択し、［確定］キーを押します。

選択した用紙種類にカット屑軽減機能を設定する場合は「スル」、解除する場合は「シナイ」を選択してください。

```
コウタクフィルム
              スル
```

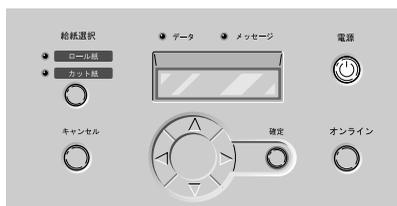
設定値の左に「＝」が表示され、カット屑軽減機能が設定されます。

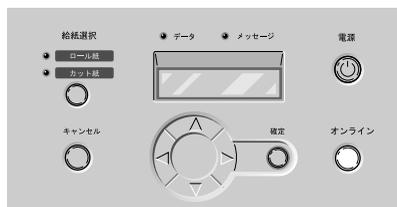
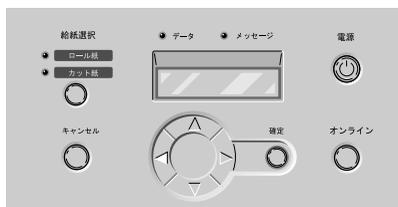
カッターを調整／交換する

カッターの切れが悪くなってきた場合は、次の手順でカッターの位置調整を行ってください。本プリンタのカッターには、3 つの位置があり、変えることによって切れ味を回復させることができます。また、3 番目の位置でも切れ味が悪くなった場合は、カッターブレードを交換することができます。

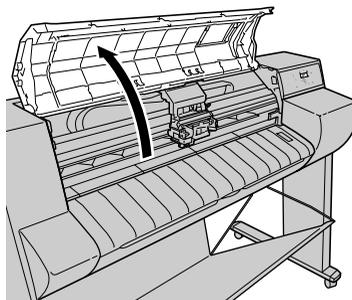
メモ

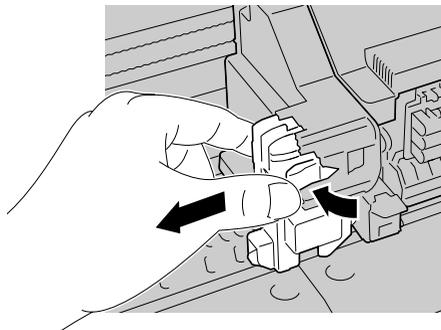
- 既に 3 番目のカッター位置をご使用の場合は、交換用のカッターブレードをご用意ください。

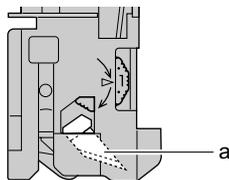
1 プリンタの電源がオフの場合は、［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

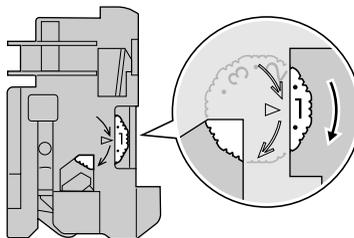
2 ［オンライン］キーを 2 回押して、「オフライン」を表示します。

3 ［<］キーを 1 秒以上押します。

キャリッジが中央に移動します。

4 上カバーを開きます。

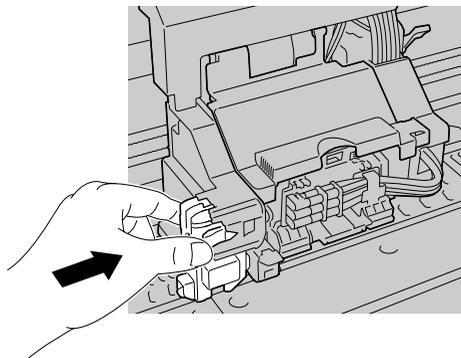
お願い

- 指定の場所以外は、絶対に触れないでください。手が汚れたり、プリンタ故障の原因になります。
- カッターブレードやキャリッジ部が汚れている場合は、カッターブレードの調整作業を始める前に、水を含ませて固くしぼった布でカッターブレードやキャリッジ部の汚れを拭き取ってください。

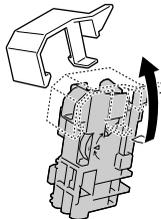
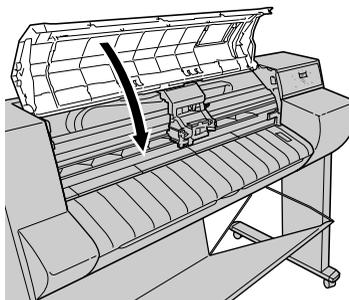
5 カッターブレードのつまみ（a）を掴みながら、カッターブレードをキャリッジから取り外します。

お願い

- カッターブレードを取り外したときは、刃の部分（a）に触れないでください。けがの原因になります。

6 カッターの位置調整ダイヤルを図の方向に１つ回します。

すでに「3」になっている場合は、新品のカッターブレードと交換してください。

メモ

- 位置調整ダイヤルは1～3の順でひとつずつ使用してください。位置を戻すことはできません。

7 カッターブレードをキャリッジに取り付けます。

メモ

- 新品カッターブレードの場合は、保護キャップを矢印の方向に押して外します。また、使用済みのカッターブレードは、必ず保護キャップを取り付けてから、地域の条例にしたがって捨ててください。

8 上カバーを閉じます。

キャリッジがホームポジションに戻ってオンラインランプが点灯し、印刷できる状態になります。

8 付録

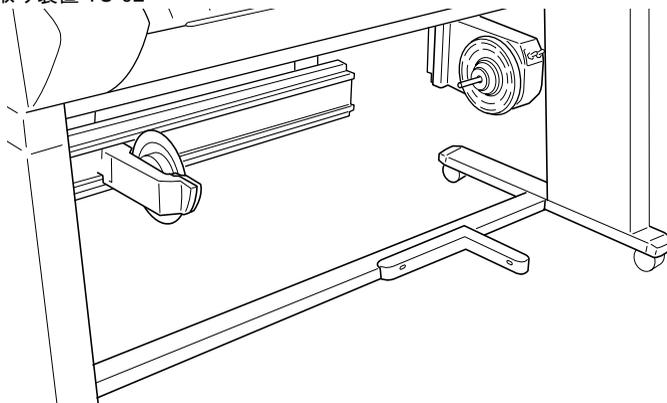
この章では、オプションの紹介、仕様などについてまとめています。

オプションについて

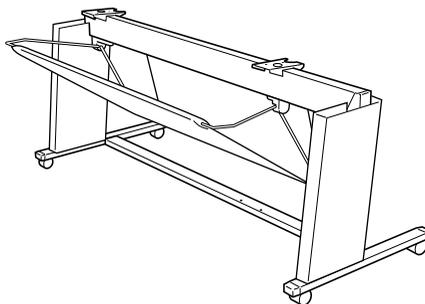
本プリンタには、次のオプションが用意されています。

巻き取り装置

ロール紙印刷時に印刷済み用紙を自動的に巻き取るための W7200 専用オプションです。長尺印刷や連続出力時に便利です。

●巻き取り装置 TU-02

スタンド

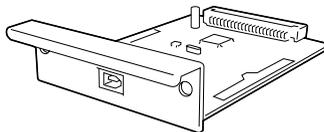
W7250 をセットするための専用スタンドです。専用排紙スタッカが付属しています。

●プリンタースタンド ST-21

メモ

- W7200 は、スタンドが標準で付属しています。

IEEE1394 拡張ボード

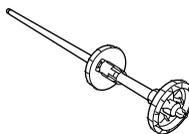
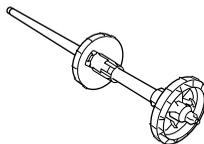
W7250 に IEEE1394 ポート（FireWire）を追加するためのインタフェースボードです。

● IEEE1394 拡張ボード EB-01

メモ

● W7200 には、IEEE1394 拡張ボードが標準装備されていますので、取り付け作業は不要です。

ロールホルダーセット

プリンタ本体に付属のロールホルダーと同じ、ロールホルダーとホルダーストッパのセットです。用紙の種類や紙幅の異なるロール紙を使い分けたい場合は、数本ご用意いただくと便利です。

● W7200 用ロールホルダーセット RH2-31

● W7250 用ロールホルダーセット RH2-21

消耗品について

本プリンタには、次の消耗品が用意されています。
消耗品は、使い切る前にご用意いただくことをお勧めします。各消耗品の購入については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

用紙

本プリンタでは、次の用紙を使用できます。

■用紙種類

- 普通紙
- コート紙
- 厚口コート紙
- 光沢紙
- フォト光沢紙
- フォト半光沢紙
- 光沢フィルム
- BPF
- プルーフ用紙

■ロール紙サイズ

- 紙幅　　W7200：ISO A3(297.0mm) ～ ARCH36"(914.4mm)
  W7250：ISO A3(297.0mm) ～ ARCH24"(609.6mm)
- ロール外径　130mm 以下
- 紙管内径　2inch
- 印字面　表紙面

■カット紙サイズ

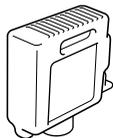
- サイズ　W7200：ISO A4 ～ ARCH E
  W7250：ISO A4 ～ ARCH D

メモ

- 使用できる用紙については、第 2 章「使用できる用紙」（→ P.2-2）をご覧ください。
- 用紙の品質は、メーカーによって異なります。用紙を購入する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

インクタンク

本プリンタの交換用インクタンクは、次のとおりです。

● W7200 用インクタンク

- イエローインク BCI-1411Y
- マゼンタインク BCI-1411M
- フォトマゼンタインク BCI-1411PM
- シアンインク BCI-1411C
- フォトシアンインク BCI-1411PC
- ブラックインク BCI-1411Bk

● W7250 用インクタンク

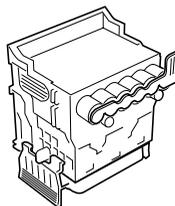
- イエローインク BCI-1401Y
- マゼンタインク BCI-1401M
- フォトマゼンタインク BCI-1401PM
- シアンインク BCI-1401C
- フォトシアンインク BCI-1401PC
- ブラックインク BCI-1401Bk

● インクタンクの交換方法については、第 6 章「インクタンクを交換する」（→ P.6-2）をご覧ください。

プリントヘッド

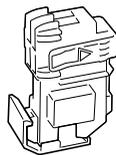
W7200/W7250 共通の交換用プリントヘッドは、次のとおりです。

● プリントヘッド　BC-1400

メモ

● プリントヘッドの交換方法については、第 6 章「プリントヘッドを交換する」（→ P.6-20）をご覧ください。

カッターブレード

W7200/W7250 共通の交換用カッターブレードは、次のとおりです。

- カッターブレード　CT-02

メモ

- カッターブレードの交換方法については、第 7 章「カッターを調整／交換する」（→ P.7-42）をご覧ください。

ファームウェアをアップデートするには

本プリンタは、内蔵のファームウェアをアップデート（更新）することにより、機能を改善したり、新しい機能を使えるようにすることができます。

ファームウェアの入手方法

最新のファームウェアについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

ファームウェアバージョンの調べかた

ファームウェアをアップデートする前に、次の手順でプリンタのファームウェアバージョンを確認してください。入手したファームウェアのバージョンより古い場合は、ファームウェアのアップデートを行ってください。

メモ

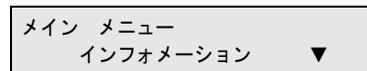
- プリンタのバージョンが入手したファームウェアと同じまたは新しい場合は、アップデート作業は不要です。

1 **プリンタの電源がオフの場合は、［電源］キーを押して、プリンタの電源をオンにします。**

しばらくすると、ディスプレイに「オンライン」と表示され、オンラインランプが点灯します。

2 **［オンライン］キーを２回押して、「メイン　メニュー」を表示します。**

3 **［<］、［>］キーで「インフォメーション」を選択し、［V］キーを押します。**

```
メイン　メニュー
　　インフォメーション　　▼
```

4 ［<］、［>］キーで「S/C　：XX.XX.XX」を選択します。

```
バ゛ージ゛ョン
S／C　　　：　XX．XX．XX
```

「XX.XX.XX」がファームウェア（システムコントローラ）のバージョンです。

ソフトウェアを削除するには

コンピュータにインストールしたプリンタドライバやユーティリティソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

お願い

- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP にインストールしたソフトウェアを削除する場合は、必ず Administrator のメンバーとしてログオンしてからアンインストールしてください。

旧 USB/IEEE1394 ドライバの削除

古いバージョンの USB/IEEE1394 ドライバを削除するときは、次の手順で行います。手順 3 の画面上のリストに表示されるプリンタは全て削除されます。

お願い

- 古いバージョンの USB/IEEE1394 ドライバをアンインストールする前に、USB または IEEE1394 ケーブルを抜いてから操作を行ってください。

1 付属の User Software CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

お願い

- CD-ROM のオートスタートアップ機能がオフになっている場合は、［マイコンピュータ］の［CD-ROM ドライブ］アイコンを選択し、［ファイル］メニューの［自動再生］を選択してください。

2 「Setup Menu」画面の［旧 USB/IEEE1394 ドライバアンインストール］を選択します。

3 リストに表示されたプリンタドライバは全て削除されます。プリンタ名を確認し、［はい］ボタンを押します。

アンインストールが始まります。

4 アンインストールが完了すると、リストに削除されたプリンタ名が表示されます。プリンタ名を確認し、［OK］ボタンを押します。

画面の指示に従いコンピュータを再起動します。

メモ

- 「アンインストールに失敗しました。」というメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動し、手順1からアンインストールを再度行ってください。

これで、旧USB/IEEE1394ドライバが削除されました。

プリンタドライバの削除

本プリンタのプリンタドライバを削除するときは、次の手順で行います。

■Windows の場合

お願い

- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP にインストールしたソフトウェアを削除する場合は、必ず Administrator のメンバーとしてログオンしてからアンインストールしてください。

1 ［スタート］メニューの［プログラム］から［Canon Printer Uninstaller］の［GARO Printer Driver Uninstaller］を選択します。

［プリンタの削除］ 画面が表示されます。

2 リストからプリンタを選択し、［削除］ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］ボタンを押します。

4 リストからプリンタが削除されたことを確認し、［プリンタの削除］画面の［終了］ボタンを押します。

■Macintosh の場合

1 本プリンタに付属のUser Sofrware CD-ROMをCD-ROM ドライブにセットします。

2 User Sofrware CD-ROM の中の各 OS のフォルダを開きます。

OS 8.x および 9.x の場合は、［OS 89］フォルダ内の［GARO Installer for 8/9］を開きます。

OSX の場合は、［OS X］フォルダ内の［GARO Installer for X］を開きます。

3 左上のメニューで［アンインストール］を選択し、［アンインストール］ボタンを押します。

4 画面に表示されるメッセージにしたがって GARO Printer Driver を削除します。

GARO Status Monitor の削除

Windows でインストールした GARO Status Monitor を削除するときは、次の手順で行います。

1 ［スタート］メニューの［プログラム］から［GARO Status Monitor］の［GARO Status Monitor のアンインストール］を選択します。

2 確認メッセージが表示されたら、［OK］ボタンを押します。

GARO Status Monitor が削除されます。

3 ［InstallShield ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］ボタンを押します。

LPR Port の削除

Windows でインストールした Canon LPR Port を削除するときは、次の手順で行います。

1 プリンタのプロパティダイアログボックスの［詳細］シートでプリンタドライバの［印刷先のポート］を［Canon LPR Port］以外に設定します。

［CANON LPR Port］は、画面上には［XXX.XXX.XXX@LP（Canon LPR Port）］のように表示されます。

2 本プリンタに付属の User SoftwareCD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

3 User SoftwareCD-ROM の中の［Lprport］フォルダにある［UnInstLP.exe］を起動します。

4 画面に表示されるメッセージにしたがって LPR Port を削除します。

GARO Device Setup Utility の削除

Windows でインストールした GARO Device Setup Utility を削除するときは、次の手順で行います。

1 ［スタート］メニューの［設定］から［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］フォルダが開きます。

2 ［アプリケーションの追加と削除］アイコンを開きます。

3 ソフトウェアー覧から［GARO Device Setup Utility］を選択し、［変更 / 削除］ボタンを押します。

4 画面に表示されるメッセージにしたがって GARO Device Setup Utility を削除します。

主な仕様

<table>
<tr><th></th><th>W7200</th><th>W7250</th></tr>
<tr><td colspan="3">印刷性能</td></tr>
<tr><td>印刷方式</td><td colspan="2">シリアルバブルジェット方式</td></tr>
<tr><td>印刷モード</td><td colspan="2">最高、きれい、標準、速い</td></tr>
<tr><td>最高解像度</td><td colspan="2">600 × 1200 dpi</td></tr>
<tr><td colspan="3">インタフェース</td></tr>
<tr><td>USB インタフェース*1
（USB 1.10 準拠）</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ネットワークインタフェース（10BASE-T/100BASE-TX）</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>IEEE1394 インタフェース *1
（IEEE1394 準拠）</td><td>1</td><td>オプション</td></tr>
<tr><td rowspan="2">インタフェースコネクタ</td><td colspan="2">USB インタフェース：USB 規格シリーズ B レセプタクル
USB インタフェース推奨プリンタケーブル：
素材：AWG28 以上
タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル（フルスピードモード対応）
長さ：最大 5.0 m
コネクタ：USB 規格シリーズ B プラグ</td></tr>
<tr><td colspan="2">IEEE1394 インタフェース：IEEE1394-1995 準拠 6Pin、給電なし
IEEE1394 インタフェース推奨プリンタケーブル：
素材：AWG28（信号）AWG22（電源）以上
タイプ：2 重シールド構造ツイストペアケーブル（100, 200, 400 Mbps モード対応）
長さ：最大 4.5 m
コネクタ：IEEE1394-1995 準拠 6Pin</td></tr>
<tr><td colspan="3">プリントヘッド</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td colspan="2">1200 dpi（600 dpi × 2 列）</td></tr>
<tr><td>ノズル数</td><td colspan="2">各色 1280 ノズル</td></tr>
<tr><td colspan="3">インクタンク</td></tr>
<tr><td>イエローインク
マゼンタインク
フォトマゼンタインク
シアンインク
フォトシアンインク
ブラックインク</td><td>交換用インクタンク BCI-1411Y
交換用インクタンク BCI-1411M
交換用インクタンク BCI-1411PM
交換用インクタンク BCI-1411C
交換用インクタンク BCI-1411PC
交換用インクタンク BCI-1411Bk</td><td>交換用インクタンク BCI-1401Y
交換用インクタンク BCI-1401M
交換用インクタンク BCI-1401PM
交換用インクタンク BCI-1401C
交換用インクタンク BCI-1401PC
交換用インクタンク BCI-1401Bk</td></tr>
<tr><td>インク種類</td><td colspan="2">染料インク</td></tr>
<tr><td>インク容量</td><td>330 ml</td><td>130 ml</td></tr>
</table>

	W7200	W7250
用紙		
最大用紙幅	917 mm	635 mm
最大用紙長さ	ロール紙：18 m カット紙：1600 mm	ロール紙：18 m カット紙：1400 mm
用紙厚さ	80 ～ 500 µm	
用紙種類	普通紙、コート紙、厚口コート紙、光沢紙、フォト光沢紙、 フォト半光沢紙、光沢フィルム、BPF、プルーフ用紙	
マージン	先端：20 mm、後端：23 mm、左右端：5 mm	
排紙スタッカ積載枚数	1 枚	
本体仕様		
電源	AC100 V－240 V 1.6 A　50/60 Hz	
消費電力	160 W 以下（印刷時） 30 W 以下（待機時 / スリープモード時）*2	
稼動音	約 58 dB（A）以下 （きれいモード印刷時）	約 55 dB（A）以下 （きれいモード印刷時）
最適動作環境	温度：15 ～ 30 ℃、湿度：10 ～ 80 %（ただし、結露なきこと）*3	
動作環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：10 ～ 90 %（ただし、結露なきこと）	
寸法（幅×奥行き×高さ）		
プリンタ本体のみ	1598 mm × 533 mm × 464 mm	1276 mm × 517 mm × 464 mm
スタンド装着状態	1603 mm × 820 mm × 1175 mm	1281 mm × 820 mm × 1175 mm
質量（プリントヘッド、インクタンク含む）		
プリンタ本体のみ	約 72.0 kg	約 60.0 kg
スタンド装着状態	約 96.0 kg	約 82.4 kg

*1. インタフェースケーブルは 2 m 以内のものをお使いください。
*2. 電源を切った状態でも若干の電力が消費されます。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
*3. BPF の用紙をお使いになるときは、湿度 30 ～ 80% の環境でお使いください。

- 製品改良のため、記載事項が一部変更になる場合があります。
- 使用環境によっては、上記数値と異なる場合があります。
- Macintosh OS 8/9 プリンタドライバで A0 サイズ以上の印刷をする場合、300 × 300 dpi の解像度での印刷になります。

環境基本性能

	W7200	W7250
消費電力		
待機時電力	30 W 以下	30 W 以下
電源 OFF 時（コンセント接続状態）電力	1 W 以下	1 W 以下
資源効率		
本体質量	約 72.0 kg	約 60.0 kg
本体寸法（幅×奥行き×高さ）	1598 mm × 533 mm × 464mm	1276mm × 517 mm × 464 mm
リサイクル	本体外装プラスチック再生利用技術確立	
製品安全		
含有有害物質	全構成部品：特定臭素系難燃剤（PBB、PBDE）不使用	
	外装プラスチック：重金属（Pb、Hg、Cr（Vl）、Cd）、ハロゲン系難燃剤不使用	
稼動音	約 58 dB（A）以下 （きれいモード印刷時）	約 55 dB（A）以下 （きれいモード印刷時）
包装材		
含有重金属 （Pb、H g 、Cr（Vl）、Cd）	不使用（外装箱）	
リサイクル	容器包装リサイクル法のシステムによる（2000 年 4 月より）	
規格適合	国際エネルギースタープログラム、VCCI（クラス B）	

本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となったときは、回収・リサイクルにお出しください。

索引

記号

＜キー 5-4
＞キー 5-4
∧キー 5-5
∨キー 5-4

英数字

Acrobat Reader 4-13
ANSI 2-4
AppleTalk 4-3
ARCH 2-3
BPF 2-3
GARO Device Setup Utility の削除 8-13
GARO PrinterDriver 4-3
GARO Status Monitor
　の削除 8-12
IEEE1394 拡張ボード 8-3
IEEE1394 ポート 1-4, 8-3
ISO 2-3
JIS 2-4
LAN ポート 1-3
LINK ランプ 1-3
LPR Port の削除 8-12
Macintosh 4-2, 8-11
MacOS 8.6/9.x 4-2, 4-7
MacOS X 4-4, 4-9
USB ポート 1-3
Windows 3-2, 8-11

あ行

厚口コート紙 2-2
インク残量検知機能 6-8
インクタンク 1-7, 6-2, 6-6, 8-5
　交換時期 6-2
　取り扱いの注意 6-3
　の交換手順 6-4
インクタンクカバー 1-7, 6-5
印刷の操作
　Macintosh 4-6
　Windows 3-2
印刷の中止
　Macintosh 4-7
　Windows 3-4
印刷のトラブル 7-9
印字状態の確認 7-30
ウェイトロール 2-34, 2-36

上カバー 1-2, 1-5, 2-19, 2-25, 6-13, 6-18, 6-22, 7-23, 7-27, 7-43
内部の清掃 6-12
内部の名称 1-4
上カバー取っ手 6-13
上カバーローラ 6-13
運搬用取っ手 1-3
オプション 8-2
オフライン 1-12
オンライン 1-11
オンラインキー 1-11, 1-12, 5-5
オンラインランプ 5-6

か行

外装の清掃 6-10
確定キー 5-5
カッター位置調整ダイヤル 7-44
カッターの調整 7-42
カッターブレード 7-44, 8-6
カット屑軽減機能 7-40
カット紙 2-4, 2-17
の紙づまり 7-27
のセット 2-19
カット紙サイズ 8-4
カット紙種類の設定 2-23
カット紙ランプ 2-18, 5-6
紙づまり 7-19
環境基本性能 8-16
機能メニュー
の構造 5-7
の設定操作 5-8
の設定値 5-10
キャリッジ 1-5, 7-23, 7-45
名称 1-5
キャリッジカバー 1-5, 6-23
キャリッジレール 1-4, 6-18
の清掃 6-17
キャンセルキー 3-4, 4-9, 4-11, 4-12, 5-4
旧 USB/IEEE1394 ドライバの削除 8-9
給紙ガイド 1-6, 2-11, 7-25
給紙選択キー 2-7, 2-18, 5-4
給紙元の設定 2-6, 2-17
高画質印刷 2-24
光沢紙 2-2
光沢フィルム 2-3, 2-24
コート紙 2-2

さ行

消耗品 8-4
スタンド 1-2, 8-2
スライドホルダー 1-8, 2-30, 2-38

スライドホルダー解除レバー 1-8, 2-30, 2-38
セレクタ 4-2
センサーユニット 1-8
操作キー 5-4
操作パネル 1-3, 5-2
ソフトウェア 8-9

た行

ディスプレイ 5-2
ディップスイッチ 1-4
データランプ 5-6
電源オフ 1-10
電源オン 1-9
電源キー 1-9, 1-10, 5-5
電源コネクタ 1-4
トラブル 7-2
トレイ 1-2, 2-17, 6-13, 7-19, 7-24
　内部の名称 1-6
トレイオープンレバー 1-6, 7-19, 7-24

な行

ノズルチェックプリント 7-30

は行

排紙スタッカ 1-2, 2-30, 2-38, 8-2
パターン　インサツ　A 7-34
パターン　インサツ　B 7-37
バックグラウンド印刷 4-7
左カバー 1-2
フォアグラウンド印刷 4-12
フォト光沢紙 2-3
フォト半光沢紙 2-3
普通紙 2-2
プラテン 1-4, 6-13
プリンタ
　の仕様 8-14
　の清掃 6-10
　名称 1-2
プリンタースタンド 8-2
プリンタ機能の優先順位 5-7
プリンタ動作 7-3
プリンタドライバ 3-2, 3-5, 4-2
　の削除 8-11
プリンタの選択 4-2
プリントキュー再開 4-8
プリントセンター 4-4
プリントヘッド 1-5, 6-20, 6-24, 8-5
　高さの調整 2-24
　取り扱いの注意 6-20
　の位置調整 7-34

のクリーニング 7-32
の交換手順 6-21
の調整 7-34
プリントヘッド固定カバー 1-5, 6-23
プリントヘッド固定レバー 1-5, 6-23
プリントヘッド高さ調整レバー 1-5, 2-26
プルーフ用紙 2-3
ヘッドクリーニング
の種類 7-32
の手順 7-32
ベルトストッパ保持部 1-6
ヘルプ
Macintosh 4-13
Windows 3-5
ホルダーストッパ 2-9

ま行

巻き取りスイッチ 1-8, 2-33, 2-37
巻き取り装置 1-8, 2-28, 8-2
使用の設定 2-29
不使用の設定 2-39
巻き取り装置コネクタ 1-4
巻き取りホルダー 1-8, 2-31
巻き取りモードスイッチ 1-8, 2-30, 2-36
右カバー 1-3, 1-7, 6-7
メインメニュー 5-7, 5-10
メッセージ 7-13
メッセージランプ 5-6

や行

用紙 8-4
の印字範囲 2-5
のトラブル 7-19
用紙送り量の調整 7-37
用紙押さえ 1-4, 2-20
の清掃 6-15
用紙解除レバー 1-4, 2-19, 6-13, 7-23, 7-27
用紙サイズ 2-3
用紙種類 2-2, 8-4
の設定 2-14, 2-22

ら行

ランプ 5-6
レールクリーナ 6-17
ロール紙 2-3, 2-6
の紙づまり 7-19
のセット 2-7
の取り付け 2-30
の取り外し 2-35
ロール紙解除レバー 1-6, 2-11

ロール紙ガイド 7-20, 7-28
ロール紙サイズ 8-4
ロール紙残量窓 1-3
ロール紙種類の設定 2-15
ロール紙トレイ 1-2, 2-8, 7-19, 7-24
ロール紙ランプ 2-7, 5-6
ロールストッパ 1-6
ロールホルダー 1-6, 2-9, 7-19, 7-25
ロールホルダーセット 8-3